

目次

高松市美術館

004	令和3（2021）年度
046	令和4（2022）年度
090	令和5（2023）年度

高松市塩江美術館

130	令和3（2021）年度
140	令和4（2022）年度
150	令和5（2023）年度

参考資料

164	施設概要
165	組織図
166	高松市美術館条例
167	高松市塩江美術館条例
168	沿革

169	高松市美術館友の会
-----	-----------

高松市美術館 年報

／ 令和 3 (2021) 年度

／ 令和 4 (2022) 年度

／ 令和 5 (2023) 年度

高松市美術館凡例

新収蔵作品のデータは、原則として以下の通りに記した。

作家名
作品名
制作年
技法・材質
寸法(平面＝縦×横／立体＝高さ×幅×奥行き、高さ×直径の順)
収集区分(購入、寄贈)

また作品リストは、展覧会期中に配布した目録を作品リストを再編集して掲載した。

美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

Let's go to the museum

世界中で親しまれている絵本の主人公・ミッフィー（うさこちゃん）。生みの親であるディック・ブルーナ(1927-2017)は、オランダを代表する絵本作家、グラフィックデザイナーです。彼が手がけた数々の絵本は、個性的で愛らしい登場人物とともに、時代を超え子どもから大人まで愛されています。1997年に出版された絵本『うさこちゃんびじゅつかんへいく』は、ミッフィーが両親と初めて美術館を訪れ、作品に驚いたり感動したりと様々な体験をするお話です。この絵本を通して、難しく思われがちなモダン・アートも、実はとっても楽しいものだよ、とブルーナは伝えてくれます。

本展では、この絵本の内容に沿って、当館所蔵作品を紹介するとともに、イラストや表紙デザインなどブルーナが手掛けた作品を通して、彼の追い求めた表現に迫りました。

Miffy is the main character of a picture book that is familiar all over the world. Dick Bruna (1927-2017), the creator of Miffy, is a leading Dutch picture book author and graphic designer. His numerous picture books, with their unique and lovable characters, have been loved by both children and adults throughout the ages. The picture book "Miffy at the Gallery", published in 1997, tells the story of Miffy's first visit to an art museum with her parents and her various experiences of being surprised and impressed by the artworks. Through this picture book, Bruna tells us that modern art, which is often considered difficult, is actually very enjoyable. This exhibition introduced the works in the museum's collection in line with the content of the picture book, and also explores Bruna's pursuit of expression through his illustrations, cover designs, and other works.

- ◆会期2021年4月17日(土)～6月11日(金) 26日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：5月4日(火)～5月30日(日) 23日間
※臨時開館：6月7日(月)
※当初の会期：4月17日(土)～6月6日(日)
月曜日(5月3日(月・祝)、6月7日(月)開館)
- ◆休館日
- ◆主催高松市美術館
- ◆特別協力ディック・ブルーナ・ジャパン／Mercis bv
- ◆協力福音館書店、KUTSUWA
- ◆企画協力キュレイターズ
- ◆入場料一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数10,396人
- ◆担当学芸員尾形絵里子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(鑑賞パンフレット)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)



記念講演会



学芸員ギャラリートーク



フォトスポット



エントランスホール



正面玄関



- ◆講演会
記念講演会「ディック・ブルーナ 文章と絵の奥にあるもの」
日時：4月17日(土) 14:00～15:30
出演：野坂悦子(翻訳家)
場所：1階講堂
参加者数：40人

- ◆イベント
スタンプラリー「ミッフィーはどこ？」
内容：館内やランチギャラリーを巡りスタンプを集めた方に、グッズをプレゼント。
対象：中学3年生以下

- 絵本の読みきかせ会(p.34)
子どものアトリエ「かぶって、のせて、つないで、かぶと」(p.35)
子どものアトリエ「いろいろな素材で絵をつくろう」(p.35)
子どものアトリエ「カタチおどるオーナメントづくり」(p.35)
はっけんメッセージ(p.37)
写真撮影会「ミッフィーと一緒に！」(p.37)
子どものためのミニコンサート「みて、きいて、たのしもう PART2」(p.37)

- ◆ギャラリートーク
日時：4月18日(日) 14:00～
講師：尾形絵里子(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：42人

- 日時：会期中の日曜日 14:00～(3回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ61人

- こども向け「いっしょに見てみよう」(中止)
日時：5月16日(日)、5月30日(日) 11:00～
講師：尾形絵里子(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
山陽新聞／4月29日
四国新聞／4月29日
美術展びあ2021／1月
美術の窓／1月号、5月号、6月号
ままといっしょ／春号
てくてく通信／春号
調査月報／4月1日No.409
広報たかまつ／4月号、5月号
Komachi／5月号
NICE TOWN／5月号
芸術新潮／5月号
ギャラリー／5月号
ケーブルメディア四国／5月24日～5月30日

- ◆鑑賞パンフレット
『美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方』
編集：高松市美術館
デザイン：有限会社デジタルモリス
印刷：株式会社ミヤプロ
発行：高松市術館
仕様：18.1×18.1cm、8頁

- ◆ポスター・チラシ
デザイン：有限会社デジタルモリス

- ◆作品リスト(p.14)

ゆかたと藍の世界

The World of Yukata and Japanese Indigo

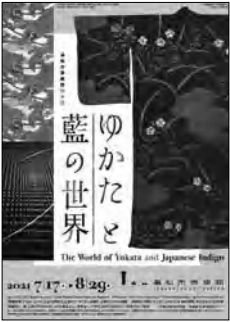
藍は、古くは奈良時代から現代に至るまで日本で衣服や布製品の染料として使用されてきました。中でも、ゆかたは、木綿が普及した江戸時代中頃から藍染と結びついて発展した染織品の代表でもあり、現代の私たちにとっても、藍染のゆかたは親しみのあるものとなっています。

本展では、ゆかたの歴史と変遷を振り返りながら、ファッションから現代アート作品まで「ゆかた」と「藍」をキーワードに紹介しました。江戸時代の藍染衣装から、絹地に藍染が施された朝廷の女官の衣装、長板中形の技法で精緻な型染めをほどこしたゆかたなど、バリエーション豊かにお見せしました。また、現代に至って、伝統的な長板中形の技法で人間国宝（重要無形文化財保持者）に指定された清水幸太郎（1897-1988）や、松原定吉（1893-1955）と、孫にあたる松原伸生（1965-）、伝統に基づく藍染を現代の衣服に取り入れ進化させたファッションブランド *matohu*、藍の産地・徳島で藍の歴史を研究しながら、自然発酵建にこだわった藍染布の制作を続ける森くみ子（1959-）、さらに藍を表現手段として、着物だけでなく現代アートに昇華させた福本潮子（1945-）らの作品も展示しました。世代を越えて多種多様に展開していく「ゆかた」と「藍」の世界をお楽しみいただきました。

The Japanese indigo plant has long been used in Japan as a dye in the creation of clothing and textile products, from as far back as the Nara period (710 - 794) right up to the present day. As cotton became more ubiquitous in the middle of the Edo period (1603 - 1867), so too did the yukata forge a strong link with Japanese indigo dye, developing into an article of clothing representative of the medium. Even today, Japanese people feel a warm familiarity with an indigo dyed yukata.

This exhibition looked back over the history and changes that the yukata has seen, introducing everything from fashion pieces to works of modern art, and all based in the two keywords of “yukata” and “Japanese indigo.” There was a rich variety of articles on display, from the Edo period indigo dyed clothing, to clothing of indigo dyed silk worn by ladies-in-waiting in the Imperial Court, to yukata exquisitely dyed using the *negaita-chugata* technique. The exhibition also featured pieces from a varied selection of modern proponents of the yukata, including Kotaro Shimizu (1897-1988), who was a living national treasure (a holder of Important Intangible Culture Property) for his traditional *negaita-chugata* techniques; Sadakichi Matsubara (1893-1955) and his grandson Nobuo Matsubara (1965-); the fashion brand *matohu*, which has taken traditional indigo dyeing and evolved it through incorporation into modern clothing; Kumiko Mori (1959-), who researches the history of Japanese indigo in Tokushima, the source of the plant, while also creating indigo dyed textiles with a focus on natural fermentation; and Shihoko Fukumoto (1945-), who has elevated Japanese indigo as a form of expression from clothing to modern art. Visitors immersed themselves in the shared world of the yukata and Japanese indigo, and explored the varied branches they have taken together across the generations.

- ◆会期 2021年7月17日(土)～8月6日(金) 18日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：8月7日(土)～8月29日(日) 20日間
※当初の会期：7月17日(土)～8月29日(日)
- ◆休館日 月曜日
- ◆主催 高松市美術館
- ◆企画協力 株式会社イデップ
- ◆入場料 一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 1,731人
- ◆担当学芸員 石田智子



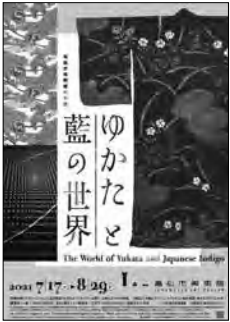
(チラシ表)



(チラシ裏)



(うちわ型チラシ)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



記念講演会



商店街懸垂幕



ランチギャラリー

- ◆講演会
記念講演会「福本潮子、藍の世界を語る」
日時：7月17日(土) 13:30～14:30
出演：福本潮子(出品作家)
場所：1階講堂
参加者数：55人
- ◆イベント
ゆかたウィーク(中止)
内容：ゆかたでご来館の方は観覧料半額。
日時：8月8日(日・祝)～8月15日(日)

ワークショップ「オリジナル藍色グッズを作ろう！」(p.34)
美術館の日事前イベント「オリジナル盆踊りを作ろう！」(p.34)
土居大記ワークショップ「藍染布をまとしてポートレートに挑戦！」(p.34)
美術館オリジナル盆踊りをおどろう！(p.37)
ミニコンサート「ゆかた de お箏・J・POPから現代音楽まで」(p.37)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
読売新聞／7月16日
四国新聞／7月29日
広報たかまつ／7月号、8月号
博物館研究／7月号
ギャラリー／7月号
美術の窓／7月号、8月号、9月号
芸術新潮／8月号
NICE TOWN／8月号
家庭画報／9月号
ままといっしょ／夏号
RNCラジオ／7月17日

- ◆ポスター・チラシ・うちわ型チラシ
デザイン：株式会社野村デザイン制作室

- ◆作品リスト(p.15)

- ◆ギャラリートーク
日時：7月18日(日) 14:00～
講師：石田智子(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：27人

日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(4回)
講師：美術館ボランティア *civi* (シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ72人

- ◆関連展示
香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年による関連展示(p.41)

大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行

TIGER Tateishi The Retrospective

絵画、陶彫、漫画、絵本、イラストなどのジャンルを縦横無尽に横断しながら独創的な世界を展開した立石紘一、ことタイガー立石、こと立石大河亞(1941-98)。

1941年、九州・筑豊の伊田町(現・福岡県田川市)に生まれた立石は、大学進学のために上京。63年の読売アンデパンダン展でデビューし、翌年には中村宏(1932-)と観光芸術研究所を結成。時代のアイコンを多彩に引用して描かれたその作品は、和製ポップ・アートのさががけとして注目を集めました。65年からは漫画も描きはじめ、「タイガー立石」のペンネームで雑誌や新聞にナンセンス漫画を連載しました。

しかし漫画の制作が多忙になった69年3月、突如としてミラノに移住。のべ13年にわたるミラノ時代は、漫画からヒントを得たコマ割り絵画を精力的に制作する一方、デザイナーや建築家とのコラボレーションで数多くのイラストやデザイン、宣伝広告などを手がけました。

イラストレーターの活動が多忙となった立石は82年に帰国。85年から千葉・市原を拠点に活動し、90年以降は絵画や陶彫作品を「立石大河亞」、マンガや絵本を「タイガー立石」の名義で発表しました。

立石は1998年4月に56歳という若さでこの世を去りましたが、そのユニークな創作の数々は今なお色あせることがありません。生誕80年を記念し、200点以上の作品・資料によってその多彩な活動をふり返りました。

- ◆会期2021年10月1日(金)～11月3日(水・祝) 29日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：9月18日(土)～9月30日(日)、10月2日(土)～10月3日(日) 13日間
※臨時開館：10月25日(月)、11月1日(日)
※当初の会期：9月18日(土)～11月3日(水・祝)
- ◆休館日月曜日
- ◆主催高松市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- ◆協賛ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン
- ◆特別協力ANOMALY
- ◆入場料一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数4,796人
- ◆担当学芸員牧野裕二

Koichi Tateishi, known as Tiger Tateishi, and known as Taiga Tateishi (1941-98), developed a unique world while freely crossing genres such as painting, ceramic sculpture, manga, picture books, and illustration.

Born in Itamachi, Chikuho, Kyushu (now Tagawa City, Fukuoka Prefecture) in 1941, Tateishi moved to Tokyo to attend university. He made his debut at the Yomiuri Independent Exhibition in 1963, and formed the Tourism Art Institute with Hiroshi Nakamura (1932-) the following year. The works, which are drawn with various references to the icons of the era, have attracted attention as a pioneer of Japanese pop art. In 1965, he began drawing comics, serializing nonsense comics in magazines and newspapers under the pseudonym "Tiger Tateishi."

However, in March 1969, when he became busy with manga production, he suddenly moved to Milan. During his 13 years in Milan, he energetically created framed paintings inspired by manga, while collaborating with designers and architects to create numerous illustrations, designs, and advertisements.

Tateishi returned to Japan in 1982 when his activities as an illustrator became busy. Since 1985, he has been based in Ichihara, Chiba, and since 1990 he has published paintings and ceramic sculptures under the name of "Tateishi Taiga" and manga and picture books under the name of "Tiger Tateishi".

Tateishi passed away in April 1998 at the young age of 56, but his unique creations have not faded to this day. In 2021, which marks the 80th anniversary of his birth, we looked back on his diverse activities through more than 200 works and materials.



記念講演会



学芸員ギャラリートーク



臨時休館中の特別展示



立石富美子氏(タイガー立石夫人)と中野裕介氏



篠原アートアドバイザーによる解説動画撮影



特別企画 中野裕介／パラモデル個展



特別企画 中野裕介／パラモデル個展

◆講演会

記念講演会「タイガー立石のイタリア時代」
日時：10月31日(日) 10:00～11:30
※当初の日程：9月26日(日)
出演：平野到(埼玉県立近代美術館学芸員)
場所：3階講座室3・4
※当初の開催場所：1階講堂
参加者数：27人

◆イベント

ミニコンサート「タイガー立石とその時代」(p.37)

◆ギャラリートーク

日時：10月9日(土) 14:00～
※当初の日程：9月19日(日)
講師：牧野裕二(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：43人

日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(4回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ84人

◆関連展示

特別企画 中野裕介／パラモデル個展「まTiGerる読み、いかReた挿し絵」
タイガー立石へのオマージュ展示を美術館内外で展開。

◆会期2021年9月11日(土)～12月26日(日)
※9月30日(木)までの間、および10月2日(土)と10月3日(日)は臨時休館。
※会場のうち、2階廊下は11月3日(水・祝)まで開催。
「プランチギャラリー」は11月28日(日)まで開催。
※当初の会期：9月11日(土)～11月14日(日)

◆会場美術館1階エントランスホール、図書コーナー、中2階展示ロビー、2階廊下、高松丸亀町商店街「プランチギャラリー」(p.41)
◆協力MORI YU GALLERY／株式会社フジオ・プロダクション株式会社WEST

◆入場料無料

◆入場者数14,011人

◆担当学芸員牧野裕二

◆関連イベント

吉田省念アコースティック・ライブ(p.37)
ワークショップ「青いラインでふしぎな『たかまつ』の絵をかこう」(p.34)
◆作品リスト(p.20)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

読売新聞／10月2日「表現自由にポップに」
読売新聞／10月13日「大・タイガー立石展㊤「図像組み合わせの妙」」
読売新聞／10月14日「大・タイガー立石展㊤「コマ割りユーモア満ち」」
読売新聞／10月16日「大・タイガー立石展㊤「ひとり旅を飄々と」」
毎日新聞(夕刊)／10月27日「高級で低俗 背反を結ぶアート」
美術展びあ2021
すごい美術展／2021 - 2022
美連協ニュース／2月号No.149、5月号No.150
芸術新潮／6月号、11月号
ままといっしょ／夏号
広報たかまつ／9月号、10月号
博物館研究／9月号、10月号、11月号
ギャラリー／9月号、10月号、11月号
NICE TOWN／10月号
美術の窓／10月号、11月号
MOE／11月号
リビングひろしま／秋冬号
てくてく通信／秋冬号
調査月報／No.415
ケーブルテレビ／10月放送「美術館からの招待状」

◆図録

『大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行 TIGER Tateishi: The Retrospective』
執筆：榎木野衣、篠原資明、市毛富美子(聞き手：菊池真央)
工藤健志、平野 到、滝口明子、牧野裕二
編集：菊池真央(埼玉県立近代美術館)、
庄子真汀、森 啓輔、葦科英也(千葉市美術館)
翻訳：小川紀久子
アートディレクション：藤本敏行(ライブアートブックス)
デザイン・制作：藤本敏行、中川貴雄(ライブアートブックス)
印刷・製本：ライブアートブックス
発行：千葉市美術館、青森県立美術館、高松市術館、
埼玉県立近代美術館、うらわ美術館
仕様：29.8×20.9cm、250頁

◆ポスター・チラシ
デザイン：松本弦人

◆作品リスト(pp.16～19)



(チラシ裏)



(チラシ裏)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



(図録)



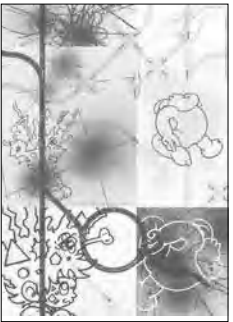
(関連展示チラシ表1)



(関連展示チラシ表2)



(関連展示チラシ中)



(関連展示チラシ裏)

大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展
HAMADA SHOJI —The Horio Mikio Collection in The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

濱田庄司(1894-1978)は1924年に栃木県益子に拠点を置き、沖縄や英国などの工芸を吸収しながら、作品を展開していきました。シンプルで重みのある形に大胆かつ軽やかな釉掛けが施された作品には、個人作家としての濱田の個性が見られます。それらの作品は高い評価を受け、1955年に第1回重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。

本展では、大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する堀尾幹雄コレクションから濱田作品135点を展示しました。堀尾幹雄氏(1911-2005)は濱田と親交を深めながら、日常で使うことを念頭において作品を収集したコレクターです。そのコレクションは濱田の喜寿の記念展覧会に併せて出版された『濱田庄司七十七翌譜』の巻頭を飾った《刷毛目 茶碗》などの代表作を含んでいます。

さらに本展では、バーナード・リーチ(1887-1979)や河井寛次郎(1890-1966)、芹澤銈介(1895-1984)、棟方志功(1903-1975)、黒田辰秋(1904-1982)ら、濱田と交友のあった作家の作品も紹介しました。

また、関連展示「中村裕太 | 丸い柿、干した柿」では、美術家の中村裕太(1983-)が濱田作品の制作方法を検証するとともに、讃岐民芸館(香川県高松市)所蔵のやきものを織り交ぜながら新作のインスタレーション作品を展開しました。

- ◆会期 2021年11月13日(土)～12月19日(日) 32日間
- ◆休館日 月曜日
- ◆主催 高松市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- ◆特別協力 大阪市立東洋陶磁美術館
- ◆協賛 ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン
- ◆入場料 一般1,000円、大学生500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 2,741人
- ◆担当学芸員 橘 美貴



(チラシ表1)



(チラシ裏1)



(チラシ表2)



(チラシ裏2)



(B2 ポスター)



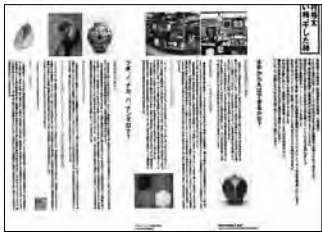
(B3 ポスター)



(図録)



(ハンドアウト1)



(ハンドアウト2)

Shoji Hamada (1894-1978) established a base for himself in Mashiko, Tochigi Prefecture in 1924, and developed his art from there while absorbing techniques and creativity from Okinawa, the UK, and other regions. His simple, hefty pieces with a bold yet gentle application of glaze truly reveal the individual personality of Hamada as an artist. His pieces were very highly received, and in 1955 he was designated a 1st Important Intangible Cultural Property Holder (Living National Treasure).

This exhibition displayed 135 pieces of Hamada's works from the Horio Mikio Collection, held by the Museum of Oriental Ceramics, Osaka. Mikio Horio (1911-2005) was a collector who established a firm friendship with Hamada, while collecting his pieces with a focus on those for everyday use. The collection includes numerous pieces representative of the artist, including "Tea Bowl with Brush Strokes" that appeared in the opening pages of "Shoji Hamada's Seventy-Seven Bowls," a book published to celebrate the artists 77th birthday.

The exhibition also featured pieces from other artists with whom Hamada was friendly, including Bernard Leach (1887-1979), Kanjiro Kawai (1890-1966), Keisuke Seriazwa (1895-1984), Shiko Munakata (1903-1975), and Tatsuki Kuroda (1904-1982).

Furthermore, in the related exhibition "Yuta Nakamura: Round Persimmon, Dried Persimmon," the artist Yuta Nakamura (1983 -) investigated the methods Hamada used when producing his pieces while exhibiting his own latest installation art, interwoven with ceramics held by the Sanuki Mingeikan (Takamatsu City, Kagawa Prefecture).



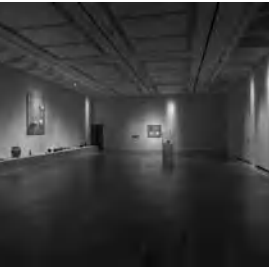
記念講演会



記念対談



関連展示



関連展示

- ◆講演会
記念講演会「濱田窯90年 濱田庄司、晋作、友緒の仕事」
日時：11月13日(土) 13:30～15:00
出演：濱田友緒((公財)濱田庄司記念益子参考館館長、濱田窯代表、陶芸家)
場所：1階講堂
参加者数：42人

- 記念対談「忘れられた民藝」
日時：12月19日(日) 13:30～16:00
出演：鞍田 崇(明治大学理工学部准教授、哲学者)
中村裕太(出品作家)
場所：美術館2階展示室、1階講堂
参加者数：39人

- ◆イベント
ミニコンサート「郷愁を誘うホルンの響き」(p.38)

- ◆ギャラリートーク
日時：11月14日(日) 14:00～
講師：橘 美貴(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：20人

- 日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(5回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ74人

- ◆関連展示
「中村裕太 | 丸い柿、干した柿」
本展は「濱田庄司展」の関連展示として、美術家の中村裕太(1983-)が、濱田の仕事に焦点を当てた新作を発表しました。これまで中村は「民俗と建築にまつわる工芸」という視点から近代以降の工芸文化を多角的に考察し、国内外の国際展などで作品を発表してきました。会場では、濱田と石黒宗彦の制作方法や陶器の手触りを手がかりに、それぞれの作品を読み解いていきました。

- ◆会期 2021年11月13日(土)～12月19日(日) 32日間
- ◆企画協力 京都国立近代美術館
- ◆特別協力 大阪市立東洋陶磁美術館、京都精華大学伝統産業イノベーションセンター、特別名勝栗林公園 讃岐民芸館
- ◆入場料 「濱田庄司展」の観覧券
- ◆入場者数 2,741人
- ◆担当学芸員 橘 美貴
- ◆作品リスト(p.21)

高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.10 ここに境界線はない。／？

Takamatsu Contemporary Art Annual vol.10 There Are No Boundaries Here. / ?

「高松コンテンポラリーアート・アニユアル」は、獨創性、将来性のある優れた作家を発掘、紹介する現代アートのグループ展として2009年のvol. 00 から始まり、11回目の今回は「ここに境界線はない。／？」をテーマとし、5人の作家を紹介しました。

画材や制作方法、テーマやコンセプトが先進的であり前衛的な表現を追求するコンテンポラリーアートは、既成概念を覆し、心の内に引いていた境界線をなくしてくれる存在です。その一方で、社会や人々の意識の中に存在する不当な境界線を明らかにするものでもあります。

蛾や自身の身体をモチーフに、和紙を焦がして模様を描き出す手法で表現するウチダ リナ(1990年、東京都生まれ)は、本展では、和紙の作品にくわえて、自身の出自にまつわる出来事を平成という時代に投影させた物語を写真と映像作品で見せました。先史芸術や民俗芸術などを、インスピレーションの源に制作を続ける久保 寛子(1987年、広島県生まれ)の、身近な素材を用いた作品は新しい彫刻の可能性を提示しました。潘 逸舟(1987年、中国・上海生まれ)のイサム・ノグチ設計のモエレ沼公園でのパフォーマンスをもとにした新作ビデオインスタレーションは、人工と自然、自己と他者、現在と過去の対比を想起させ、見る者の価値観を揺るがします。「大正生まれの架空の三流画家であるユアサ エボシ」として作品を制作するユアサ エボシ(1983年、千葉県生まれ)は、史実を下敷きにした虚構と妄想の世界に私たちを誘います。セクシャルマイノリティーをはじめとする多様性をテーマに、写真や映像、文章、パフォーマンスなど様々な手法で表現する森 栄喜(1976年、石川県生まれ)は、社会の中でかき消されてしまう「小さな声たち」を紡いだ音の作品を展示、その中高松市在住の音響作家のばば まさみ(1995年、兵庫県生まれ)とのパフォーマンスも行いました。

作家たちの独自の手法による作品に触れることで、様々な人、もの、ことを知らず知らずの内に分断する「境界線」を飛び越える手がかりを見つけたことでしょう。

"Takamatsu Contemporary Art Annual" began with vol.00 in 2009, as a group exhibition of contemporary art that discovers and introduces outstanding artists with originality and future potential. This volume, the 11th one, takes the theme of "There Are No Boundaries here. / ?", and introduced five artists.

Contemporary art, which pursues avant-garde expressions with advanced painting materials, production methods, themes and concepts, overturns preconceived notions and eliminates the boundaries that have been drawn in the mind. On the other hand, it also reveals the unjust boundaries that exist in society and in people's consciousness.

Lina Uchida (born in 1990, Tokyo) expresses motifs of moths and her own body through the method of burning washi paper to create patterns. In this exhibition, she showed the story projected in the Heisei era with photos and video works. Hiroko Kubo (born in 1987, Hiroshima), who continues to create works inspired by prehistoric art and folk art, presented new possibilities for sculpture using familiar materials. Ishu Han (born in Shanghai, China in 1987)'s new video installation based on a performance at Moerenuma Park designed by Isamu Noguchi evokes the contrast between the artificial and the natural, the self and the other, and the present and the past. and shake the values of the viewer. Ebosi Yuasa (born in 1983, Chiba), who creates works under the name of "Ebosi Yuasa, a fictitious third-rate painter born in the Taisho era," invites us to a world of fiction and delusion based on historical facts. Eiki Mori (born in 1976 in Ishikawa) expresses the theme of diversity, including sexual minorities, through a variety of methods such as photography, video, writing, and performance. His work highlights the "small voices" that can be erased from society, and includes a performance with Masami Baba (born in 1995, Hyogo), a sound artist living in Takamatsu City.

By coming into contact with the works created by the artists' unique methods, visitors would find clues to jump over the "boundary lines" that unknowingly divided various people, phenomena and things.

- ◆会期 2021年2月11日(金・祝)～3月18日(金) 29日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：3月12日(土)～3月13日(日)、3月19日(土)～3月21日(月・祝) 5日間
※当初の会期2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝) 月曜日
- ◆休館日 月曜日
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人野村財団、公益財団法人熊谷正寿文化財団
- ◆協力 ANOMALY、ギャラリー小柳、KKAO 株式会社 KEN NAKAHASHI、Yoshiaki Inoue Gallery
- ◆入場料 一般 800円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 2,003人
- ◆担当学芸員 石田智子



アーティスト・トーク



学芸員ギャラリートーク



ウリダリナ



久保寛子



潘 逸舟



ユアサエボシ



森 栄喜



美術館横懸垂幕

◆講演会

アーティスト・トーク
日時：2月11日(金・祝) 14:00～15:30
出演：出品作家 場所：1階講堂
参加者数：46人

◆イベント

森 栄喜パフォーマンス「盗まれた傷たち | Stolen Scars」(p.38)
ウチダ リナワークショップ「和紙でかたどるカタチ」(p.34)
久保 寛子ワークショップ「ブルーシートで作ろう！瀬戸内の魚」(p.34)
ミニコンサート「これがオンガクカ？現代音楽！」(p.38)

◆ギャラリートーク

日時：2月12日(土) 14:00～
講師：石田智子(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：24人

日時：会期中の日曜日・祝日 14:00～(5回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ63人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／2月10日、2月11日
四国新聞／3月10日「境界線を越える体験を」
美術の窓／12月号、2022年2月号、3月号、4月号
月刊ギャラリー／12月号、2022年2月号、3月号
広報たかまつ／2月号、3月号
博物館研究／3月号
NICE TOWN／3月号
ままといっしょ／秋冬号、春号

◆図録

『高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.10 ここに境界線はない。／？』
執筆：ウチダリナ、久保寛子、潘 逸舟、ユアサエボシ、森 栄喜、篠原資明、石田智子
企画：石田智子、橘 美貴(高松市美術館)
編集：石田智子、井上奈緒、橘 美貴(高松市美術館)
デザイン：西頭慶恭(株式会社UMMM)
写真：表 恒匡
印刷・製本：有限会社修美社
発行：高松市美術館
仕様：18.2×24.2cm、48頁

◆ポスター・チラシ

西頭慶恭(株式会社UMMM)

◆作品リスト(p.22)



(チラシ表)



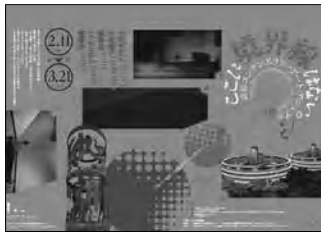
(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)

美術館に行こう！
ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

2021年4月17日（日）～6月6日（月）

第1会場 ディック・ブルーナ

- m-1 『美術館に行くこと』 展に寄せられたブルーナからのメッセージ 2007
m-2 スズシロにて 年賀状 1953
m-3 『うさこちゃんとうさこちゃん』 (1963 複製版) より
m-4 『うさこちゃんとうさこちゃん』 (1963 複製版) より
m-5 『うさこちゃんのおいちゃんとおばあちゃん』 (1968 複製版) より
m-6 『うさこちゃんのおいちゃんとおばあちゃん』 (1968 複製版) より
m-7 ミッフィーとペン 1970
m-8 うさこちゃんとうさこちゃんとうさこちゃんとうさこちゃん (1971 複製版) より
m-9 miffy 45th うさこちゃんのおいちゃんとおばあちゃん (1968 複製版) より
m-10 うさこちゃんとうさこちゃんとうさこちゃんとうさこちゃん (1970 複製版) より
m-11 miffy 45th うさこちゃんのおいちゃん (1965 複製版) より
m-12 miffy 45th うさこちゃんのおいちゃん (1970 複製版) より
m-13 miffy and bear 2007
m-14 miffy on the bike うさこちゃんとうさこちゃん (1982 複製版) より
m-15 miffy in flower dress 2008
m-16 『くまのぼりず』 (1969 複製版) より
m-17 『ボリスのやまのぼり』 (1969 複製版) より
m-18 『はるなつ あき 3月』 (1968 複製版) より
m-19 『はるなつ あき 3月』 (1968 複製版) より
m-20 おふろ
m-21 『ボリスのやまのぼり』 (1969 複製版) より
m-22 ボリスとバーバラ 『ボリスとバーバラ』 (1969 複製版) より
m-23 ぼりずはちからもち (くまのぼりず) (1969 複製版) より
m-24 バーバラ 『ボリスとバーバラ』 (1969 複製版) より
m-25 Boris and the umbrella 2008
m-26 『ふたのうたこさ』 (1977 複製版) より
m-27 『うたこさんのわらわごと』 (1977 複製版) より
m-28 『うたこさんのうた』 (1977 複製版) より
m-29 『うたこさんのうた』 (1977 複製版) より
m-30 うたこさんとうさこちゃん うたこさんのおいちゃん (1968 複製版) より
m-31 うたこさんのおいちゃん (うたこさんのおいちゃん) (1977 複製版) より
m-32 うたこさんとおせんこ (うたこさんのおいちゃん) (1977 複製版) より
m-33 ピアノ (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-34 ピアノ (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-35 ドラム (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-36 フルート (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-37 コントラバス (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-38 トロバドール (うさこちゃんのおいちゃん) (1964 複製版) より
m-39 おひやくしゅうのやん (うさこちゃんのおいちゃん) (1962 複製版) より
m-40 シンガー 2004

第1会場 えがきたくなるモノ

- 1 アンリ・マティス 模したるオリスと動物群 1925
2 パブロ・ピカソ 食卓 1904
3 パブロ・ピカソ コンボアのある動物 1909
4 ジョルジュ・ブラック コンポジション (静物 I) 1911
5 ジョルジュ・ブラック パル (サークルの上の) (スの最上) 1911
6 ジョルジュ・ブラック ザザリ 1917
7 小田実 空文 2006
8 上田康 なま玉子 1978
9 上田康 スプーンのゼリン-B 1974
10 岡田修二 水辺 33 2006

第1会場 いろいろなぶどうたち

- 14 津路信子 青文 2015
15 井上真吾 創作 No.3 1961
16 三河野実 Dog 2004-02 2004
17 津路信子 世界の横にこころにある大事な物 2015
18 野村浩一 世界 1964
19 津路信子 鳥 1967
20 安藤正子 電の海 2007

第1会場 さまざまなえがきた

- 21 デヴィッド・ホックニー ウェザーシリーズ：太陽 1973
22 岡本 画 1 1951
23 木村忠志 地ノ影 1961
24 木村忠志 モンパルナス大通り 1966
25 宮田一雄 空の海 1980
26 山口修造 作品 1962
27 阿部隆也 Echo 1964
28 宮田一雄 作品 1962
29 藤原隆也 作品 5 1963
30 白根一雄 地底星図 1961
31 小柳正人 作品 14 番 1989-90

第1会場 ふしぎなたち

- 32 川瀬 作品 1976-J.T.25 (series blue and white) 1976
33 ビエト・モンドリアン アルバム (A&B) 1957
34 山口修造 平穏な空 1964
35 李萬興 緑より #760160 1976

第2会場 だれかさんとそっくり？

- 36 堀内正和 人集 1966
37 三浦隆雄 群 1962
38 アンディ・ウォーホル マリリン (3&D) 1967
39 堀内正和 Les amies 2016

第2会場 たくさんのいろ

- 40 飯田晴子 The Ocean 1986
41 坂本石吉 Kanashi-12 2003
42 岡田修二 オレンジから 1975
43 丸山隆也 M&E 1 1991
44 岡田修二 LAKE 1970
45 菅野真実 黒文 1970
46 島田正明 黒 1961
47 村田正雄 子 1965
48 岡本太郎 生涯 1961
49 ワシリー・カンディンスキー 小さな世界 I-II-III-IV-V 1922
+50 アンリ・マティス ジャズ (12 色) 1947
+51 岡田修二 辻を渡る 2015

*カンディンスキー：3点ずつ マティス：6点ずつ 4/17・5/16、5/18・6/6 (日・月) 7時開演

藍の世界

2021
7/17(土)
8/29(日)

〔主催〕高松市美術館
〔企画協力〕株式会社デップ

前夜祭 7/17 (土) 8/9 (日) 10
後夜祭 8/11 (火) 8/29 (日) 10
※上記の期間に予定変更があります。

※本展は、会場内の作品撮影・撮影機材の持ち込みは禁止です。

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

The World of Yukata and Japanese Indigo

第1章 藍とゆかた

- 1-1 不祥 二重織機平賀 (付属：志緒)
1-2 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-3 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-4 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-5 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-6 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-7 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-8 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-9 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-10 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-11 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-12 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-13 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-14 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-15 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-16 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-17 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-18 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-19 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-20 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-21 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-22 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
1-23 不祥 藍の青波文様帯 (付属：志緒)

凡例：
作品番号 No. / 作家・工房・作品タイトル / 素材・技法 / 制作年 / 所蔵

第2章 ゆかたの今昔

- 2-1 清水孝太郎 長板中形白木綿地山路紋に菊花模様の浴衣
2-2 清水孝太郎 長板中形白木綿地青丸紋模様の浴衣
2-3 清水孝太郎 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-4 清水孝太郎 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-5 小笠原正 (特)、増井一幸 (監)、山ノ月武之 (監)
2-6 小笠原正 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-7 小笠原正 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-8 小笠原正 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
2-9 松原定吉 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-10 松原定吉 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-11 松原定吉 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-12 松原定吉 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-13 松原定吉 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
2-14 松原定吉 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
2-15 松原定吉 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
2-16 松原定吉 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
2-17 雲仙 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-18 雲仙 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-19 雲仙 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-20 雲仙 長板中形白木綿地山路紋に水玉模様の浴衣
2-21 中野隆二 藍
2-22 中野隆二 藍
2-23 中野隆二 藍
2-24 中野隆二 藍
2-25 雲仙 藍の青波文様帯 (付属：志緒)

第3章 ゆかたとファッション

- 3-1 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-2 suzuran 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-3 suzuran 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-4 suzuran 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-5 松原定吉 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-6 me ISSEY MIYAKE 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-7 me ISSEY MIYAKE 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
3-8 me ISSEY MIYAKE 藍の青波文様帯 (付属：志緒)

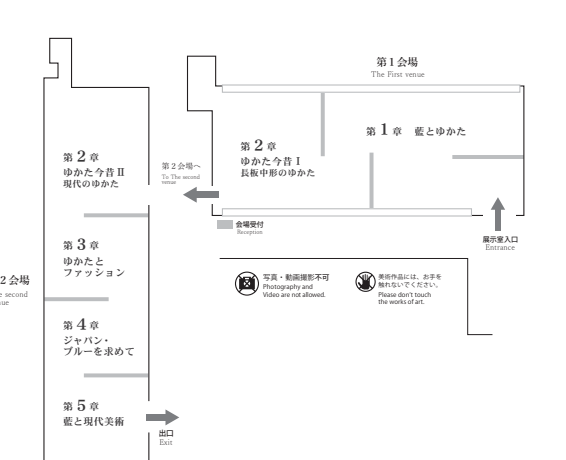
第4章 ジャパン・ブルーを求めて

- 4-1 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-2 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-3 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-4 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-5 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-6 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-7 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-8 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-9 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-10 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-11 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-12 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-13 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-14 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
4-15 藍の青波文様帯 (付属：志緒)

第5章 藍と現代美術

- 5-1 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-2 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-3 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-4 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-5 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-6 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-7 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-8 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-9 藍の青波文様帯 (付属：志緒)
5-10 藍の青波文様帯 (付属：志緒)

The World of Yukata and Japanese Indigo



高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

凡例：
作品番号 No. / 作家・工房・作品タイトル / 素材・技法 / 制作年 / 所蔵

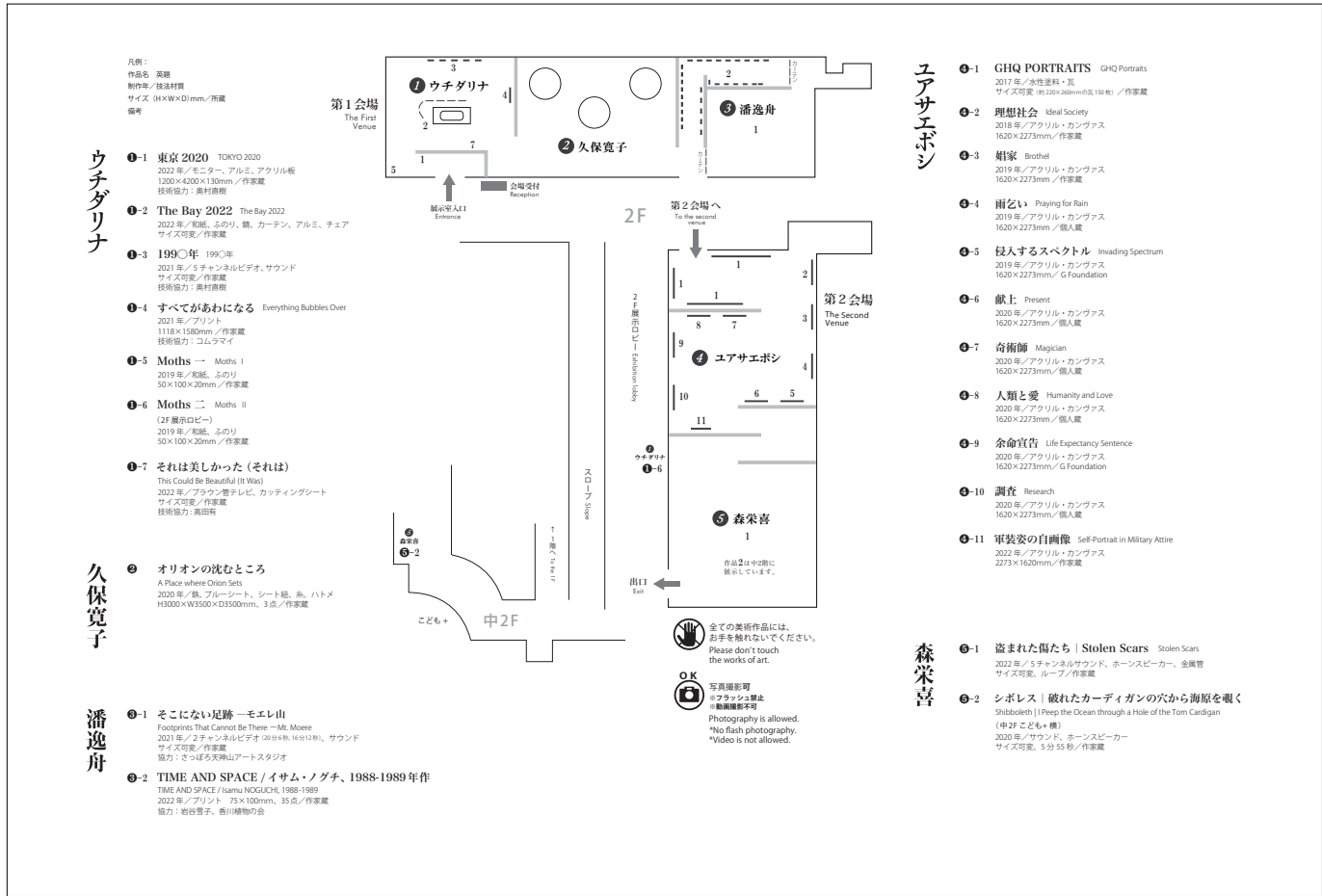
大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行 出品リスト ※記載なしは全てタイガー立石作

番号	作品名	制作年	所蔵
1-01	香春岳	1957	田川市美術館
2-01	共同社会	1963/1993	青森県立美術館
2-02	ハン	1963	千葉市美術館(サトウ画廊コレクション)
2-03	フン	1963	青森県立美術館
2-04	立石絃一のような	1964	高松市美術館
2-05	パネル・キャンペーン 積算文明とは何であるか	1964	ANOMALY
2-06	ネオン絵画 富士山	1964/2009	個人蔵(青森県立美術館寄託)
2-08	汝、多くの他者たち	1964	千葉市美術館
2-09	哀愁列車	1964/1988	高松市美術館
2-10	東京パロック	1963-64	高松市美術館
2-11	紅虎超特急	1964	広島市現代美術館
1-02	昭和二十一年筑豊之図	1964	ANOMALY
2-12	強行着陸	1965	田川市美術館
2-13	明治百年	1965	青森県立美術館
2-14	大停電計画	1965	刈谷市美術館
2-15	荒野の用心棒	1966	国立国際美術館
2-16	大農村	1966	個人蔵(田川市美術館寄託)
2-17	アラモのスフィンクス	1966	東京都現代美術館
2-18	大停電'66	1966	福岡市美術館
2-19	ピカソのオブジェ	1968	千葉市美術館
3-01	約束の時間	1970	豊田市美術館
3-02	はじめに革命あり	1970	高松市美術館
3-09	タイガー・ゲルニカ	1970	ANOMALY
3-10	タイガー・ゲルニカ	1970	ANOMALY
3-11	《タイガー・ゲルニカ》下絵	1970	ANOMALY
3-12	「タイガー立石 アレクサンドル・イオラス画廊」ポスター下絵	1972	埼玉県立近代美術館
3-13	「タイガー立石 アレクサンドル・イオラス画廊」ポスター	1972	埼玉県立近代美術館
3-42	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 祝祭としての惑星：室内案を聴くための筏	1972	埼玉県立近代美術館
3-43	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 祝祭としての惑星：巨大プロジェクト、イラワジ川とジャングルを望むパノラマ道路	1972	個人蔵
3-44	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 祝祭としての惑星：静止状態のウォーキング・シティ	1972	個人蔵
3-45	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 祝祭としての惑星：ワルツ、タンゴ、ロック、チャチャの音楽を提供する巨大なディスベンサー	1972	埼玉県立近代美術館
3-51	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 インドの想い出：ぶどうの入ったフルーツ・ボール	1972-73	埼玉県立近代美術館
3-52	エットレ・ソットサス／原画：タイガー立石 インドの想い出：ティー・ポット	1972-73	埼玉県立近代美術館
3-14	Changing	1973	個人蔵
3-21	A Point	1973	埼玉県立近代美術館
3-22	I feel, Therefore I Exist	1973	埼玉県立近代美術館
3-23	Planets Blossom	1973	埼玉県立近代美術館
3-24	Cubic Worlds	1973	埼玉県立近代美術館
3-25	Milano Torino Superway	1974	埼玉県立近代美術館
3-26	The Organic Whole	1974	埼玉県立近代美術館
3-15	The Entered Landscape	1974	個人蔵
3-17	(無題)	1974	埼玉県立近代美術館
3-03	Mad Moon	1975	板橋区立美術館
3-04	輪のミステリー	1975	板橋区立美術館
3-05	Wiper in Jungle	1975	ANOMALY
3-06	レモン・ムーン	1975	ANOMALY
3-07	Consciousness About Humanbody	1975	ANOMALY
3-16	Corn City	1975	個人蔵
3-18	(無題)	1975	ANOMALY
3-19	(無題)	1975	ANOMALY
3-20	(無題)	1975	ANOMALY
3-40	『ラウル・バルビエリ&ジョルジオ・マリアネッリ建築事務所』ポスター下絵	1975	埼玉県立近代美術館
3-41	『ラウル・バルビエリ&ジョルジオ・マリアネッリ建築事務所』ポスター	1975	埼玉県立近代美術館
3-57	『ダルミネ社 1977年』カレンダー下絵	1976	埼玉県立近代美術館
3-08	Green Monster	1976-77	田川市美術館
3-27	Spider's Myth	1978	埼玉県立近代美術館
3-29	Coral Moon	1978	埼玉県立近代美術館
3-58-a	リッキー・ジアンコ『アルチンボルド』レコード・ジャケット 原画下絵	1978	埼玉県立近代美術館
3-30	Cabbage Moon	1979	埼玉県立近代美術館
3-31	Big Diamond	1979	ANOMALY
3-32	Beautiful Moon	1979	埼玉県立近代美術館
3-33	Peacock Moon	1979	埼玉県立近代美術館
3-34	Moon's Satisfaction	1979	埼玉県立近代美術館

3-36	Time Elevator	1979	埼玉県立近代美術館
3-37	The First Suggestion	1979	埼玉県立近代美術館
3-38	Pisa	1979	埼玉県立近代美術館
3-55-a,d	アレッサンドロ・メンディーニ著『家事の風景』挿画下絵 a) 八角形のコーヒー&ティーカップ・セット デザイン：カルロ・アレッシィ 1935-37年 d) コーヒーメーカー案、企画：アレッシィ社とアレッサンドロ・メンディーニ 1979年	1979	埼玉県立近代美術館
3-59	ファブリ社『世界の発見』挿画下絵：新しい知識	1979	ANOMALY
3-60	ファブリ社『世界の発見』挿画下絵：山地	1979	ANOMALY
3-61	ファブリ社『世界の発見』挿画下絵：(都市と農村)	1979	ANOMALY
3-62	ファブリ社『世界の発見』挿画下絵：大地の本	1979	ANOMALY
3-63	ファブリ社・教科書副読本の挿絵下絵：コミュニケーションの理解	1979	ANOMALY
3-64	自作封筒：Tiger Tateishi, Super Multi Dimension	1970s	埼玉県立近代美術館
3-56-a, c	アレッシィ社のTシャツ下絵 a) アッキーレ・カスティリオーニ：「バッテリー駆動式の調味料配給機」 c) エットレ・ソットサス：「ピンクのパン」	1981	埼玉県立近代美術館
3-39	The Moon Grows to the Moon	1981	埼玉県立近代美術館
5-01	鬼瓦	1983	ANOMALY
5-02	時の列車	1984.03.06	ANOMALY
5-03	列島変身	1984.03.23	ANOMALY
5-04	都市	1984.04.27	ANOMALY
5-05	富士爆発	1984	ANOMALY
5-07	歴史の卵	1985	ANOMALY
5-08	平安のモンスター	1985	ANOMALY
5-09	ある軍縮会議	1986.08.30	ANOMALY
5-10	Last Dance	1986	田川市美術館
5-11	The Residents “The Eyeball Show (Live in Japan)”レコード・ジャケット原画	1986	個人蔵
5-12	海溝回路	1987	ANOMALY
5-13	海底遭難	1987	ANOMALY
5-14	拡大月	1987	個人蔵
5-15	蜜柑月	1987	ANOMALY
5-16	造形月	1987	個人蔵
5-17	精虫社会	1987	ANOMALY
5-18	情報の海 I	1989	ANOMALY
5-19	遠望装置	1989	個人蔵
5-20	封函虎	1989	千葉市美術館(サトウ画廊コレクション)
5-21	椰子と階段	1989	千葉市美術館(サトウ画廊コレクション)
5-22	案山子のある風景	1989	ANOMALY
5-23	母型装置	1989	ANOMALY
5-24	太公望城	1989	ANOMALY
5-25	百虎奇行	1989	田川市美術館
5-26	《昭和素敵大敵》下絵	1990	ANOMALY
5-27	昭和素敵大敵	1990	田川市美術館
5-28	《明治青雲高雲》下絵 1	1990	ANOMALY
5-29	《明治青雲高雲》下絵 2	1990	ANOMALY
5-30	《明治青雲高雲》下絵 3	1990	ANOMALY
5-31	明治青雲高雲	1990	田川市美術館
3-32	《大正伍萬浪漫》下絵	1990	ANOMALY
5-33	大正伍萬浪漫	1990	田川市美術館
5-34	車内富士(下絵)	1991	個人蔵
5-35	車内富士	1991	高松市美術館
5-36	借景亭	1992	豊田市美術館
5-37	壺富士	1992	泉 和浩氏蔵
5-38	七転八虎富士	1992	ANOMALY
5-39	松虎富士	1992	ANOMALY
5-40	雄鶏楼と富士	1992	ANOMALY
1-03	香春岳対サント・ビクトワール山	1992	田川市美術館
5-41	瓢箪と龍虎	1992	ANOMALY
6-01	水の巻	1992	豊田市美術館
5-42	富士のD N A	1992	ANOMALY
2-07	再制作《ネオン絵画 富士山》のためのドローイング	1992	田川市美術館
5-43	仮想〈虎祭〉現実	1993	泉 和浩氏蔵
5-44	大地球運河	1994	山本現代蔵
5-45	情報守護神	1994	山本現代蔵
5-46	音雷韻走査	1994	山本現代蔵
5-47	FIORE	1995	田川市美術館
5-48	CÉZANNE	1995	個人蔵(青森県立美術館寄託)

5-49	DE CHIRICO	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-50	GAUGUIN	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-51	HOPPER	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-52	MIRÓ	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-53	PICASSO	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-54	RIVERA	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-55	RYUSEI	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-56	TARO	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-57	GOGH	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-58	METAFISICA	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-59	POTATO	1996	個人蔵 (青森県立美術館寄託)
5-60	3 J	1996	青森県立美術館
5-61	キャベツハウス	1998	ANOMALY
5-62	税関吏ルソー	1998	田川市美術館
5-63	アンデスの汽車	1997-98	東京ステーションギャラリー
4-01	「保安官と41人のならず者」原画	1960s	ANOMALY
4-02	「ノアノア ゴーゴー」原画	1964.12	ANOMALY
4-03	「スクラップスティック・ゾーン」原画	1966	ANOMALY
4-04	「コンニャロ商会 No.5 機械対生物」原画	1967	ANOMALY
4-05	「コンニャロ商会 No.16 ケンカ両成敗」原画	1967	ANOMALY
4-06	「コンニャロ商会 No.24 第1回コンニャロオート・ショー」原画	1967	ANOMALY
4-07	「コンニャロ商会 No.25 水虫ニャロメ」原画	1967	ANOMALY
4-08	「コンニャロ商会 No.45 コンニャロ・クイズ」原画	1968	ANOMALY
4-09	「コンニャロ商会 No.47」原画	1968	ANOMALY
4-10	『Tiger Tateishi』扉原画	1968	ANOMALY
4-11	『Tiger Tateishi』p.15 原画	1968	ANOMALY
4-12	「エンドレス・タイガー」原画	1968	ANOMALY
4-13	「タイガー！タイガー！」原画	1968	ANOMALY
4-14	「我瞑想於竹林」原画	1968	ANOMALY
4-15	「幕間」原画	1968	ANOMALY
4-16	「ピラミッドにて」原画	1968	ANOMALY
4-17	「げんこつ vs げんこつ」原画	1968	ANOMALY
4-18	「キジー・アンド・ルーシー」原画	1970	ANOMALY
4-19	「水上歩行術」原画	1982	ANOMALY
4-20	「月面の生成」原画	1982	ANOMALY
4-21	「酔っぱらった月一色鉛筆の夜」原画	1982	ANOMALY
4-22	「海宇宙」原画	1982	ANOMALY
4-23	「陰陽月一藍染の夜」原画	1982	ANOMALY
4-24	「観光術」原画	1982	ANOMALY
4-25	「熱い問答」原画	1982	ANOMALY
4-26	「メタモルフォーズ」原画	1982	ANOMALY
4-27	「風景かこみ術」原画	1982	ANOMALY
4-28	「長城と日の出？」原画	1982	ANOMALY
4-29	「帯世界」原画	1982	ANOMALY
4-30	「音巻物」原画	1982	ANOMALY
4-31	「サンゴムーン一極楽色の夜」原画	1982	ANOMALY
4-32	「月が月になる」原画	1982	ANOMALY
4-33	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』カバー (表表紙部分) 原画	1983	ANOMALY
4-34	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』カバー (裏表紙部分) 原画	1983	ANOMALY
4-35	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』カバー (そで部分) 原画 (タイガー立石 自画像)	1983.07.23	ANOMALY
4-36	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』扉原画	1983	ANOMALY
4-37	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』タイトル原画	1983	ANOMALY
4-38	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』p149 原画	1983	ANOMALY
4-39	「カー・デザインは見かけじゃない」原画	1983	ANOMALY
4-40	「コンニャロからデジタルへ」原画	1983	ANOMALY
4-41	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 3 クロネコヤマトズ v.s. コツツミローブス」原画	1984	ANOMALY
4-42	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 7 ミサイルズ v.s. 地对空海」原画	1984	ANOMALY
4-43	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 9 骨なしチキンズ v.s. プリトーズ」原画	1984	ANOMALY
4-44	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 10 ペプシズ v.s. ドリンカーズ」原画	1984	ANOMALY
4-45	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 12 ネクラス vs. ネナシス」原画	1984	ANOMALY
4-46	「銀河帝国戦士勝ちぬきデスマッチ 13 KGBs vs. CIAs」原画	1984	ANOMALY
4-47	「虎家族 No.1」原画	1984	ANOMALY
4-48	「虎家族 No.7」原画	1984	ANOMALY
4-49	「虎家族 No.8」原画	1984	ANOMALY
4-50	「全然問答集 1」原画	1986	ANOMALY

4-51	「全然問答集 8」原画	1987	ANOMALY
4-52	「全然問答集 9」原画	1987	ANOMALY
4-53	「全然問答集 40」原画	1988	ANOMALY
4-54	「全然問答集 47」原画	1988	ANOMALY
4-55	「全然問答集 52」原画	1988	ANOMALY
4-56	『とらのゆめ』原画	1984	個人蔵
4-57	『さかさまさかさ』原画	1986	個人蔵
4-58	『ぐにゃぐにゃ世界の冒険』原画	1987	個人蔵
4-59	『すてきにへんな家』原画	1988	個人蔵
4-60	「わるわるコンビ トトとボンチョ『コチョコチョ鳥のまき』」原画	1992	個人蔵
4-61	『顔の美術館』原画	1994	個人蔵
4-62	『ぼくの算数絵日記』原画	1995	個人蔵
M1-01	タイトル不詳 (スケッチブックより)	1962	田川市美術館
M2-01	同人作品集『5』	1962	田川市美術館
M2-02	積算文明展 (資料)	1964	田川市美術館、ANOMALY
M2-04	中村 宏《観光芸術多摩川展 (DAS KAPITAL)》	1964	作家蔵
M2-05	平田 実《観光芸術研究所「路上歩行展」と通勤者たち (東京駅～京橋界限)》	1964	東京ステーションギャラリー
M2-06	観光芸術研究所「明治大学和泉校舎第14回和泉祭」ポスター	1964	埼玉県立近代美術館
M4-01	『Tiger Tateishi』	1968	ANOMALY
M4-02	『Tiger Tateishi』出版告知物	c.1968	ANOMALY
M4-03	『タイガー・立石漫画集 No.2《WANTED！》』	1968.09	ANOMALY
M4-04	『ブレクサス』no.16	1968.09	ANOMALY
M3-01	フェルナンダ・ピヴァーノ/エットレ・ソットサス編『ピアネータ・フレスコ』No.2-3	1968	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M4-05	『ブレクサス』no.28	1969.10	ANOMALY
M4-06	『ブレクサス』no.29	1969.11	ANOMALY
M4-07	漫画のためのアイデアノート	1969-76	ANOMALY
M4-08	アラン・アルドリッジ編『ザ・ビートルズ・イラストレイテッド・リリックス 2』	1972	ANOMALY
M3-02	アレクサンドル・イオラス画廊『TIGER TATEISHI』カタログ	1972	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-03	『カザベラ』no.365	1972.05	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-04	エミリオ・アンバース編『イタリア：ニュー・ドメスティック・ランドスケイプ』	1972	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-05	パオロ・フォサッティ著『イタリアのデザイン 1945-1972』	1972	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-06	『インーデザインの論点とイメージ』no.8	1972.11-12	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-07	アイデアノート	1973-77	ANOMALY
M3-08	『カザベラ』no.406	1975.10	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-09	『ダルミネ社 1977年』カレンダー	1976	埼玉県立近代美術館
M3-10	リッキー・ジアンコ『アルチンボルド』レコード・ジャケット	1978	埼玉県立近代美術館
M3-11	アレッサンドロ・メンディーニ著 / 原画：タイガー立石『家事の風景』	1979	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-12	『ドムス』no.602	1980.01	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M3-13-abc	アレッシィ社のTシャツ a) アッキーレ・カスティリオーニ：「バッテリー駆動式の調味料ディスペンサー」 b) エットレ・ソットサス：「ピンクのバン」 c) ブルーノ・ムナーリ：「シンメトリカルなオイルとビネガーの容器」	1981	埼玉県立近代美術館
M3-14	『モード』no.39	1981.05	埼玉県立近代美術館資料閲覧室
M4-09	『遊境漫画術 虎の巻』のための試作本	1982.01.01	ANOMALY
M4-10	『遊境漫画術 虎の巻』のための試作本	c.1982	ANOMALY
M4-11	『虎の巻 アララ仙人のおかしな世界』のための試作本	1982	ANOMALY
M4-12	『虎の巻 アララ仙人のおかしな世界』	1982.08	ANOMALY
M4-13	「絵本アイデア とらのゆめ」(デジタルコミックのためのアイデアノートより)	1982-83	ANOMALY
M4-14	『虎の巻』	1983.08	ANOMALY
M4-15	『タイガー立石作品集 コンニャロ+デジタル商会』	1983.08	ANOMALY
M4-16	「虎家族」のためのアイデアノート	1984	ANOMALY
M4-17	『タイガー立石のデジタル世界』のための試作本	c.1985	ANOMALY
M4-18	『タイガー立石のデジタル世界 思索ナンセンス選集8』	1985.09	ANOMALY
M5-01	スケッチブック	1986.12-87	ANOMALY
M6-01	映像展示《水の巻》 / 制作 映像：中川陽介 音：西原尚	2021	



第1期常設展

- ◆会期2021年4月6日(火)～6月20日(日) 44日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：
5月4日(火)～5月30日(日) 23日間
※臨時開館：6月7日(月)
月曜日(5月3日(月・祝)開館)
- ◆休館日
- ◆入場料一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数6,103人
- ◆担当学芸員牧野裕二



(パンフレット／常設1)



(パンフレット／常設2)

【常設展示室1】

現代の肖像 Contemporary Portraits

現代アートにおける多彩な肖像表現をテーマに、13点(11作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	郭徳俊	フォードと郭 ほか	1974 ほか
2	野田哲也	日記1978年2月10日 ほか	1978 ほか
3	舟越 桂	積んである読みかけの本のように	1983
4	村上 隆	そして、そしてそしてそして	1999
5	森村泰昌	ポートレート(赤Ⅰ)(黒)	1986
6	森村泰昌	ポートレート(少年)ⅠⅡⅢ	1988
7	奈良美智	Time of My Life 2001	1998-2001
8	横尾忠則	多士済々人物戯論 ほか	1966 頃ほか
9	アンディ・ウォーホル	ジャクリーヌ・ケネディⅡ	1965
10	アンディ・ウォーホル	ヨーゼフ・ボイス	1980
11	ジュリアン・オビー	Gray, popstar	1998-99
12	アレックス・カット	Six Female Portraits	2004
13	ジェームズ・ローゼンクワスト	マリリン	1974

【常設展示室2】

磯井如真の軌跡 The Tracks of Isoi Joshin

《供養之図 衝立》が収蔵されたことを記念し、讃岐漆芸に大きな足跡を残した磯井如真の初期から晩年にいたる作品44点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	磯井如真	草花文 乾漆花瓶	1930
2	磯井如真	里芋之圖 彫漆花瓶	1936
3	磯井如真	乾漆 花瓶	1937
4	磯井如真	供養之図 衝立	1933
5	磯井如真	サボテンにホロホロ鳥 彫漆飾棚	1936
6	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937
7	磯井如真	鶴 香盒	1939
8	磯井如真	茄子 香盒	1939 頃
9	磯井如真	雉子 香盒	1940
10	磯井如真	木彫 佛手柑香盒	
11	磯井如真	堆黒香盒 秋趣競味	1940
12	磯井如真	彫漆 香合 菜果之図	1940 頃
13	磯井如真	堆朱 柿香盒	1941
14	磯井如真	堆朱 柿香盒	
15	磯井如真	堆朱香盒 豊熟	1941 頃
16	磯井如真	堆黒香盒 海幸之圖	1941 頃
17	磯井如真	堆朱 雲鶴香盒	1943 頃
18	磯井如真	蒔醤茶入 竹林	
19	磯井如真	堆黒香盒 山野競味	1942
20	磯井如真	堆朱 香盒 百合	1942
21	磯井如真	堆漆 茶入	1941 頃
22	磯井如真	存清六角香盆	1942 頃
23	磯井如真	乾漆 花瓶	1944

- ◆ギャラリートーク日時：6月5日(土) 14:00 ～
講師：牧野裕二
参加者数：22人

第2期常設展

- ◆会期2021年6月26日(土)～8月6日(金) 36日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：
8月7日(土)～9月26日(日) 44日間
※当初の会期：6月26日(土)～9月26日(日)
- ◆休館日
- ◆入場料一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数1,573人
- ◆担当学芸員尾形絵里子



(パンフレット／常設1)



(パンフレット／常設2)

【常設展示室1】

木村忠太 光の記憶 Chuta Kimura -Memory of Lights

油彩画28点を展示し、香川出身で世界的に活躍した画家、木村忠太の画業を辿った。

No.	作家名	作品名	制作年
1	木村忠太	トロツコを押す男	1942
2	木村忠太	生きる男	1943 頃
3	木村忠太	昭和20年8月15日のコンポジション	1945
4	木村忠太	食堂の静物	1948 頃
5	木村忠太	くつ下をはく女	1948
6	木村忠太	風景	1948-52
7	木村忠太	食事	1949
8	木村忠太	サン・ニコラ・デ・シャン寺院	1954
9	木村忠太	ロイヤル通り	1954
10	木村忠太	オテル・ド・サンス	1954
11	木村忠太	セーヌ川の秋	1956
12	木村忠太	バリの郊外風景	1956
13	木村忠太	ミモザとパン	1958
14	木村忠太	リュクサンブール公園	1959

- ◆ギャラリートーク日時：9月4日(土) 14:00 ～
講師：尾形絵里子
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

No.	作家名	作品名	制作年
15	木村忠太	地下鉄の駅	1963
16	木村忠太	プロワ	1965
17	木村忠太	村の道	1965
18	木村忠太	トスカナ風景(シエナ郊外)	1965
19	木村忠太	モンパルナス大通り	1966
20	木村忠太	グラース郊外	1975
21	木村忠太	アムステルダム の港	1976
22	木村忠太	丘にのぼる道	1979
23	木村忠太	いつも通る道	1979
24	木村忠太	ビレネーの近く	1980
25	木村忠太	無題	1981-82
26	木村忠太	丘	1985
27	木村忠太	真昼	1987
28	木村忠太	リュクサンブール公園	1987

【常設展示室2】

工会 デザインの革新 Lacquer Artists' Group Takumikai -Design Innovation

昭和意匠の革新に取り糾んだ工会メンバーとその周辺の漆芸作家11人の作品33点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	石井馨堂	堆漆蜀葵形 菓子器	1921
2	石井馨堂	狹貫彫 堆朱料紙文庫 玉堂富貴之図	1927
3	高橋皖山	堆黒香盒	1918
4	高橋皖山	風月三毘 福祿壽 圖 紅華緑葉香合	1919
5	高橋皖山	采果並福寿之図 堆朱香炉盆	1920
6	磯井如真	草花文 乾漆花瓶	1930
7	磯井如真	里芋之圖 彫漆花瓶	1936
8	磯井如真	乾漆 花瓶	1937
9	磯井如真	乾漆 花瓶	1944
10	磯井如真	堆黒 香盆 麒麟之圖	1946
11	磯井如真	彫漆蒔醤 色紙筥	1946
12	森 象堂	堆黄松葉花瓶	1920 頃
13	森 象堂	狹貫彫 紅花緑葉茶量 福自天来之圖	1931
14	佐々竹僊	堆漆香盆 花物之図	1943
15	佐々竹僊	讃岐彫堆黒 肉池 風月三毘之圖	
16	音丸耕堂	彫漆七面鳥香盆	1928
17	音丸耕堂	彫漆食籠	1932
18	音丸耕堂	彫漆菓子盆	1932
19	音丸耕堂	彫漆双鯉之圖料紙箱	1934
20	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942
21	音丸耕堂	彫漆椿文手箱	1943
22	音丸耕堂	彫漆蘇鐵文食籠	1948
23	谷澤不二松	彫漆手箱	

No.	作家名	作品名	制作年
24	谷澤不二松	草花文 彫漆盆	1933
25	谷澤不二松	水葵之圖 彫漆香盆	1938
26	谷澤不二松	虫とみのりの図 小屏風	1940
27	谷澤不二松	金魚文彫漆鉢	1942
28	池内荷芳	蒔醤 金魚文小箱	
29	二代辻北陽斎	乾漆水指	1930 頃
30	岡田章人	彫漆鳳凰文鉢	1937
31	岡田章人	蒔醤雪柳之圖手筥	1947
32	横山 操	葉文 彫漆香盆	
33	横山 操	彫漆白い鳥香盆	

第3期常設展

- ◆会期2021年10月5日(火)～12月26日(日)74日間
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：10月2日(土)～10月3日(日)2日間
※臨時開館：10月25日(月)、11月1日(月)2日間
※当初の会期：10月2日(土)～12月26日(日)
- ◆休館日月曜日
- ◆入場料一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数4,519人
- ◆担当学芸員石田智子



(パンフレット／常設1)



(パンフレット／常設2)

【常設展示室1】
Young –それぞれの初期作品 Young – Each youth work

所蔵作品の中から画業の初期や20代から30代の比較的年齢が若い時期に制作された作品を12作家14点の作品で紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	北代省三	ダイヤグラム	1948
2	吉原英雄	断章	1955
3	菊畑茂久馬	奴隸系図 一内鏡による	1962
4	磯辺行久	WORK 62-43	1962
5	工藤哲巳	あなたの肖像	1963
6	篠原有司男	ピストル・オン・エアメール	1964
7	ヨシダミノル	JUST CURVE '67 Cosmoplastic	1967
8	岡崎乾二郎	あかさかみつけ、うぐいすだに、そとかんだ、のがた、たまち	1981
9	鬼頭健吾	cosmic dust	2002
10	束芋	にっぽんのちっちゃい台所	2003
11	束芋	無題	2003
12	桑久保 徹	女たちと白い箱	2008
13	中国孔二	無題	2012-13頃
14	中国孔二	無題	2015頃

【常設展示室2】
アール・デコと讃岐工芸 Art Deco and Sanuuki Crafts

近代工業とともに発展し、その後の工芸作品のデザインに大きな影響を与えたアール・デコ様式を讃岐の工芸家たちの作品16作家の作品31点により紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	津田信夫	一點玲瓏	1934
2	佐々木象堂	鍍銅 耳付 花入	1926
3	高村豊周	鍍銀花入 草徑	昭和初期
4	高村豊周	把手 花入	
5	高村豊周	青銅花入	
6	北原千鹿	葡萄文水差	1923
7	北原千鹿	花燭台	1926
8	北原千鹿	燭台	1928
9	北原千鹿	鉄香爐	1930
10	北原千鹿	芦二千鳥文金彩香爐	昭和初期
11	北原千鹿	漆 彩色銀 洋酒盃	
12	磯井如真	彫漆蒔醤 色紙筥	
13	音丸耕堂	彫漆双鯉之圖料紙箱	1934
14	音丸耕堂	彫漆銀蘭文 茶入	1952頃
15	音丸耕堂	彫漆草花文様八陵食籠	1957
16	大須賀 喬	黄銅花器	1930
17	鴨 幸太郎	喫煙具	1930
18	鴨 幸太郎	喫煙具	1933

- ◆ギャラリートーク日時：11月6日(土) 14:00～
講師：石田智子
参加者数：15人

第4期常設展

- ◆会期2022年1月5日(水)～3月27日(日)65日間
常設展示室1では、3月12日(土)～27日(日)は「第39回日本伝統漆芸展」を開催。
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：3月12日(土)、3月13日(日)、3月19日(土)～3月21日(月・祝)5日間
- ◆休館日月曜日(1月10日〔月・祝〕開館、1月11日〔火〕休館)
3月10日(木曜日)、11日(金曜日)は展示替えのため休室。
- ◆入場者料一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料

- ◆入場者数2,742人(第39回日本伝統漆芸展入場者数を含む)
- ◆担当学芸員 橋 美貴
- ◆ギャラリートーク日時：1月8日(土) 14:00～
講師：橋 美貴、キュレたま1名
参加者数：23人
- ◆関連イベント等「高松市美術館☆キュレたま2021」(p.38)
小野耕石ワークショップ「移植する色柱」(p.35)



(パンフレット／常設1)



(パンフレット／常設2)



(チラシ／伝統漆芸展)

【常設展示室1】
キュレたま2021企画「現象～移ろう世界～」Apprentice Curator's Project “Phenomena-Impermanence World”

公募によって集まった中学・高校生で構成されるキュレーターのためご(略してキュレたま)7人による企画。計5回のレクチャー・ミーティングを開催。「現象」という視点から19作家23点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井裕介	世界の根っこにある大事なもの	2015
2	池田龍雄	シリーズ禽獣記 ーパーティ	1958
3	池田龍雄	シリーズ虫類図譜 ーあや虫	
4	猪熊弦一郎	ジブシーの子供達	1939-40
5	岩崎貴宏	Out of Disorder (Snow Mountain)	2010
6	宇佐美圭司	日々を往き 返路を駆ける No.1	1983
7	小野耕石	Inducer. 03	2016
8	小野耕石	Hundred Layers of Colors	2016
9	小林正人	作品14番(天国)	1989
10	佐藤 敬	石の誕生日	1963
11	高松次郎	影の圧搾	1965
12	高松次郎	No. 371	1972

No.	作家名	作品名	制作年
13	内藤 礼	死者のための枕	2013
14	名和晃平	PixCell[Shoe # 6(L)]	2006
15	名和晃平	PixCell[LEGO-F1(Ferrari) # 1]	2008
16	野口哲哉	21st Century Light Series ～ The Tap ～	2020
17	野村 仁	ドライアイス	1969/2006
18	橋爪 彩	Les amies	2016
19	橋本雅也	タッチアイリス	2016
20	前田常作	快樂の園	1959
21	宮脇愛子	作品	1962
22	森本洋亮	Untitled(無題)	1974-79
23	柳原睦夫	積木の空 <1>	1981

第39回日本伝統漆芸展

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第39回となる本展は、東京・輪島・高松・広島 の4会場を巡回し、受賞作品8作品を含む入選作品全83点を展示した。

- ◆会期2022年3月12日(土)～3月27日(日)
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館：3月12日(土)、3月13日(日)、3月19日(土)～3月21日(月・祝) 5日間
- ◆主催高松市美術館、公益社団法人日本工芸会
- ◆後援文化庁、香川県、香川県教育委員会、朝日新聞社、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆入場者数665人

【常設展示室2】
讃岐彫の美 Beauty of Sanuki Carving

讃岐彫(狹貫彫)の作品41点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	堆朱 御筆簾筥	1851
2	玉椿象谷	堆黒 香盒	1830頃
3	玉椿象谷	堆朱紅葵饌合	1852
4	玉椿象谷	狹貫彫堆黒 松ヶ浦香合	1851
5	玉椿象谷	讃岐彫堆朱 手向山香盒	1852
6	石井啓堂	紅花緑葉 香盒	1931
7	石井啓堂	狹貫彫 布袋図 堆朱香盒	1942
8	石井啓堂	狹貫彫 堆黒忘貝香盒	
9	石井啓堂	堆朱蜀葵山鵲圖香盆	1910頃
10	石井啓堂	堆漆蜀葵形 菓子器	1921
11	石井啓堂	菓子器	
12	石井啓堂	紅花緑葉 香盒	
13	石井啓堂	狹貫彫 牡丹図 堆黒香盒	1943
14	石井啓堂	狹貫彫 蕪図 堆朱香盒	1943
15	石井啓堂	紅花緑葉香盆 水草虫之図	1928
16	石井啓堂	狹貫彫 堆朱料紙文庫 玉堂富貴之図	1927
17	石井啓堂	堆黒香盒	
18	石井啓堂	讃岐彫	
19	石井啓堂	堆朱香盆	1924
20	高橋皖山	采果並福寿之図 堆朱香炉盆	1920
21	高橋皖山	模製 象谷翁作 忘貝圖 堆黒香盒	

No.	作家名	作品名	制作年
22	高橋皖山	荷葉紅魚 野菜類之圖 堆朱肉池	
23	高橋皖山	風月三昆 福祿壽 圖 紅華緑葉香合	1919
24	高橋皖山	福祿壽 牡丹華之圖 堆黒香盒	
25	高橋皖山	手向山圖 堆黒香合	
26	高橋皖山	堆黒香盒	1918
27	佐々竹僊	堆漆香盆 花物之図	1943
28	佐々竹僊	狹貫彫 手篲 瑞雲鳴鳳之圖	1951
29	佐々竹僊	狹貫彫 堆黒香盒 鳥之圖	1947
30	佐々竹僊	讃岐彫堆黒 肉池 風月三昆之圖	
31	森 象堂	堆黄松葉花瓶	1920頃
32	森 象堂	狹貫彫 紅花緑葉茶量 福自天来之圖	1931
33	森 象堂	堆朱香合 竹之図	
34	鎌田稼堂	堆黄 かまきり模様香合	昭和初期
35	鎌田稼堂	忘貝 香合	1931
36	鎌田稼堂	堆黒放牛香合	1940頃
37	鎌田稼堂	堆朱 クモ 香合	
38	鎌田稼堂	堆朱 唐子香合	
39	鎌田稼堂	堆黄 海老 香合	
40	音丸耕堂	堆朱板文庫 昆蟲之圖	1928
41	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	3	—	2	—	—	5
寄贈	2	—	—	—	—	2
計	5	—	2	—	—	7

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	654	24	240	395	12	1,325
寄贈	152	22	32	178	4	388
計	806	46	272	573	16	1,713

ユアサエボシ

《軍装姿の自画像》

2022年
アクリル・カンヴァス
227.3×162cm
寄贈



令和3(2021)年度新収蔵作品一覧

稲崎栄利子

《現像》

2018年
陶
16×16×37cm
購入



加藤 翼

《Underground Orchestra》

2017年
ブルーレイ5分38秒、ed.1/5
購入



谷澤紗和子・藤野可織

《無名》

2015年
陶、貝、布にシルクスクリーン
サイズ可変
購入



松井えり菜

《エブリデー審判デイズ》

2020年
油彩・カンヴァス
162.5×130.5cm
購入



ユアサエボシ

《GHQ PORTRAITS》

2017年
水性塗料・瓦
各26×22cm 150枚
購入



野見山暁治

《今日という今日》

2002年
油彩・カンヴァス
182×228cm
寄贈



(2) 寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	松井えり菜	私クロスオーバー！	2019	油彩・カンヴァス	112×145.5cm
2.	町田久美	深夜帯イメージスケッチ	2004	鉛筆・紙	14.8×21cm

（3） 貸出作品

展覧会名／貸出先／貸出期間／作家・作品名		
大・タイガー立石展	千葉市美術館	2021/4/10 ～ 2021/7/4
	青森県立美術館	2021/7/20 ～ 2021/8/31
	埼玉県立近代美術館・うらわ美術館	2021/11/16 ～ 2022/1/16

タイガー立石《東京バロック》
タイガー立石《立石紘一のような》
タイガー立石《哀愁列車》
タイガー立石《はじめに革命あり》
タイガー立石《車内富士》

野口哲哉展ー THIS IS NOT A SAMURAI	山口県立美術館	2021/4/15 ～ 2021/6/13
	群馬県立館林美術館	2021/7/3 ～ 2021/9/5
	刈谷市美術館	2021/9/18 ～ 2021/11/7

野口哲哉《21st Century Light Series ～ The Tap ～》
野口哲哉《Cat-walk 2020》
野口哲哉《WOODEN HORSE》

空間に生きる画家 猪熊弦一郎 ー民主主義の生活空間と造形の試み	香川県立ミュージアム	2021/4/17 ～ 2021/7/4
------------------------------------	------------	----------------------

猪熊弦一郎《緑陰》
猪熊弦一郎《赤い服と猫》

三輪龍氣生の陶 命壺く	菊池寛実記念智美術館	2021/4/17 ～ 2021/8/8
-------------	------------	----------------------

三輪龍作《LOVE》

イサム・ノグチ 発見の道 Isamu Noguchi: Ways of Discovery	東京都美術館	2021/4/24 ～ 2021/8/29
--	--------	-----------------------

イサム・ノグチ《山つくり》

猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	2021/06/19 ～ 2021/8/16
------------------------	---------------	------------------------

猪熊弦一郎《CITY PLANNING》

縄胎漆器の世界 西岡春雪展	香川県漆芸研究所	2021/7/16 ～ 2021/8/29
---------------	----------	-----------------------

西岡春雪《縄胎朱塗 食籠》

福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧	千葉市美術館	2021/10/2 ～ 2021/12/19
--------------------	--------	------------------------

福田美蘭《慧河断臂図 折かわり絵》
福田美蘭《夏景山水図》
福田美蘭《秋景山水図》
福田美蘭《冬景山水図》
福田美蘭《春景山水図》

特別展「子どものころ」	徳島県立近代美術館	2021/10/9 ～ 2021/11/28
-------------	-----------	------------------------

野田哲也《日記 1977 年 8 月 19 日》
野田哲也《日記 1978 年 3 月 31 日》
野田哲也《日記 1979 年 2 月 26 日 (a)》
野田哲也《日記 1979 年 3 月 5 日 (a)》
ヤノベケンジ《ミニ・アトムスーツ》
高松次郎《影 No.294》
猪熊弦一郎《ジブシーの子供達》

集団と個の狭間でー 1950 ～ 60 年代の日本前衛美術 Between Collectivism and Individualism ーJapanese Avant-garde in the 1950s and the 1960s	ザヘンタ国立美術館、ポーランド	2021/11/25 ～ 2022/3/13
---	-----------------	------------------------

松谷武判《WORK 65-1》
山崎つる子《作品》
菊畑茂久馬《ルーレット》
中村 宏《聖火千里行》
白髪一雄《天威星雙鞭呼延灼》
金山 明《作品》
向井修二《WORK 1》
高松次郎《遠近法のテーブル (Perspective Table)》
高松次郎《遠近法の人物 No.192》
高松次郎《遠近法のベンチ》
中西夏之《コンパクト・オブジェ》
工藤哲巳《マザー・コンプレックス・パラダイス》
猪熊弦一郎《CITY PLANNING》
池田龍雄《シリーズ禽獣記 ー 覇鳥》
池田龍雄《シリーズ化け物の系譜 ー 出動》
池田龍雄《シリーズ化け物の系譜 ー ショーバイ (Ⅱ)》
山口勝弘《Kiss》
篠原有司男《女の祭り》
北代省三《カストゥールとボルックス》
横尾忠則《新宿泥棒日記》
横尾忠則《TADANORI YOKOO》
横尾忠則《切断された小指に捧げるバラード》
横尾忠則《土方巽 燐機大踏鑑》

華麗なる蒔醤の世界 太田加津子展	香川県漆芸研究所	2022/1/21 ～ 2022/2/27
------------------	----------	-----------------------

太田加津子《蒔醤 硯箱》
太田加津子《籃胎蒔醤 盛器 草花文》
太田加津子《籃胎蒔醤 盛器 波文》
太田加津子《乾漆蒔醤 水指 独案文》

(4) 図書

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次刊行物	図録	計
購入	73	41	1	2	117
寄贈	56	142	75	251	524
計	129	183	76	253	641

(1) 講演会

- ◆記念講演会「ディック・ブルーナ 文章と絵の奥にあるもの」
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連(p.4)
- ◆記念講演会「福本潮子、藍の世界を語る」
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連(p.6)
- ◆記念講演会「タイガー立石のイタリア時代」
※特別展「大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行」関連(p.8)
- ◆記念講演会「濱田窯90年 濱田庄司、晋作、友緒の仕事」
※特別展「大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展」関連(p.10)
- ◆記念対談「忘れられた民藝」
※特別展「大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展」関連(p.10)
- ◆アーティスト・トーク
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.10 ここに境界線はない。／？」関連(p.12)
- ◆アート×美術館×認知症：アートリップの概要と効果
障害のある人に向けた海外美術館の取り組み及び講師の林容子氏が行っている国内の美術館や老人介護施設での活動を紹介。
※令和3年度「障害者等による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）」の一環

主催：文化庁、一般社団法人アーツアライヴ
協力：高松市美術館
日時：2月20日(日)14:00～15:30
出演：林容子（一般社団法人アーツアライヴ代表理事、尚美学園大学・大学院准教授）
場所：1階講堂
参加者数：39人



まぶさび教室

篠原資明（当館アートアドバイザー）を講師とした講座「まぶさび教室」を開講した。

時間：各11:00～12:00
対象：高校生以上
場所：1階講堂
受講料：無料

シーズン10「時どきどきアート」	開催月日	参加者数
ポッティチェッリ	6月12日(土)	29
マティス	7月3日(土)	42
ダリ	7月24日(土)	49
ミケランジェロ	10月10日(日)	37
弥勒菩薩	10月16日(土)	38
		計195人



シーズン10

シーズン11「未来派ひろがる」	開催月日	参加者数
詩とmanifesto	11月13日(土)	24
絵画と彫刻	12月4日(土)	33
舞台と音楽	1月8日(土)	27
デザイン	2月12日(土)	24
写真と映像	3月5日(土)	27
		計135人



シーズン11

(2) 鑑賞・ワークショップ

◆絵本の読みきかせ会

展示室でミッフィーの絵本の読みきかせ会を開催した。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：4月24日(土) 14:00～15:30 ※5/8(土)は中止
講師：高松 本とおはなしの部屋
参加費：無料(要観覧券)
場所：2階展示室
参加者数：21人



◆ワークショップ「オリジナル藍色グッズを作ろう！」

輪ゴムや割りばし等を使い簡単な絞り染めをし、オリジナルのTシャツやハンカチを作った。
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時：7月22日(木・祝) 10:00～11:30、7月23日(金・祝) 10:00～11:30
7月24日(土) 10:00～11:30、13:30～15:00
講師：当館学芸員 協力：香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年生
参加費：300円(別途材料費)
対象：小学生以上
場所：3階講座室
参加者数：延べ40人



◆美術館の事前イベント「オリジナル盆踊りを作ろう！」

「一合まいた」の曲に合わせて、オリジナルの振付を考え、それを踊った動画を撮影・公開した。
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時：7月25日(日) 14:00～15:30(昼休憩あり)
講師：川瀬亜衣(ダンサー・振付家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：1階講堂ほか
参加者数：11人



◆土居大記ワークショップ「藍染布をまもってポートレイトに挑戦！」

博物館実習生が染めた藍染布をまもって、ポートレイトを撮影した。
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時：8月7日(土)→延期：1月16日(日) 14:00～15:30
講師：土居大記(美術家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：1階エントランスホールほか
参加者数：6人



◆中野裕介／パラモデルワークショップ「青いラインでふしぎな『たかまつ』の絵をかこう」

美術館のエントランスの床や壁に、プラレールで地図を描いた。
※特別企画「中野裕介／パラモデル個展「まTiGerの読み、いかReた挿し絵」」関連

日時：10月24日(日) 14:00～16:00
講師：中野裕介(美術家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：1階エントランスホールほか
参加者数：6人



◆ウチダリナワークショップ「和紙でかたどるカタチ」

鍵や瓶など参加者が持ってきた身近な小物を、和紙で張り子状にかたどった作品を制作した。
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.10 ここに境界線はない。／？」関連

日時：2月12日(土) 10:00～12:00
講師：ウチダリナ(アニユアル展出品作家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：3階講座室
参加者数：10人



◆久保寛子ワークショップ「ブルーシートで作ろう！瀬戸内の魚」

ブルーシートを素材に、魚など海の生き物を制作した。
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.10 ここに境界線はない。／？」関連

日時：2月13日(日) 13:30～15:30
講師：久保寛子(アニユアル展出品作家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：3階講座室
参加者数：9人



◆アートリッパ

認知症の人と一緒に美術鑑賞を楽しむプログラム。アートコンダクターの質問に答える形で鑑賞を進める。
この日は認知症の人の参加はなかった。
※令和3年度「障害者等による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)」の一環

主催：文化庁、一般社団法人アーツアライブ
協力：高松市美術館
日時：2月21日(月) 14:00～15:00
出演：林 容子(一般社団法人アーツアライブ代表理事、尚美学園大学・大学院准教授)
対象：認知症の方とそのご家族、本プログラムに興味のある方
場所：2階展示室
参加者数：10人



◆小野耕石ワークショップ「移植する色柱」

小野耕石の作品で使われているインクの柱を、好きなものに移植してオリジナルのアイテムを制作した。
※第4期常設展「「キュレたま2021企画 現象へ移ろう世界～」」関連

日時：3月5日(土) 14:00～15:30
講師：小野耕石(第4期常設展出品作家)
参加費：500円
対象：どなたでも
場所：3階講座室
参加者数：20人



子どものアトリエ

場所：記載のないものは3階講座室

◆かぶって、のせて、つないで、かぶと

5月5日の子どもの日にちなみ、紙製の丼をベースに、彩色したり、小箱や紙コップを接着するなどして、被って楽しい兜を作った。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：5月2日(土) 10:00～12:00
講師：上野あづさ(美術家)
参加費：500円
対象：3歳～小学2年生
参加者数：8人



◆いろいろな素材で絵をつくらう

布や段ボール、木端などを縦横30cm程度の段ボール板に配置し、半立体の画面を構成した。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：5月3日(月・祝) 10:00～12:00
講師：たのかずあき、たのあいこ(Romp art tree主宰)
参加費：500円
対象：5歳～小学6年生
参加者数：9人



◆カタチおどるオーナメントづくり

手触りや厚み、色の異なる様々な紙を自由に切り、組み合わせて、オーナメントをつくり、針金に貼り付けて、モビールに仕上げた。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：5月4日(火・祝) 10:00～12:00
講師：たのかずあき、たのあいこ(Romp art tree主宰)
参加費：500円
対象：5歳～小学6年生
参加者数：8人



◆(芸術士といっしょに美術館でハロウィン) まほうのくすりをつくりましょ！

ハロウィンにちなみ、魔法使いになったつもりで、乾燥した草花や木の実などをガラス瓶に詰め、色を付けたオイルを流し込んで、「まほうのくすり」が入った小瓶を作った。

日時：10月31日(日) 10:00～12:00
講師：モーリエール瞳(芸術士)
参加費：500円(別途材料費500円)
対象：3歳～小学2年生
場所：中2階ロビー
参加者数：8人



(2) 鑑賞・ワークショップ(つづき)

◆(芸術士といっしょに美術館でハロウィン)おばけモンスター仮面をつくろう！
白いドミノマスク(目元だけを覆うマスク)をベースに、彩色し、モールやビーズ、色紙、ホットボンドで作った蜘蛛の巣などを使って装飾を施した。

日時：10月31日(日)13:30～15:30
講師：大岸夏子(芸術士)
参加費：500円(別途材料費300円)
対象：小学1年～小学6年生
場所：中2階ロビー
参加者数：9人



◆ポップアップ☆クリスマスカードをつくろう！
色画用紙に切り目を入れて、開くと立体になるカードを作り、色鉛筆やカラーマジック、色紙、シールなどを使って、クリスマスにちなんだ装飾を施した。

日時：12月12日(日)13:00～16:00
講師：当館学芸員
参加費：無料
対象：どなたでも
場所：中2階こども＋
参加者数：70人



◆モーネ寺子屋 ジグザグ数字のカレンダー
四つ切画用紙の画面全体に、黒マジックで連続した円やジグザグなどを自由に描いて作った「自分の紙」から数字の形を切り出して台紙に貼り、カレンダーを作った。

日時：12月26日(日)10:00～12:00
講師：井上正憲、井上由希子(モーネ工房)
参加費：500円
対象：3歳～小学3年生
参加者数：10人



◆モーネ寺子屋 コラージュで2022年のカレンダーを作る
参加者が持参した雑誌や写真のほか、新聞やポスター、チラシなどから自由な形を切り出し、台紙に配置して、カレンダーを作った。

日時：12月26日(日)14:00～16:00
講師：井上正憲、井上由希子(モーネ工房)
参加費：500円
対象：小学1年生以上
参加者数：9人



こども+(プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント
「ふらっとアート」
日時：毎週木・土曜日 12:00～16:00

	開催期間	参加者数
1.いろがみワーク／みみmiミッフィー	4月17日(土)～6月6日(日)	2,116
2.型染めに挑戦！	7月17日(土)～8月29日(日)	52
3.ドット絵に挑戦してみよう！	10月1日(金)～11月3日(水・祝)	10
4.ひらひらおばけをつくろう！／クモの巣リースをつくろう！	10月1日(金)～10月30日(日)	52
5.オリジナル模様のお皿をつくろう！	11月13日(土)～12月19日(日)	109
6.焦がし紙で作品をつくろう！	2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)	121
		計2,460人



3



4



5



6

(3) パフォーマンス・その他

◆はっけんメッセージ
ミッフィーと一緒に高松市美術館の作品をみたら、各自の発見等をメッセージカードに書いてもらい掲示した。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：4月17日(土)～6月11日(金)
場所：中2階ロビー
参加者数：353人



◆写真撮影会「ミッフィーと一緒に！」
ミッフィーが高松市美術館に来てくれ、一緒に記念撮影をした。
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：5月1日(土)11:00～、13:00～、15:00～(各回30分程度)
参加費：無料(事前申込／各回先着25組)
場所：1階エントランスホール
参加者数：241人



◆子どものためのミニコンサート「みて、きいて、たのしもう PART2」
※特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」関連

日時：6月5日(土)13:30～14:00、15:00～15:30
出演：みゅーじっくすべーす・コモド
場所：1階講堂
参加者数：67人



◆美術館オリジナル盆踊りをおどろう！
ワークショップで制作したオリジナル盆踊りをエントランスホールでレクチャーし踊った。
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時：8月7日(土)→延期：10月31日(日)11:00～、14:00～(各回30分程度)
場所：1階エントランスホール
出演：川瀬亜衣(ダンサー・振付家)
対象：小学生以上
参加者数：15人



◆ミニコンサート「タイガー立石とその時代」
※特別展「大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行」関連

日時：10月9日(土)13:30～14:00
出演：長岡佐和、小林遼香、原 百合子、東はるか 他
監修：青山夕夏(香川大学教育学部教授)
協力：香川大学
場所：1階講堂
参加者数：32人



◆吉田省念アコースティック・ライブ
ギターとピアノの演奏により、自作の歌を披露。実父の故・ヨシダ・ミノルによる動き、音の出る作品(高松市美術館蔵)との共演も。演奏に先立ち、中野裕介／パラモデル氏との対談も実施された。
※特別企画「中野裕介／パラモデル個展「まTiGerの読み、いかReた挿し絵」」関連

日時：10月23日(土)18:00～20:00
出演：吉田省念(音楽家) 他
場所：1階エントランスホール
参加者数：86人



◆ミニコンサート「ゆかた de お箏-J・POPから現代音楽まで-」
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時：8月7日(土)→延期：11月21日(日)13:30～14:00
出演：邦楽アンサンブル煌 香川大学邦楽部竹友会
場所：1階講堂
参加者数：33人



(3) パフォーマンス・その他(つづき)

◆ミニコンサート「郷愁を誘うホルンの響き」

※特別展「大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展」関連

日時：12月11日(土) 13:30～14:00
出演：山下咲希(ホルン)、大山まゆみ(ピアノ)
協力：香川大学
場所：1階講堂
参加者数：34人



◆森栄喜パフォーマンス「盗まれた傷たち | Stolen Scars」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.10 ここに境界線はない。／？」関連

日時：2月11日(金) 18:00～19:00
出演：森 栄喜(出品作家)、ばば まさみ(音響作家)
場所：2階展示室
参加者数：60人



◆ミニコンサート「これがオンガクか？現代音楽！」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.10 ここに境界線はない。／？」関連

日時：3月5日(土) 13:30～14:00
出演：辻村 彩(フルート)、藤田哲志(フルート)、若井健司(テノール)、藤田亜子(サクソ)、大山まゆみ(ピアノ)
場所：1階講堂
参加者数：56人



高松市美術館☆キュレたま 2021

キュレーターのたまご(略してキュレたま)を募集し、当館学芸員によるレクチャー、参加者でのミーティングを経て常設展を企画する。令和3年度は「第4期常設展 キュレたま 2021 企画『現象～移ろう世界～』」(p.27)を企画し、ギャラリートークやイベント等も開催した。

日時：(レクチャー、ミーティング)5月30日(日)、6月20日(日)、7月25日(日)、9月12日(日)、10月17日(日)
参加費：無料
対象：2021年4月1日時点で満12歳～17歳の人
参加者数：7人

美術館の日

平成21年度より美術館の開館記念日(1988年8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展示会の観覧料を無料にしている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館とした期間と重なったことから、中止とした。

(4) 学校との連携

◆藍の紋染作品の制作・展示及びワークショップアシスタント

ブランチギャラリー展示のための作品制作と、ワークショップの参加者の制作補助。
※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

制作日：6月20日(日)他／3階講座室 他
展示期間：7月10日(日)～9月10日(金)(p.48)
ワークショップ開催日：7月22日(木・祝)、23日(金・祝)、24日(土)(p.34)
参加者：香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年生
参加者数：26人



◆特別展「ゆかたと藍の世界」オンライン解説会(各15分程度)

※特別展「ゆかたと藍の世界」関連

日時及び参加者(数)：
7月8日(木) 香川大学教育学部附属高松中学校1年3組／35人
7月14日(水) 香川大学教育学部附属高松中学校1年1組、1年2組／70人
7月15日(木) 香川大学教育学部附属高松中学校2年3組／35人
7月16日(金) 香川大学教育学部附属高松中学校2年1組／34人
講師：当館学芸員

◆香小研高松支部図画工作部会

日時：7月21日(水) 9:30～12:00

講師：当館学芸員
対象：香小研高松支部図画工作部会 会員
場所：1階講堂ほか
参加者数：65人

◆第4期常設展「讃岐彫の美」オンライン解説会(30分程度)

※第4期常設展関連

日時及び参加者(数)：
3月23日(水) 香川大学教育学部附属坂出中学校 美術部員／3人
講師：当館学芸員

◆中学生職場体験学習

期間：10月～11月
参加者数：延べ3人(さぬき市立長尾中学校1人、さぬき市立さぬき南中学校2人)

美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松－美術館間の交通費を負担)、展示会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校10校、参加者数423人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
牟礼北小学校	6月29日(火)	79
屋島小学校	7月1日(木)	74
香南小学校	7月2日(金)	65
高松第一小学校	10月15日(金)	105
下笠居小学校	10月29日(金)	43
弦打小学校	11月19日(金)	88
三溪小学校	11月24日(水)	86
屋島東小学校	11月26日(金)	27
弦打小学校	12月3日(金)	16
林小学校	12月8日(水)	101
林小学校	12月10日(金)	69
東植田小学校	12月16日(木)	10
大野小学校	12月17日(金)	76
木太北部小学校	1月15日(金)	57
計13校		1,304人



(5) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
8月17日(火)	カナンそごう児童クラブ	早川美穂・川染奈緒	中止
8月20日(金)	屋島西コミュニティセンター	早川美穂・川染奈緒	中止
11月9日(火)	高松市社会福祉協議会香南老人介護支援センター	早川美穂・川染奈緒	28
1月5日(水)	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	早川美穂・川染奈緒	7
1月23日(日)	高松市知的障がい者青年教室「スキップクラブ」	早川美穂・川染奈緒	中止
			計35人

※ 8/17、8/20、1/23は新型コロナウイルス感染防止のため中止。



(6) インターンシップ・ボランティア

◆せとうち観光専門職短期大学臨地実務実習
日程：11月4日(木)～11月13日(土)
参加者数：2人

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：8月3日(火)～8月8日(日)
参加者数：6人(四国大学、立教大学、広島大学、愛媛大学、八州学芸大学、京都先端科学大学各1人)

ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動が続けている。

◆登録者数：15人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	3	61
ゆかたと藍の世界	4	72
大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行	4	84
大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展	5	74
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.10 ここに境界線はない。／？	5	63
計21回		354人



◆その他の活動

開催年月日	活動内容
9月4日(土)	研修会「鑑賞プログラムワークショップ」(講師：福田千恵)
11月6日(土)	研修会「ワークショップ コミュニケーションについて学ぶ」(講師：福田千恵)

(7) 商店街との連携

サポートショップ

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施している。

令和3年度からは、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

◆展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗(商店街組合加盟店)
約740店舗

◆サポートショップ加盟店舗(商店街組合非加盟店も含む)
31店舗

◆割引利用者数
延べ207人

ランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。オープニング展示は、当館所蔵作家である藤 浩志の《1億5000万年前から受け継がれる》(2017年)を中心に、作家本人がインスタレーションしたほか、展覧会ポスターや動画により高松市美術館と高松市塩江美術館を紹介した。また、展覧会に連動した企画や高松市文化芸術振興課の事業「アート・シティ高松」で美術家等の展示が行われた。

展覧会名	会期
藤 浩志展	3月13日(土)～7月9日(金)
香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年生による特別展「ゆかたと藍の世界」関連展示	7月10日(土)～9月10日(金)
中野裕介／パラモデル個展「まTiGerる読み、いかReた挿し絵」	9月11日(土)～11月28日(日)
文化芸術振興課「アート・シティ高松／Loading platform／at the moment(カミイケタクヤ)」	12月2日(木)～1月17日(月)
文化芸術振興課「アート・シティ高松／Distance to the flower #花までの距離(大原希)」	1月27日(木)～3月13日(日)
錯視ワンダーランド「ナゾナゾニア」パネル展示	3月15日(月)～4月10日(日)



中野裕介／パラモデル個展



カミイケタクヤ



大原希



ナゾナゾニア

(1) その他の印刷物

◆年間スケジュール
発行：2021年3月



(2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

◆ホームページ
URL：https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/
アクセス件数：156,995件

◆Facebook(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：209件
フォロワー数：994人

◆Instagram(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：120件
フォロワー数：2,727人

◆Twitter (@takamatsu_art_m) 2020年7月24日開設
年間投稿件数：368件
フォロワー数：1,052人

◆Youtube (@takamatsu_art_m) 2020年5月28日開設
年間投稿件数：35件
フォロワー数：326人

篠原資明

- ◆執筆
「ニタリア国トラ夢譚」『大・タイガー立石展』図録(2021年4月10日)
「境界線とは隙間のこと？」『高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.10 ここに境界線はない。/?』図録(2022年3月)
- ◆その他
アートアドバイザー講座「まぶさび教室」(p.33)

毛利直子

- ◆執筆
「近藤亜樹」『VOCA展2022 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』図録(2022年、「VOCA展」実行委員会／(公財)日本美術協会 上野の森美術館)
「美術に親しみ、作品への理解を深める教育普及プログラム」『初等教育資料』2022年2月号(東洋館出版社)
- ◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師
「VOCA展2022」推薦委員
詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員
高知県立美術館資料収集審査会委員
芸術文化振興基金文化団体活動専門委員会委員
令和3年度「CONNECT」事業の企画・運営業務に係る企画案審査委員
第46回四国地区高等学校演劇研究大会審査委員

牧野裕二

- ◆執筆
主要作品解説『大・タイガー立石展』図録(2021年4月10日)

石田智子

- ◆執筆
資料紹介「磯井如真《供養之図 衝立》(高松市美術館蔵)」『香川史学』第47・48号(2021年3月、香川史学会)
「ここに境界線はない。/?」『高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.10 ここに境界線はない。/?』図録(2022年3月)
- ◆その他
講演「藍とゆかた」(美術史アカデミー「藍の拡がり」第2回、2022年2月20日、徳島県立徳島城博物館)

橋 美貴

- ◆執筆
「「Swing! Swing!! 大島よしふみ彫刻展」——50年の軌跡をたどる」(2021年6月1日、artscape(WEB))
「生きるまなざし——木村忠太の初期作品《昭和20年8月15日のコンポジション》」(2021年10月15日、artscape(WEB))
「作品タイトルをあなたがつけるとしたら?——中高生たちが「キュレたまプロジェクト」を通してつくる鑑賞体験」(2022年2月1日、artscape(WEB))
「「中学生キュレーター」と「キュレたま」——中学生がつくる展覧会」『美術教室No.58』(2022年1月、香川県中学校美術教育研究会)

(1) 主催事業

特別展								
			美術館に 行こう！	ゆかたと藍の 世界	大・タイガー 立石展	濱田庄司展	アニユアル vol.10	計
有料	通常	一般	4,532	717	2,862	1,141	806	10,058
		大学生	640	51	135	53	199	1,078
	割引	一般	911	88	283	174	68	1,524
		大学生	23	0	3	6	4	36
	前売	一般	560	58	0	0	0	618
		大学生	11	0	0	0	0	11
	共通定期観覧券		360	178	309	256	189	1,292
	小計		7,037	1,092	3,592	1,630	1,266	14,617
無料	高校生		600	52	99	65	195	1,011
	中学生		161	73	57	15	17	323
	小学生		598	63	304	478	58	1,501
	就学前		1,170	18	110	33	37	1,368
	小計		2,529	206	570	591	307	4,203
免除	大学生 他		106	48	36	0	0	190
	引率者		29	3	15	32	10	89
	障がい者介添人		275	95	238	117	109	834
	行政視察		2	0	0	0	0	2
	小計		412	146	289	149	119	1,115
招待券等			418	287	345	371	311	1,732
観覧者総数			10,396	1,731	4,796	2,741	2,003	21,667
1日当たり入場者数			400	96	165	86	69	162
夜間（火～土曜日の17時～19時）			95	73	535	60	117	880

常設展							
			第1期	第2期	第3期	第4期	計
有料	通常	一般	178	189	283	486	1,136
		大学生	11	14	29	79	133
	割引	一般	27	18	27	39	111
		大学生	0	0	0	0	0
	共通定期観覧券		179	107	233	155	674
	小計		395	328	572	759	2,054
無料	高校生		157	52	82	196	487
	中学生		94	43	63	52	252
	小学生		723	211	694	153	1,781
	就学前		954	16	45	32	1,047
	小計		1,928	322	884	433	3,567
免除	大学生 他		95	1	13	30	139
	引率者		31	9	42	17	99
	長寿		167	177	322	283	949
	障がい者介添人		101	59	135	84	379
	行政視察		0	11	0	2	13
	小計		394	257	512	416	1,579
招待券等			3,386	666	2,551	1,134	7,737
観覧者総数			6,103	1,573	4,519	2,742	14,937
1日当たり入場者数			139	44	61	43	69
夜間（火～土曜日の17時～19時）			45	99	288	93	525

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	405	107	397	371	78	0	522	418	341	312	266	276	3,493
開室日数	26	3	27	27	5	0	26	26	23	23	24	22	232

こども+（プラス）													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	395	285	1,436	202	0	0	166	139	178	188	161	122	3,272
開室日数	26	3	8	27	5	0	26	26	23	24	24	22	214

(2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第47回高松市民美術展	4/6~4/11	6	1,492
80周年記念創元展香川巡回展	6/15~6/20	6	1,128
独立美術四国会展	6/29~7/4	6	562
第13回 一榮会書展	7/2~7/4	3	473
第48回 毎日書道学会展	12/24~12/26	3	786
第38回 香川県高等学校総合文化祭 美術・工芸展	2022/1/7~1/10	4	753
第38回 香川県高等学校総合文化祭 書道展	1/7~1/10	4	758
令和3年度 高松市教育文化祭	1/14~1/16	3	5,979
令和3年度 香川県小・中学校総合文化祭	1/14~1/16	3	6,042
第29回 由源香川書展	1/21~1/23	3	898
第29回 由源香川書展(学生の部)	1/21~1/23	3	1,265
第24回 硯友展	3/29~4/3	6	2,600
計12展		50	22,736

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
創造するチカラ 狛犬コンベンション2021	4/1~4/4	4	171
樋笠幸三&樋笠咲二人展（当初の会期：4/27~5/5）	4/27~5/3	7	830
集展	6/15~6/20	6	604
INSPIRING MEMORIES（当初の会期：8/3~8/15）	8/3~8/6	4	277
第27回 サロン・エウスン絵画展	10/5~10/10	6	821
第11回グループひかり絵画展	10/12~10/17	6	348
第65回 創元会 香川支部展	10/19~10/24	6	505
第10回 グループ尚作品展	10/26~10/31	6	431
第18回 新協美術会香川支部 近作展	11/2~11/7	6	597
第39回 新構造社香川支部展	11/16~11/21	6	450
フクロウ絵画展	11/23~11/28	6	549
Part2,木星会作品展	11/30~12/5	6	456
第3回 蘇樂書展	12/9~12/12	4	519
Fashion Collaboration 2021(吉田愛服飾専門学校)	12/14~12/19	6	534
香川県立高松工芸高等学校美術科作品展	12/21~12/26	6	629
香川県中学校美術部作品展	1/7~1/16	9	1,573
第43回 香川県高等学校美術・工芸教員作品展	1/21~1/23	3	331
星野文昭・暁子絵と詩展	1/28~1/30	3	146
書道教室きらきら星&樂書き教室作品展	2/4~2/6	3	360
第11回 英明高等学校 美術デザイン系展	2/15~2/20	6	617
香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース卒業研究制作展2022	2/23~2/27	5	515
第31回 道香社書作展	3/4~3/6	3	451
個展 黒木拓実「邪の化身たち」	3/23~3/29	6	278
計23展		123	11,992

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	30	50	40	250	50	30	60	100	260	0	49	140	1,059
利用回数	1	1	1	6	1	1	2	2	4	0	4	7	30

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	434	256	406	445	181	428	521	513	378	446	259	309	4,576
利用回数	33	18	30	35	16	32	40	37	30	30	21	23	345

tupera tupera のかおてん.

“KAOTEN”of tupera tupera

クスクス、ドッキ、ゲラゲラ、ワクワク！
顔を楽しむ展覧会
顔ってやっぱりおもしろい！

絵本を中心に活躍しているクリエイティブ・ユニット tupera tupera（ツペラ ツペラ）。カラフルな貼り絵や切り紙、ユーモアに富んだ言葉は、たくさんの楽しさや笑い、驚きにあふれ、幅広い世代を魅了しています。そんな大人気ユニットによる展覧会がついに香川へやってきました。テーマはズバリ「かお」。

本展では、『かおノート』や『こわめっこしましょ』など絵本原画をはじめ、2メートルの大きな顔が並ぶ「かお 10（テン）」、映像作品「かおつくリズム」を展示しました。さらには、来場者がさまざまな仕掛けを発見していく巨大インスタレーション「かおカオス」や、体をつかってオリジナルの顔を作っていく「床田愉男（ゆかだゆかお）」など、遠目に眺めるだけではなく、参加・体験型の作品が広がりました。

会場はいろんな「かお 顔 カオ」でいっぱい！大人も子どもも、クスクス、ドッキリ、ゲラゲラ、ワクワク！めくるめく楽しい「かお」だらけの世界をお楽しみいただきました。

- ◆会期 2022年4月16日(土) ～ 5月29日(日) 39日間
- ◆休館日 月曜日(5月2日(月)開館)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆企画協力 PLAY! MUSEUM
- ◆入場料 一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 16,729人
- ◆担当学芸員 尾形絵里子

Giggling, surprised, guffawing, thrilled!
An exhibition all about enjoying faces
Faces sure are fun!

The creative unit tupera tupera is most active in the arena of picture books. They use colorful pasted pictures, cutouts, and humorous turns of phrase, overflowing with fun, laughter, and surprises, to appeal to people of all ages. An exhibition of the work by these popular creators was finally coming to Kagawa, with a theme of “faces.”

The exhibition featured illustrations from such works as “Make More Faces” and “Let’s Make Scary Eyes,” the “Ten Faces” exhibit of a lineup of 2-meter high faces, and the visual piece “Face-Making Rhythm.” There were also the massive installation “Face Chaos,” which allowed visitors to the museum to uncover all sorts of hidden contraptions for themselves, and “Happy Floorman” that allows people to create their own unique faces. This exhibition was about more than just looking at the art from afar; there are participation and experience based exhibits too.

The venue was bursting with faces, faces, faces! Adults and children alike were giggling, surprised, guffawing, and thrilled! Step into a wonderful world of funny and exciting faces.



公開制作



内覧会



◆イベント

- tupera tupera による公開制作 (p.80)
- tupera tupera による絵本ライブ (p.80)
- tupera tupera 『かおPLAY!』×ふらっとアート (p.79)
- Let's かおPLAY! (p.77)
- ミニコンサート「みて、きいて、たのしもう PART3」(p.80)

床田愉男 フォトコンテスト
展示会場の参加型インスタレーション「床田愉男」の写真を、「#ゆかおフォトコン」 「#かおてん香川」をつけて、Instagram投稿してもらい、優秀作品5作品には展覧会グッズをプレゼントした。
参加者数：41名

◆主な新聞・雑誌等関連記事

- 四国新聞／4月14日、4月15日、5月26日「かおてん．1万人突破」、5月19日「想像刺激する顔顔顔」
- 読売新聞／5月25日「いろんなかお こんにちは」
- ままといっしょ／2022春号
- 広報高松／4月号
- 調査月報／4月号
- 博物館研究／4月号、5月号
- 芸術新潮／5月号、6月号
- 月刊ギャラリー／5月号
- ナイスタウン／5月号
- 美術の窓／5月号、6月号
- MOE／6月号

◆ポスター・チラシ

デザイン：株式会社ミンナ



(チラシ表)



(チラシ裏)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)

みる誕生 鴻池朋子展
The Birth of Seeing Tomoko Konoike

これまで芸術が特権的に提示してきた視覚中心の価値観、文化と経済のグローバリズムの構造が、今、地球規模の転換期を迎えています。鴻池朋子は、アニメーション、絵画、絵本、彫刻などから手芸、おとぎ話、歌まで、あらゆる身近なメディアを用い、旅をして地形や季節と共に作品をつくり、その始まりから一貫して芸術の根源的な問い直しを続けてきました。

今回、鴻池は生まれたての体で世界と出会う驚きを「みる誕生」と名付けました。観客は眼だけではなく、手で看(み)る、鼻で診(み)る、耳で視(み)る、そして引力や呼吸で観(み)て、美術館という強固な建築と、疎遠になってしまった自然界とに新たな通路を開いていきます。新作の《どうぶつの糞》の模型、牛革ツギハギの《皮トンビ》などを、人間の痕跡である美術館のコレクションと共存させました。また、美術館と海を隔てた大島とをつなぐ、生命の波打ち際である「インタータイダル・ゾーン(潮間帯)」というトポスには、国立療養所 菊池恵楓園 絵画クラブ「金陽会」の作品、若林奮の《緑の森の一角獣座 模型》、手芸《物語るテーブルランナー》などが波のように寄せ合いました。生きていることは、みな、時も光も全て違う。観客も、もはや人間だけではないのです。

The visual-focused values that it has been the privilege of art to present to the world in the past, and the global structures of culture and economy, are entering a period of tectonic shift on a global scale. Tomoko Konoike has worked across a variety of familiar media, including animation, painting, picture books, sculpture, handicrafts, fairy tales, and songs, while traveling to present her works alongside specific landscapes or specific seasons. Since the start of her career, one common and ongoing theme in all her work has been to fundamentally question the nature of art.

For this exhibition, she had given the name “the Birth of Seeing” to the surprise of encountering the world in a newborn body. Her audience sees not with their eyes, but with their hands, nose, ears; with gravity, and with their breath, opening a new passage between the solid construct of the museum and the estranged natural world. Her new animal droppings model and leather patched "Leather Black Kite" coexisted alongside the human-leavings of the museum collection. She had also created a spot called an “intertidal zone”—a beach where the waves of life lap, connecting the museum to Oshima Island across the sea. A variety of artwork washed over the beach like waves, including paintings from the Kinyokai art club at Kikuchi Keifuen in Kumamoto, Isamu Wakayabashi's, "Model for the Green Constellation" and the handcrafted "The Storytelling Table Runner Project". With different time, light, and language, the audience—and the artist, too—are more than just human.

- ◆会期 2022年7月16日(土)～9月4日(日) 45日間
- ◆休館日 月曜日(7月18日〔月・祝〕、8月15日〔月〕開館)、7月19日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団
- ◆入場料 一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 8,090人
- ◆担当学芸員 毛利直子、石田智子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(記録集)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



クロストーク1



クロストーク2



トポストーク



玄関前看板

- ◆講演会
クロストーク1「絵の波打ち際から」
日時：7月16日(土) 13：30～15：00
出演：蔵座江美(キュレーター)、鴻池朋子(出品作家)
場所：1階講堂
参加者数：82人

- クロストーク2「糞土思想から“みる”驚き」
日時：8月7日(日) 10：30～12：00
出演：伊沢正名(糞土師、元自然写真家)、鴻池朋子(出品作家)
場所：1階講堂
参加者数：67人

- ◆イベント
みる誕生会 (p.77)
筆談ダンス Dance in writing (p.80)
こども鑑賞プログラム (p.77)
ふらっとアート「ウンチをつくろう！」(p.79)
学校と美術館のためのプログラム (p.83)
ミニコンサート「動物たちの音楽会 2022」(p.80)

- ◆ギャラリートーク
トポストーク
日時：7月17日、7月24日(日) 各14：00～
講師：石田智子(当館学芸員)
場所：1階展示室
参加者数：延べ35人

- 日時：会期中の日曜日・祝日 各14：00～(7回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
参加者数：延べ76人

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
美術展びあ2022／2月10日
四国新聞／7月14日、7月17日「感性揺さぶる作品並ぶ」、8月5日「療養所の絵 パワー放つ」
毎日新聞(夕刊)／8月8日「美術館の役割を問う」
朝日新聞(夕刊)／8月16日「美術よ 自然にかえれ」
山陽新聞／8月25日「“見る体験を広げる”」
読売新聞(夕刊)／8月25日「手、呼吸でも「みる」世界」
熊本日日新聞／9月21日「瀬戸内の風景に溶け込む絵」
美術手帖／10月号、2023年1月号
芸術新潮／12月号
月刊ギャラリー／5月号、6月号、8月号、9月号、12月号
広報高松／7月号
調査月報／7月号、8月号
美術の窓／7月号、8月号、9月号
芸術新潮／7月号、8月号、9月号
博物館研究／8月号、9月号
ままといっしょ／2022夏号
週刊文春／9月1日
コトノネvol.43
Tokyo Art Beat(WEB)／8月29日
WEB版美術手帖
エクスペリエンス高松
こえびレポート

- ◆図録
『みる誕生 鴻池朋子展 記録集 高松編』
編集：石田智子、牧野裕二(高松市美術館学芸員)
執筆：鴻池朋子、蔵座江美、毛利直子、川谷承子、奥脇崇大、牧野裕二、石田智子、橘美貴、福田千恵
デザイン：佐々木茜(有限会社デジタルモリス)
写真：永禮賢、山本糾、橋爪勇介(ウェブ版「美術手帖」編集部)、高松市美術館、鴻池朋子
印刷・製本：株式会社太陽社
発行：高松市美術館
発行日：2022年10月22日
仕様：21×14.8cm、64頁

- ◆ポスター・チラシ
デザイン：有限会社デジタルモリス

- ◆作品リスト (p.56)

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.11 フラジャイルーひそやかな風景ー

Takamatsu Contemporary Art Annual vol.11 FRAGILE

独自性のある優れた作家を紹介する「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」。今回は「フラジャイル／ひそやかな風景」をテーマに、5人の気鋭の作家による作品を通して、「フラジャイル(fragile=こわれやすい、繊細な)」な表現の魅力に迫ります。

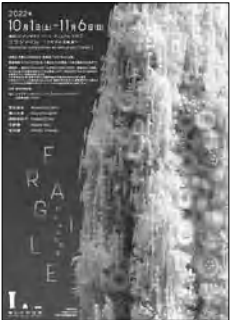
赤松音呂(東京都生まれ)はインスタレーション等様々な手法により、自然や日常生活の中でひそかに脈打つリズムを掬い上げます。諫山元貴(1987年大分県生まれ)は「崩壊と複製」をキーワードに、制御できない出来事により物質が変化する様子を映像やインスタレーションにより表現します。稲崎栄利子(1972年兵庫県生まれ)は細かな土のパーツを無数に組み合わせて焼成する独自の技法により、陶芸の可能性を拡張し続けます。北野 謙(1968年東京都生まれ)は人間の視覚を超えた、人間と宇宙をめぐるビジョンを写真により表現します。本田 健(1958年山口県生まれ)は岩手県遠野を拠点に、山野や自宅の庭などの風景をチャコールペンシルや油彩により緻密に描きます。多彩な表現の数々をお楽しみいただきました。

The "Takamatsu Contemporary Art: Annual" exhibition introduces unique and skilled artists. Under this year's theme of "Fragile/Calm Landscape," we explored the appeal of "fragile" artistic expressions as seen in the work of five cutting-edge artists.

Nelo Akamatsu (born in Tokyo) uses techniques such as installations to pick up on the rhythms that secretly pulse in both nature and everyday life. Genki Isayama (born in 1987, Oita) uses video and installations to express the transformation of matter as caused by uncontrollable events, working with the keywords "collapse and reproduction." Eriko Inazaki (born in 1972, Hyogo) continues to expand the possibilities of ceramic art through her own unique technique of combining and then firing countless small pieces of clay. Ken Kitano (born in 1968, Tokyo) uses photography to express a vision of humans and the universe that transcends human visual capacity. Takeshi Honda, (born in 1958, Yamaguchi), creates detailed charcoal pencil and oil paintings of landscapes in the mountains and his garden from his base in Tono, Iwate Prefecture.

This was a chance for a visitor to enjoy a selection of diverse expressions from these artists.

- ◆会期 2022年10月1日(土) ～ 11月6日(日) 32日間
- ◆休館日 月曜日(10月10日(月・祝)開館)、10月11日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆協力 ミヅマアートギャラリー、アートギャラリーミヤウチ、目黒陶芸館、MEM
- ◆入場料 一般 800円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,560人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



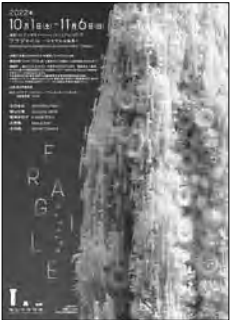
(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)



アーティスト・トーク



本田 健



稲崎栄利子



赤松音呂



北野 謙



諫山元貴



学芸員ギャラリートーク



美術館横懸垂幕

- ◆講演会
アーティスト・トーク
日時：10月1日(土) 15：00～16：30
出演：赤松音呂・諫山元貴・稲崎栄利子・北野 謙・本田 健(出品作家)
場所：1階講堂
参加者数：77人

- ◆イベント
記念コンサート「In a Landscape」(p.81)
北野 謙ワークショップ「ガラスの自画像」(p.77)

- ◆ギャラリートーク
日時：10月2日(日) 14：00～
講師：牧野裕二(当館学芸員)
場所：2階展示室
参加者数：22人

- 日時：会期中の日曜日・祝日 各14：00～(7回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
参加者数：延べ104人

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞／9月29日
月刊ギャラリー／8月号、9月号、10月号、11月号
広報高松／9月号
調査月報／10月3日
美術の窓／10月号、11月号
博物館研究／11月号

- ◆図録
『高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.11 フラジャイルーひそやかな風景ー』
執筆：赤松音呂、諫山元貴、稲崎栄利子、北野 謙、本田 健、篠原資明、牧野裕二
編集：牧野裕二(高松市美術館学芸員)
デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)
写真：木奥恵三、高橋 章、宮脇慎太郎、赤松音呂
印刷：株式会社中央印刷所
発行：高松市美術館
仕様：24.1×16.7cm、48頁

- ◆ポスター・チラシ
デザイン：鈴木モトフミ(dattgraphics)

- ◆作品リスト(p.57)

さくらももこ展

Momoko Sakura Exhibition

『ちびまる子ちゃん』『コジコジ』『もものかんづめ』―。本展覧会では、まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家といくつもの顔を持ち、新しいキャラクターやエッセイを次々と世に送り出し続けた稀代のアーティスト、さくらももこのいまなお輝き続けるその全仕事に迫りました。約300点のカラー原画や直筆原稿を一堂に展示。`描く`ことと`書く`ことを楽しみつくし多忙を極める一方、季節のうつろいや小さな日常をこよなく愛したさくらももこの世界をぜひお楽しみいただきました。

- ◆会期 2022年11月12日(土) ～ 12月25日(日) 38日間
- ◆休館日 月曜日
- ◆主催 高松市美術館
- ◆企画 集英社、朝日新聞社
- ◆協賛 図書印刷
- ◆入場料 一般1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 18,785人
- ◆担当学芸員 石田智子

“Chibi Maruko-chan”, “Coji-Coji”, “Momo No Kanzume” etc. This exhibition featured the entire works of unparalleled artist Momoko Sakura, the manga artist, essayist, songwriter, and scriptwriter who created a succession of new characters and essays that continue to glitter today. It brought together approximately 300 original color pictures and handwritten manuscripts. Be sure to enjoy the world of Momoko Sakura, who busied herself with both drawing and writing and had a deep love for the changing seasons and small pleasures of everyday life.



スペシャルトークショー



来場者1万人記念セレモニー



商店街懸垂幕

- ◆講演会
「さくらももこ展」開催記念スペシャルトークショー
日時：11月12日(土) 11：00～12：00
出演：柊あおい(まんが家)、相田聡一(「りぼん」編集部編集長)
場所：1階講堂
参加者数：70人
- ◆イベント
ミニコンサート「ちょこっとアニメ音楽♪」(p.81)

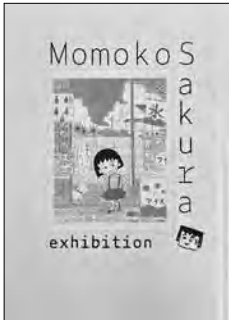
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞／11月17日、11月25日、12月7日「さくらももこ展 1万人」、12月8日「さくらももこを身近に」、12月16日
朝日新聞／12月14日
月刊ギャラリー／10月号、11月号
広報高松／11月号
博物館研究／11月号、12月号
美術の窓／11月号、12月号
リビングたかまつ／11月4日号
ナイスタウン／12月号
ままといっしょ／2022秋冬号
せとうちアート通信／vol.2
MOE／12月号
OHK／11月13日「FNN Live News イット！」
NHK高松／11月29日「ゆう6かがわ」
NHK／1月1日「日曜美術館SP ハッピーニューアーツ！」
- ◆図録
『さくらももこ展 図録』
企画・編集：株式会社 集英社
発行：株式会社 集英社、株式会社 朝日新聞社
印刷・製本：図書印刷 株式会社
構成・文章：上村祐子、株式会社 集英社
アートディレクション：祖父江 慎
ブックデザイン：根本 匠(コズフィッシュ)
DTP協力：志間かれん(コズフィッシュ)
仕様：12.7×18.8cm、408頁
- ◆ポスター・チラシ
デザイン：祖父江 慎
- ◆作品リスト(pp.58～59)



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)

高松市美術館コレクション+（プラス） 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―
Western Arts in the 20 Century Through Printmaking: The Challenge of Artists

20世紀の西洋では、さまざまな絵画表現が誕生しました。パブロ・ピカソやジョルジュ・ブラックはモチーフをあらゆる方向からとらえ、それを一つの画面に再構成するキュビズムの作品を生み出し、マックス・エルンストやサルバドール・ダリ、ジョアン・ミロらは無意識の世界に魅了されたシュルレアリスムの作家として知られています。また、マルセル・デュシャンは、アメリカに渡って既製品をオブジェとして展示するなどそれまでには考えられなかったような概念を提示し、現代アートの扉を開きました。その後アメリカではジャクソン・ポロックに代表される抽象表現主義が、ジャスパー・ジョーンズらによるネオ・ダダやアンディ・ウォーホルらのポップ・アートなどに大きな影響を及ぼしました。芸術家たちは既存の芸術作品等から多くを学びながらも、そこから独自の表現を模索していったのです。

また、20世紀は版画工房が大きな発達を遂げた時代でもあります。スタンリー・ウィリアム・ヘイターによる工房「アトリエ17」が芸術家たちの創造力を刺激したように、特に20世紀半ば以降、版画工房はただ作品を刷るだけでなく表現そのものにも関係するようになります。さらに、技術が向上したことで、芸術家たちが求める表現の実現に貢献しました。

本展覧会では高松市美術館が所蔵する版画作品を中心に、ピカソやアンリ・マティスなどの巨匠たちから現代アーティストとして知られるジュリアン・オビーやダミアン・ハーストまで、20世紀に活躍した芸術家たちによる作品約200点を紹介し、彼らが絵画表現に挑戦し続けた軌跡をたどりました。

- ◆会期 2023年2月11日(土・祝)～3月21日(火・祝) 33日間
- ◆休館日 月曜日
- ◆主催 高松市美術館
- ◆入場料 一般 800円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,439人
- ◆担当学芸員 橘 美貴

The 20th century saw the emergence of varied forms of artistic expression in the West. Pablo Picasso and Georges Braque created Cubist pieces by drawing on motifs from a multitude of directions and reorganizing them on a single canvas, while Max Ernst, Salvador Dalí, and Joan Miró became known as Surrealist artists fascinated by the realm of the unconscious. Marcel Duchamp opened the door to modern art when he moved to the USA and began presenting previously unconsidered concepts, such as exhibiting existing objects as art. The USA then saw the rise of Abstract Expressionism, as represented by Jackson Pollock, which had a major influence on the Neo-Dada movement from such artists as Jasper Johns, and on Pop Art from such artists as Andy Warhol. Artists were learning from existing works of art while also seeking their unique forms of expression.

The 20th century also saw significant development among printing studios. Printers became involved not only in the reproduction of artworks but also in their actual expression, as seen in the way that Stanley William Hayter's Atelier 17 stimulated the creativity of artists. Improvements in technology also contributed to the realization of the exact expression sought by the artists.

This exhibition, centered on prints from the Takamatsu Art Museum's collection, presented approximately 200 pieces by 20th-century artists. They ranged from masters such as Picasso and Henri Matisse to modern artists such as Julian Opie and Damien Hirst and sought to trace the overall trajectory of the period as these artists continued to challenge their forms of artistic expression.



記念講演会1



記念講演会2



学芸員ギャラリートーク



おしゃべり鑑賞会



◆講演会

記念講演会1「20世紀美術の巨星たちの軌跡をたどる」
日時：2月11日(土) 13：30～15：00
出演：寛 菜奈子(東海大学講師)
場所：1階講堂
参加者数：75人

記念講演会2「版画・エディション・マルチブルー・マルセル・デュシャンと複製技術」
日時：3月4日(土) 13：30～15：00
出演：平芳幸浩(京都工芸繊維大学教授)
場所：1階講堂
参加者数：60人

◆イベント

「銅版画ワークショップ」(p.77)
こども向けワークショップ「巨匠たちを追え！紙で作る版画作品」(p.77)
ミニコンサート「Roll on spring! ～春の訪れを待ちわびて～」(p.81)

◆ギャラリートーク

日時：2月12日(日) 14：00～
講師：橘 美貴(当館学芸員)
場所：2階展示室
参加者数：31人

日時：会期中の日曜日 各14：00～(5回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ74人

おしゃべり鑑賞会
日時：2月23日(木・祝)、3月21日(火・祝) 各14：00～
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
参加者数：延べ53人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

新美術新聞／2月21日
四国新聞／2月9日、3月9日「西洋美術の変遷たどる」、3月15日、3月17日
高松経済新聞／3月1日「高松市美術館で版画作品に焦点当てた展示」
読売新聞／3月10日「20世紀芸術家の版画200点」
朝日新聞／3月21日「巨匠たちの版画一堂に」
PEN／1月号
美術の窓／1月号、2月号
月刊ギャラリー／1月号、2月号、3月号、4月号
NHK／3月5日「日曜美術館アートシーン」

◆図録

『高松市美術館コレクション+（プラス） 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―』
編集：橘 美貴(高松市美術館学芸員)
デザイン：川添英昭(KAWAZOE DESIGN)
印刷：株式会社太陽社
発行：高松市美術館
仕様：21×14.8cm、48頁

◆ポスター・チラシ
川添英昭(KAWAZOE DESIGN)

◆作品リスト(p.60)



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)

The map shows the layout of the exhibition space across two floors. The 1st floor (1F) includes the 1st Venue (The First Venue) with artists Honda Takeshi (H1~H25), Inazaki Eriko (IN1~IN7), and Akamatsu Nelo (A1, A2). It also features the main entrance (Main Entrance), a reception area (Reception), and a children's art space (Children's Art Space). The 2nd floor (2F) includes the 2nd Venue (The Second Venue) with artists Kitano Ken (K15~K17, 22) and Akamatsu Nelo (K19~K21). It also features a reception area (Reception), a children's art space (Children's Art Space), and a children's art space (Children's Art Space). The map also shows the location of the 2nd floor (2F) and the 1st floor (1F).

第1会場
The First Venue

本田健
H1 ~ H25

稲崎栄利子
IN1 ~ IN7

赤松音呂
A1, A2

会場受付
Reception

主要出入口
Main Entrance

こども+
Children's Art Space

中2F

2F 展示コート
2F Exhibition Court

スロープ
Slope

第2会場へ
To the second venue

第2会場
The Second Venue

K15 ~ K17, 22

K19 ~ K21

北野謙
K1 ~ K14

諫山元貴
I1, I2

出口
Exit

FRAGILE
ひそやかな風景

2022年
10月1日(土)~11月6日(日)

高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリー Vol.11
フラジール ―ひそやかな風景―
Takamatsu Contemporary Art Annual vol.11 / FRAGILE

休館日：月曜日（10月10日・祝）開館：10月11日（火）休館
開館時間：9:30~17:00（金・土曜日は19:00開館／入室は開館30分前まで）
主催：高松市美術館
協力：ミダマアートギャラリー／アートギャラリーミヤウチ／目黒陶芸館／MEM

全ての美術作品には、
お手を触れないでください。

写真撮影可（一部作品除く）
※フラジール、二階使用禁止
※動画撮影不可
※赤松音呂作品（A4）は撮影不可
※諫山元貴作品は動画撮影可
（但し3分以内）

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

凡例：作者名／展覧会通し番号／作品作品番号／作品名・題名／制作年／技法材料／所蔵先

本田 健

Honda Takeshi

1 H1 山あるき—十二月(うらな星)
Walking in the Mountains December (The Redline and Nail)
2016 油絵、インク・ペンシル、水彩／18.6に紙／作家蔵

2 H2 山あるき—一月
Walking in the Mountains January 1999
デューペインティング、水彩／18.6に紙／文化庁

3 H3 山あるき—四月(休海)
Walking in the Mountains April (Wassunawa) 2018
デューペインティング、カンヴァスに紙／作家蔵

4 H4 山あるき—四月(休海の静寂)
Walking in the Mountains April (Vigilance in Sea's Silence) 2019
デューペインティング、カンヴァスに紙／作家蔵

5 H5 山あるき—四月(休海)
Walking in the Mountains April (silence sea) 2022
デューペインティング、水彩／18.6に紙／作家蔵

6 H6 山あるき—四月(休海)
Walking in the Mountains April (Moonlight sea) 2022
デューペインティング、カンヴァスに紙／作家蔵

7 H7 小豆月(晩秋)
Little New Year (Winter) 2014
油絵、カンヴァス／作家蔵

8 H8 定家荘
Asiatic Jasmine 2014
油絵、カンヴァス／作家蔵

9 H9 青い花(花図)
Blue Flowers (Flower) 2016
油絵、カンヴァス／作家蔵

10 H10 ホタル模(花図)
Spotted Bellflower (Shin Flower) 2016
油絵、カンヴァス／作家蔵

11 H11 シラン(花図)
Umi Oshichi (Shin Flower) 2016
油絵、カンヴァス／作家蔵

12 H12 どたみ
Lizard Feet 2016
油絵、カンヴァス／作家蔵

13 H13 エデルワイス(花図)
Edelweiss (Flower) 2016
油絵、カンヴァス／作家蔵

稲崎栄利子 Inazaki Eriko

26 h1 雄鳥
Courtship Behavior 2005
水彩、鉛筆、黒鉛、紅鉛筆／高松市美術館

27 h2 Afterimage II
2010
水彩、鉛筆／貝島海苔館

h3 月光泉
Night Spring 2011
水彩、鉛筆、ガラス、鉛筆／貝島海苔館

29 h4 アメタラス
Ametarasu 2014
水彩、鉛筆、鉛筆、金彩、書道筆／貝島海苔館

h5 13p
Antipode 2016
水彩、鉛筆／貝島海苔館

31 h6 現象
Cryofallization 2018
水彩、鉛筆、鉛筆／高松市美術館

32 h7 御誕生日
Birthday 2022
鉛筆、水彩、金彩／作家蔵

赤松音吉 Akamatsu Naoki

33 A1 チジホ
Chijiho 2013
木材、銅板、デジタイズ、コントローラー、PC
／異機コレクション

34 A2 メトラン
Metron 2019
ガラス、アクリル樹脂、ササカイト、石、同僚、
大谷なつ／作家蔵

35 A3 チョウズマモシ
Chousumashi 2022
ガラス、木、鉛筆、ガラス、プラスチック、デジタイズ、
コントローラー／作家蔵

36 A4 赤松音良+大堀一
Eox—1億年前のホタルの光
Eox: Firefly's Glow 100 million Years Ago 2022
枝川雅樹、ザンバ、ポリカーボネイト、
シリコン、木材、電子機器、紙、サイアノタイプ、
プラスチックなど／作家蔵

北野 謙

Kitano Ken

K1—K14 全て「光を集める」から
2022 インクジェットプリント／作家蔵

37 K1 山梨県北杜市清見 2016年冬—2017年夏
Gathering Light, Kiyomizu, Yamanashi City, Yamanashi from
winter solstice to 2016 to summer solstice in 2017

38 K2 東京都中野区 2016年冬—2017年夏
Gathering Light, Nakano-ku, Tokyo from winter solstice in
2016 to summer solstice in 2017

39 K3 大田市住之江区 2017年冬—2017年冬
Gathering Light, Sumoto-ku, Okaiki City, Okaiki from
winter solstice to winter solstice in 2017

40 K4 大田市住之江区 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, Sumoto-ku, Okaiki City, Okaiki from
winter solstice in 2017 to summer solstice in 2018

41 K5 大阪府豊中市(東) 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, Toyonaka City, Osaka, East side from
winter solstice in 2017 to summer solstice in 2018

42 K6 岡山県瀬戸内市長島(旧島) 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, Nagahama, Setouchi city, Okayama (Ile)
from winter solstice in 2017 to summer solstice in 2018

43 K7 香川県土庄町小豆島(旧島) 2017年冬—2017年夏
Gathering Light, from a Seep, Shodoshima, Tonosho Town, Kagawa,
from summer solstice to winter solstice in 2017

44 K8 香川県土庄町小豆島 1 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, from a Seep, Shodoshima, Tonosho Town,
Kagawa from winter solstice in 2017 to summer solstice in 2018

45 K9 香川県高松市勢町男木丸(瀬) 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, Fieshi, Odogaki City, Town, Takamatsu City,
Kagawa from winter solstice to 2017 to summer solstice in 2018

46 K10 香川県高松市勢町男木丸(瀬) 2017年冬—2018年夏
Gathering Light, Fieshi, Odogaki City, Town, Takamatsu City,
Kagawa from winter solstice in 2017 to summer solstice in 2018

47 K11 香川県高松市女木町女木島 2018年夏—2018年夏
Gathering Light, Megijima, Megi Town, Takamatsu City,
Kagawa from summer solstice to winter solstice in 2018

48 K12 香川県高松市女木町女木島 2018年夏—2019年夏
Gathering Light, Megijima, Megi Town, Takamatsu City, Kagawa
from winter solstice in 2018 to summer solstice in 2019

49 K13 丸亀市本島町本島 2018年冬—2019年夏
Gathering Light, Honjima, Marugame City, Kagawa from
winter solstice in 2018 to summer solstice in 2019

50 K14 石川県金沢市 No.1
2018年冬—2019年夏
Gathering Light, Kanazawa city, Ishikawa No.1, 2019
winter solstice to 2018 to summer solstice in 2019

K15 「未来の他者」から N1
Others from the Future N1 2018
特色物作式印刷(フォトリソ)／作家蔵

K16 「未来の他者」から N2
Others from the Future N2 2018
特色物作式印刷(フォトリソ)／作家蔵

K17 「未来の他者」から N3
Others from the Future N3 2018
特色物作式印刷(フォトリソ)／作家蔵

K18 「雪かきをする朝」から
母の手／家族写真
Queen Hand Mothers Right Hand / Family Portrait 2021
コンクリート、エマージェンシー／作家蔵

K19 「Apparition」から 光1
いガラス、透光現象、和紙(スタンドガラス)／作家蔵

K20 「Apparition」から 光2
Apparition Light 2 2022
古いガラス、透光現象、和紙(スタンドガラス)／作家蔵

K21 「Apparition」から 肖像1
Gathering Portrait 1 2022
古いガラス、透光現象、和紙(スタンドガラス)／作家蔵

K22 「Apparition」から 未来の他者1
Apparition Others from the Future 1 2022
ガラス、透光現象、和紙／作家蔵

諫山元貴 Isayama Genki

59 h1 untitled
2022 ワイドO (4分35秒、無音)／作家蔵

60 h2 Object#4
2018 ワイドO (ムーブ、無音)／作家蔵

61 h3 Order#9
2022 ワイドO (ムーブ、無音)／作家蔵

62 h4 Dummy (WS&C, zoom, mk, dP&C, 4K/Ultra,
redU&C, nq/Ultra, nq&C, CH3B, CH3B, P&H&H)
2019 2022 土、LEDライト、ディスプレイインターフェース／作家蔵

63 h5 Growing Ornaments
2022 観音崎、鉢、人土土、植物育成ライト、
サーモヒューター／作家蔵

64 h6 Endless Credit
2022 ワイドO (ムーブ、無音)／作家蔵

2023 2.11 [土・日] 3.21

20世紀西洋美術—画家たちの挑戦—

各作品データベース記載事項

- ・作品番号/番号/作者名(姓・名)/作品名(原語訳題)/制作年/技法/所蔵先
- ・★記号は本展覧会からなる作品のうちの一作品を展示したもので、★印記号がない作品は本展覧会からなる作品ではない。

出品作品目録

- 1 ジェームズ・アーンソール James Ensor
赤子ドラム (第1作) La Cathédrale
1886 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 2 ジェームズ・アーンソール James Ensor
1900年の肖像 Men Portraits en 1900
1888 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 3 ジェームズ・アーンソール James Ensor
悪い歌者 Les Mauvaises Chansons
1895 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 4 ジェームズ・アーンソール James Ensor
キリストのブリュッセル人 L'Entrée du Christ à Bruxelles
1888 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 5 エドワルド・ムンク Edvard Munch
死と乙女 Døden og Kvinnen
1894 ドライポイント・紙 / 複製禁止複製権
- 6 エドワルド・ムンク Edvard Munch
船の待合室の肖像 Shipwreck
1895 リトグラフ・紙 / 複製禁止複製権
- 7 バビロ・ピカソ Pablo Picasso
狂しい夜 Le Repas Froid
1904 油絵(1913年 エッチング)・紙
- 8 バビロ・ピカソ Pablo Picasso
コンボートのある静物 Nature Morte, Compotier
1909 ドライポイント・紙
- 9 バビロ・ピカソ Pablo Picasso
牛の頭頭 Nœuf Têtes
1934 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 10 バビロ・ピカソ Pablo Picasso
二人の人物 Deux Figures
1938 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 11 ジョルジュ・ブラック Georges Braque
コンポジション (静物1) Composition I
1911 エッチング・紙
- 12 ジョルジュ・ブラック Georges Braque
パル (テーブルの上の4人の顔の肖像) Pal (Portrait de four et Verrerie sur Table)
1911 エッチング・紙 / 複製禁止複製権
- 13 ジョルジュ・ブラック Georges Braque
静物Ⅱ Nature Morte II
1912 エッチング・紙
- 14 アンリ・マティス Henri Matisse
静物Ⅱ Nature Morte II
1912 エッチング・紙
- 15 アンリ・マティス Henri Matisse
静物Ⅱ Nature Morte II
1912 エッチング・紙

- 16 ケーテ・コルヴィッツ Käthe Kollwitz
結婚結婚 Die Hochzeit
1921-23 木版・紙 / 複製禁止複製権
- 17 カジミール・マレーヴィチ Kazimir Malevich
赤い部屋 Red Room
1915 リトグラフ・紙
- 18 カジミール・マレーヴィチ Kazimir Malevich
静物Ⅱ Nature Morte II
1915 リトグラフ・紙
- 19 ハウル・クレー Paul Klee
静物Ⅱ Nature Morte II
1915 リトグラフ・紙
- 20 ハウル・クレー Paul Klee
静物Ⅱ Nature Morte II
1915 リトグラフ・紙
- 21 ハウル・クレー Paul Klee
静物Ⅱ Nature Morte II
1915 リトグラフ・紙
- 22 ワシリー・カンディンスキー Wassily Kandinsky
小さな静物 Kleine Stillen
1922 リトグラフ・紙
- 23 エル・リシツキー El Lissitzky
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 24 ビスト・モンドリアン Piet Mondrian
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 25 ジョセフ・アルバーズ Josef Albers
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 26 アンディ・ウォーホル Andy Warhol
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 27 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 28 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 29 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 30 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 31 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 32 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 33 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 34 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 35 マックス・エルンスト Max Ernst
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙

- 36 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 37 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 38 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 39 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 40 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 41 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 42 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 43 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 44 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 45 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 46 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 47 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 48 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 49 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 50 サルバドール・ダリ Salvador Dalí
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙

- 51 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 52 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 53 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 54 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 55 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 56 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 57 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 58 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 59 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 60 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 61 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 62 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 63 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 64 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 65 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 66 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 67 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 68 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 69 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 70 アドルフ・ゴットリーブ Adolph Gottlieb
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙

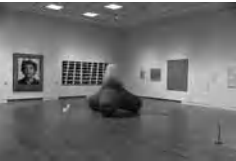
- 71 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 72 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 73 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 74 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 75 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 76 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 77 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 78 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 79 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 80 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 81 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 82 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 83 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 84 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 85 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 86 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 87 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 88 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 89 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 90 ジャスパー・ジョーンズ Jasper Johns
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙

- 91 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 92 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 93 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 94 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 95 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 96 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 97 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 98 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 99 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 100 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 101 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 102 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 103 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 104 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 105 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 106 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 107 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 108 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 109 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙
- 110 デイヴィッド・ホックニー David Hockney
静物Ⅱ Nature Morte II
1923 リトグラフ・紙

出品: 作家/画廊

第1期コレクション展

◆会期 2022年4月6日(水)～7月3日(日) 78日間
◆休館日 月曜日(5月2日〔月〕開館)
◆入場料 一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 6,965人
◆担当学芸員 牧野裕二
※令和4年度から、「常設展」の名称を「コレクション展」に変更した。



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】
そっくり！びっくり！現代アート Identical! Amazing! Modern Art

写実や錯視を駆使して私たちの視覚と思考を刺激する、23点(14作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	伊藤隆康	負の楕円	1967	17	高松次郎	No.190	1967
2	上田 薫	スプーンのジェリー B	1974	18	高松次郎	影時計	1967 頃
3	上田 薫	なま玉子 J	1978	19	高松次郎	影 No.294	1970
4	大西伸明	shoha burokku	2008	20	高松次郎	No.371	1972
5	大西伸明	Glass	2018	21	西野 達	Life's Little Worries in Berlin	2007
6	大西伸明	Stepladder	2018-2020	22	福田美蘭	陶器	1992
7	大西伸明	Plumment	2018-2020	23	森村泰昌	ボデゴン(鼻つき洋梨)	1992
8	小川信治	恋文	2006				
9	河口龍夫	無限空間におけるオブジェとイメージの相関関係又は8色の球体	1968				
10	後藤映則	toki - NUMBERS #01	2017				
11	金 昌烈	作品(水滴)	1960 頃				
12	金 昌烈	作品(水滴)	1960 頃				
13	金 昌烈	水滴J.T.83003	1981				
14	鳴 剛	団地 T&T'	1974				
15	須田悦弘	チューリップ	2002				
16	チャック・クロース	フィル II	1982				

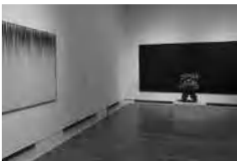
【常設展示室2】
讃岐漆芸にみるリアリズム Realism in Sanuki Lacquerware

讃岐漆芸の始まりから現代に至る38点(13作家)を紹介し、讃岐漆芸にみるリアリズム(写実)の系譜を辿る。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	堆朱紅葵饌合	1852	25	磯井如真	堆朱 雲鶴 香盒	
2	玉椿象谷	狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合(天)	1851	26	磯井如真	茄子 香盒	
3	玉椿象谷	存清 蓮文盆		27	磯井如真	木彫 佛手柑香盒	
4	藤川蘭斎	存清重箱	1900 頃	28	磯井正美	蒔醤 春蘭箱	1974
5	石井馨堂	堆朱線香筒 虫之図		29	磯井正美	蒔醤存清 備讃瀬戸 箱	1982
6	石井馨堂	紅花緑葉 香盒		30	磯井正美	蒔醤 むらさき 箱	1990
7	植田如僊	彫漆香合	1937	31	磯井正美	蒔醤 橘花創成盛器	2006
8	鎌田稼堂	堆黒地紅 香合		32	太田 僣	蒔醤 喰籠 竹林の図	1971
9	鎌田稼堂	堆黒地紅海老 香盒		33	太田 僣	藍胎 存清 短冊箱 連翹之圖	1987
10	鎌田稼堂	堆朱 虫 香合		34	太田 僣	藍胎蒔醤 茶箱 春風	1998
11	鎌田稼堂	堆黒 蜻 香盒		35	太田 僣	藍胎蒔醤箱 赤い貝殻	2002
12	鎌田稼堂	堆黄蠟螂 香盒		36	太田加津子	藍胎蒔醤 盛器 草花文	1983
13	音丸耕堂	彫漆七面鳥香盆	1928	37	山下義人	蒔醤色紙箱 波がさね	1988
14	音丸耕堂	彫漆食籠	1932	38	大谷早人	藍胎蒔醤 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
15	音丸耕堂	彫漆菓子盆	1932				
16	音丸耕堂	木彫香盒 蛙					
17	音丸耕堂	彫漆蘇鐵文食籠	1948				
18	音丸耕堂	彫漆餘事					
19	神崎軒水	堆朱 華甲 香盒	1921				
20	神崎軒水	堆朱 魚籃観音 香合	1921				
21	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937				
22	磯井如真	蒔醤香盆 密竹之圖	1943 頃				
23	磯井如真	乾漆蒔醤水指 瀬戸内海之圖	1949				
24	磯井如真	蒔醤 筆筥 銀葉アカシヤ之圖	1957				

第2期コレクション展

◆会期 2022年9月8日(木)～11月13日(日) 58日間
◆休館日 月曜日(9月19日〔月・祝〕、10月10日〔月・祝〕開館、
9月20日〔火〕、10月11日〔火〕休館)
◆入場料 一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 4,028人
◆担当学芸員 石田智子



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】
色彩との出会いー瀬戸内国際芸術祭2022参加作家を中心に Encounter with Colors

色彩をテーマに瀬戸内国際芸術祭2022の参加の11作家による22点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	李 禹煥	線より	1976	17	ジュリアン・オビー	Gary, popstar	1998
2	草間彌生	無題(金色の椅子のオブジェ)	1966	18	ジュリアン・オビー	Cityscape?	1998
3	草間彌生	無限の網 H.H	1961	19	ジュリアン・オビー	Cars?	1998
4	大竹伸朗	UBU	1994	20	ジュリアン・オビー	Landscape?	1998
5	大竹伸朗	ジャリおじさんと時間	1993	21	ジュリアン・オビー	Imagine you are walking	1998
6	大竹伸朗	ジャリおじさんと女たち	1992	22	ジュリアン・オビー	Imagine you are driving	1998
7	森万里子	エントロピー・オブ・ラヴ	1996				
8	西山美なコ	Untitled	2007				
9	南条嘉毅	信濃川	2012				
10	浅井裕介	青犬	2015				
11	浅井裕介	世界の根っこにある大事な唄	2015				
12	大岩オスカル	虹	2003				
13	金氏徹平	Ghost in the Liquid Room #4	2010				
14	金氏徹平	Day Tripper (Sculpture of Photograph of paint #4)	2010				
15	近藤亜樹	おしるし	2020				
16	近藤亜樹	きらきらひかるひと	2020				

【常設展示室2】
讃岐漆芸にみる四季 Four Seasons in Sanuki Lacquerware

季節を感じさせるモチーフを扱った24点(11作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	明石朴景	海芋図棚	1962
2	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942
3	音丸耕堂	堆朱南瓜文色紙箱	1949
4	太田 僣	藍胎蒔醤 短冊箱 夏ぐみ	1996
5	山下義人	蒔醤色紙箱 波がさね	1988
6	大谷早人	藍胎蒔醤 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
7	北岡省三	彫漆短冊箱 碧麗	1995
8	音丸 淳	彫漆桔梗文水指	1986
9	磯井如真	堆黒香盒 秋趣競味	1940
10	音丸耕堂	彫漆宵待草 水指	1990
11	高橋静道	初秋堆朱色紙宮	1946
12	大谷早人	藍胎蒔醤 文箱	1989
13	伊賀寛泰	彩漆蒔醤飾箱 秋彩	1990
14	山下義人	蒔醤箱 水烟る	1987
15	磯井正美	蒔醤 やぶこうじ 方盆	1999
16	磯井正美	蒔醤 梅花冬蝶 水指	2004
17	太田 僣	藍胎蒔醤 茶箱 浅春	2004
18	磯井如真	蒔醤 香盆 洋蘭之圖	1957
19	磯井如真	堆黒香盒 山野競味	1942
20	磯井正美	蒔醤 翁草 菓子器	1995
21	磯井正美	蒔醤 櫻花月彩 盆	2000
22	太田 僣	藍胎蒔醤 茶箱 春彩	1989
23	山下義人	蒔醤箱 山笑う	2011
24	北岡省三	堆漆小箱 緑風	1995

第3期コレクション展

- ◆会期 2022年11月16日(水)～12月25日(日) 35日間
※当初の会期：11月9日(水)～12月25日(日)
- ◆休館日 月曜日
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 3,838人
- ◆担当学芸員 橋 美貴



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

もじのちから The Power of Letters.

作品中に文字が描かれている28点(14作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	荒川修作	THE CALL OF CONTINUITY	1976-77
2	池田満寿夫	タエコの朝食	1963
3	池田満寿夫	サイズはサイズ	1963
4	池田満寿夫	ロマンチックな風景	1965
5	池田満寿夫	化粧する女	1964
6	イチハラヒロコ	恋する美術だ。	2006
7	イチハラヒロコ	愛はまだか。	2006
8	イチハラヒロコ	あのときははやすぎて、いまでは おそすぎる。	2006
9	イチハラヒロコ	いつも、気にしていた。ずっと、 探していた。	2006
10	河原 温	NOV. 18, 1987	1987
11	田窪恭治	FIRE D OBJECT	1976
12	照沼敦朗	ミエテルカー	2016
13	福田美蘭	秋景山水図	2016
14	福田美蘭	冬景山水図	2016
15	福田美蘭	夏景山水図	2016
16	福田美蘭	春景山水図	2016

【常設展示室2】

讃岐漆芸ってなんだ？～技法と風景～ What is -Sanuki Lacquerware-

讃岐漆芸の技法をご紹介するとともに、讃岐の風景をとらえた作品25点(14作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	(ビルマ製)	ビルマ蒔醤懸子付盒子	
2	(タイ製)	木無満飯簞	
3	石井馨堂	紅花緑葉香盆 水草虫之図	1928
4	石原雅員	彫漆小簞笥 花苑	2004
5	磯井如真	乾漆蒔醤水指 瀬戸内海之図	1949
6	磯井如真	蒔醤干菓子盆 遊鳥之圖	1963
7	磯井正美	蒔醤 清明 盛器	1988
8	磯井正美	蒔醤 紫 水指	1990
9	磯井正美	蒔醤 やぶこうじ 方盆	1999
10	磯井正美	蒔醤 梅花吸蜜 箱	2003
11	磯井正美	蒔醤存清 備讃瀬戸 箱	1982
12	太田 僣	藍胎蒔醤 瀬戸内の棚	1978
13	太田 僣	藍胎蒔醤波の棚	1979
14	太田 僣	藍胎蒔醤 食籠 朱と白	1990
15	大西忠夫	気(讃岐の不二)	1986
16	大西忠夫	気(明けの讃岐路)	1987

- ◆ギャラリートーク
日時：11月19日(土) 14：00～
講師：橋 美貴
参加者数：7人

No.	作家名	作品名	制作年
17	村上 隆	卍富士	2001
18	村上 隆	72727	2001
19	村上 隆	となりのケロタン	2001
20	山口 晃	中西夏之氏公開制作乃圖	2003
21	横尾忠則	渋沢さんちの家の方へ	1965
22	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ	1968
23	横尾忠則	毛皮のマリー	1968
24	横尾忠則	うまい作り話	1982
25	ジョルジュ・ブラック	バル(テーブルの上のバスの瓶とコップ)	1911
26	ルネ・マグリット	対蹠地の黎明	1966
27	ロイ・リキテンシュタイン	クラック	1964
28	ロバート・インディアナ	A GARDEN OF LOVE (チューリップ)	1982

No.	作家名	作品名	制作年
17	音丸耕堂	堆黒讃岐富士香合	1929
18	玉椿雪堂	蒔醤文庫	1897頃
19	玉椿象谷	印篋	
20	玉椿象谷	堆朱紅葵罎盒	1852
21	藤川黒齊	存清角膳 花鳥図	
22	藤川黒齊	存清盆	
23	藤田正堂	彫漆蒔醤流文盛器	2002
24	山下楊哉	彫漆色紙篋	
25	山下楊哉	椿 彫漆香盆	

第4期コレクション展

- ◆会期 2023年1月5日(木)～3月26日(日) 68日間
常設展示室1では、3月11日(土)から26日(日)は
「第40回日本伝統漆芸展」を開催
- ◆休館日 月曜日(1月9日(月・祝)開館、1月10日(火)休館)
3月9日(木)、10日(金)は展示替えのため休室。
- ◆入場者料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 3,724人(第40回日本伝統漆芸展入場者数を含む)
- ◆担当学芸員 石田智子



常設展示室1



常設展示室2

- ◆ギャラリートーク
日時：1月21日(土) 14：00～
講師：石田智子
参加者数：11人
- ◆関連イベント等
みる誕生会(p.77)



(チラシ／伝統漆芸展)

【常設展示室1】

素材とあそぶー令和3年度新収蔵作品を中心にー Using Materials in Various Ways to Create Artworks

令和3年度(2021年度)新収蔵作品を中心に、様々な素材を用いた作品19点(16作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	草間彌生	Untitled	1961	11	野見山暁治	虚空	1962
2	日比野克彦	TYPEWRITER	1982	12	野見山暁治	今日という今日	2002
3	八木良太	CD (black-01、white-08、blue-01)	2012	13	白髪一雄	天威星雙鞭呼延灼	1964
4	八木一夫	抗走者	1955	14	ユアサエボシ	GHQ PORTRAITS	2017
5	八木一夫	素因の中の素因	1969	15	ユアサエボシ	軍装の自画像	2022
6	稲崎栄利子	雄鳥	2005	16	山下菊二	双頭	1973
7	谷澤紗和子／藤野阿織	無名	2015	17	松井えり菜	私クロスオーバー！	2019
8	鴻池朋子	皮絵 オオカミ	2015	18	松井えり菜	エブリデー審判デイズ	2020
9	松尾直樹	ねずみの冒険	1985	19	加藤 翼	Underground Orchestra	2017
10	藤 浩志	Anger Dog 980B18	2018				

第40回日本伝統漆芸展

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第40回となる本展は、東京・輪島・高松・広島・会津若松の5会場を巡回し、受賞作品9作品を含む入選作品全94点を展示した。

- ◆会期 2022年3月11日(土)～3月26日(日)
- ◆主催 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会
- ◆後援 文化庁、香川県、香川県教育委員会、朝日新聞社、公益財団法人 岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆入場者数 1,366人
- ◆列品解説
日時：3月11日(土) 13：00～、3月18日(土) 14：30～
講師：(11日)石原雅員(出品作家)、(18日)藪内江美(出品作家)

【常設展示室2】

讃岐漆芸の美ーアムステルダム国立美術館漆芸展出品作品を中心にー The Beauty of Sanuki Lacquerware

アムステルダム国立美術館で開催された「Breaking out of Tradition (伝統からの脱却)」をテーマにした「Modern Japanese Lacquer (近代日本の漆芸)」展に出品された6点を含む31点(11作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	狹貫彫堆黒 松ヶ浦香合(松・は・天)	1851	16	磯井如真	供養之図 衝立	1933
2	玉椿象谷	堆朱 御筆薬篋	1851	17	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937
3	玉椿象谷	印篋		18	磯井如真	鶴 香盒	1939
4	磯井如真	宝玉簞笥	1947	19	磯井如真	茄子 香盒	
5	石井馨堂	紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒	1928	20	磯井如真	堆朱 香盒 百合	1942
6	石井馨堂	堆朱香盒 草蟹之図	1927	21	磯井如真	堆朱 柿香盒	1941
7	石井馨堂	堆黒香盒		22	磯井如真	彫漆蒔醤 色紙篋	1946
8	石井馨堂	堆朱香盆	1924	23	音丸耕堂	堆朱板文庫 昆蟲之圖	1928
9	石井馨堂	紅花緑葉香盆 水草虫之図	1928	24	音丸耕堂	彫漆椿文手箱	1943
10	石井馨堂	狹貫彫 堆黒 香卓	1931	25	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950頃
11	高橋皖山	荷葉紅魚 野菜類之圖 堆朱肉池		26	音丸耕堂	彫漆銀蘭文 茶入	1952頃
12	高橋皖山	風月三毘 福祿壽 圖 紅華緑葉香合	1919	27	明石朴景	蒔醤紅梅紋篋	1948
13	高橋皖山	福祿壽 牡丹華之圖 堆黒香盒		28	磯井正美	蒔醤 梅花吸蜜 箱	2003
14	高橋皖山	手向山圖 堆黒香合		29	太田 僣	藍胎箱 波文	1989
15	高橋皖山	采果並福寿之図 堆朱香炉盆	1920	30	山下義人	蒔醤箱 水烟る	1987
				31	大谷早人	藍胎蒔醤箱 網代文	1997

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	7	—	1	1	—	9
寄贈	18	—	—	24	—	42
計	25	—	1	25	—	51

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	661	24	241	396	12	1,334
寄贈	170	22	32	202	4	430
計	831	46	273	598	16	1,764

令和4(2022)年度新収蔵作品一覧

赤松音呂
《チョウズマキ》
2016年
ガラス、水、磁石、プラスチック、デバイス、コントローラー
サイズ可変、3点
購入



諫山元貴
《Objects # 14、#15》
2023年
ビデオ(ループ、無音) ed.1/5
サイズ可変
購入



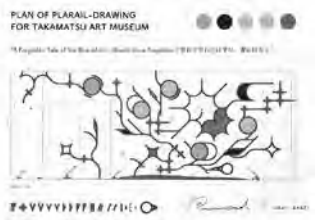
鴻池朋子
《風が語った昔話》
2015年
ミクストメディア
238×220×3cm
購入



鴻池朋子
《瀬戸内国際芸術祭2022大島における「逃走階段」に関する計画資料》
2022年
紙資料、計画模型、写真、ミクストメディア ほか
サイズ可変
購入



中野裕介／バラモデル
《忘れて忘れはずの、青のはなし》 ほか1点
2021年 ほか
インクジェットプリント・紙 ほか
72.8×103cm ほか
購入



潘 逸舟
《タイム・アンド・スペース/イサム・ノグチ、1989年作》
2022年
インクジェットプリント・紙 35点組 ed.1/3
(9点)各10×7.5cm (26点)各7.5×10cm
購入



平川恒太
《Trinitite —サイパン島同胞臣節を全うす》
2013年
アクリル、油彩・カンヴァス
181×362cm
購入



本田 健
《鹿の骨 オニユリ》
2022年
油彩・カンヴァス
53.2×53.2cm
購入



辻 孝史
《乾漆存清八角箱「三兄妹」》
2020年
漆
32×11cm
購入



石原友明
《約束Ⅱ》
1984年
写真、油彩・変形カンヴァス
228.0×53.5×20.0cm
寄贈



中野裕介／バラモデル
《俊徳丸の模型(よろぼう少年)》 ほか4点
2014年 ほか
石粉粘土、クリスタルガラス、ビーズ、金属、木、その他
ほか
19.5×13×13cm ほか
寄贈



松井えり菜
《私クロスオーバー！》
2019年
油彩・カンヴァス
112×145.5cm
寄贈



松井えり菜
《le jardin secret》
2022年
リトグラフ・紙
65×53cm
寄贈



(1) 新収蔵作品(つづき)

大須賀 選
《金と黒A》
1957年頃
鉄、金箔、アルミニウム
7.5×54×58.5cm
寄贈



大須賀 選
《まんだらとうろう》
1964年
銅、蛍光灯
148.4×111.5×11cm
寄贈



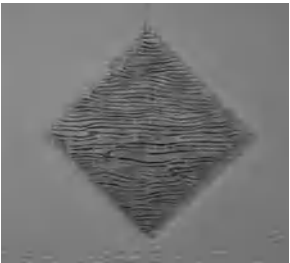
大須賀 選
《壁のかざり(ブラケット)》
1969年
銅、蛍光灯
79.5×79.5×10cm
寄贈



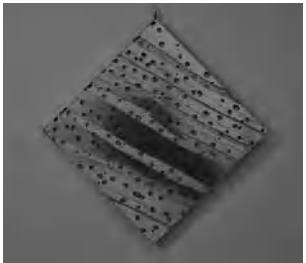
大須賀 選
《みちしるべ》
1969年
鉄
32×33×60cm
寄贈



大須賀 選
《流れ・揺れ集合する線》
1972年
アルミニウム
140×140cm
寄贈



大須賀 選
《天空に穴を穿つ》
1973年
アルミニウム
136×136×4cm
寄贈



大須賀 選
《伸びる形》
1977年
銅
25×39×37cm
寄贈



大須賀 選
《斜線文接合角壺》
1981年
銀、赤銅、銅
15.5×15.5×18cm
寄贈



大須賀 選
《羊歯文鉄飾皿》
1982年
鉄
44×3cm
寄贈



大須賀 選
《水禽盤》
1986年
銅
38×11.5×13cm
寄贈



大須賀 選
《荒磯文色紙宮》
1995年
銀、チーク材
33×29×8cm
寄贈



大須賀 選
《蜻蛉文黒銅香炉》
1997年
黒味銅
9×13cm
寄贈



大須賀 選
《星河文黒銅色紙宮》
1983年
黒味銅、チーク材
29.3×33.4×8.2cm
寄贈



大須賀 選
《草花文南鐐鉢》
1992年
銀、漆
21×10cm
寄贈



大須賀 選
《斜線文緑瓶》
1996年
銅
14×29cm
寄贈



大須賀 選
《蜻蛉文黒銅小宮》
1999年
黒味銅
12.3×14.2×12.7cm
寄贈



(1) 新収蔵作品

大須賀 選
《草花文黒銅匱》
2000 年
赤銅
15.7 × 30.2 × 8.5cm
寄贈



大須賀 選
《瀑布文鉄花器》
2001 年
鉄、銅
14.7 × 29.7cm
寄贈



大須賀 選
《條線文銅花器》
2006 年
銅
12.6 × 22 × 31.7cm
寄贈



北原千鹿
《千鹿絵付茶盃》
制作年不詳
陶
13.5 × 8.7cm
寄贈



大須賀 選
《瑞雲文鉄香炉》
2000 年
鉄、赤銅
13.8 × 12.8cm
寄贈



大須賀 選
《赤不二色金薫炉》
2005 年
銀
18.8 × 18.8 × 23.3cm
寄贈



大須賀 喬
《鈴虫文鉄小篋》
1965 年
鉄、胡桃材
13.2 × 17.7 × 13.5cm
寄贈



池内荷芳
《彫漆 葡萄文飾盆》
1952 年
漆
38 × 4cm
寄贈



川島 猛
《1965-09》
1965 年
アクリル・カンヴァス
40.5 × 40.5cm
寄贈



川島 猛
《Jan. 31, 95》
1995 年
ミクストメディア
76 × 56.5cm
寄贈



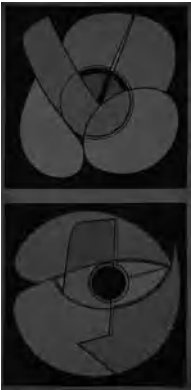
川島 猛
《June, 2000》
2000 年
マーカー・紙
50.5 × 66cm
寄贈



川島 猛
《DREAM LAND Janu 13, 1990》
1990 年
アクリル、木材・紙
74 × 61.5cm
寄贈



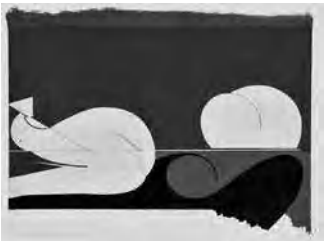
川島 猛
《1966-N.Y.5》
1966 年
アクリル・カンヴァス
93 × 46cm
寄贈



川島 猛
《blue and white No.2》
1987 年
リトグラフ・紙
76 × 56cm
寄贈



川島 猛
《Dreamland Angel》
1988-1991 年
リトグラフ・紙
56.5 × 76.3cm
寄贈



川島 猛
《J.T.H. No.1》
1976 年
シルクスクリーン・紙
55 × 74cm
寄贈



(1) 新収蔵作品

川島 猛

《Angel Bird》

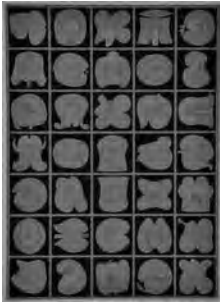
1972年
シルクスクリーン・紙
86×75cm
寄贈



川島 猛

《Red and Black A-B》

1968年
シルクスクリーン・紙
76×56.3cm
寄贈



猪熊弦一郎

《ルロット(ブールバル サンジャック)》

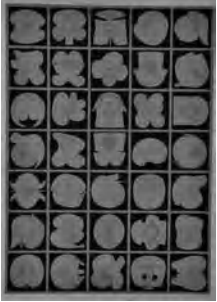
1939年
リトグラフ、パステル(手彩色)・紙
32.5×50.5cm
寄贈



川島 猛

《Red and Black A-C》

1968年
シルクスクリーン・紙
76×56cm
寄贈



川島 猛

《Red and Black A-A》

1968年
シルクスクリーン・紙
76×56cm
寄贈



猪熊弦一郎

《カーニユ南仏》

1939年
リトグラフ、パステル(手彩色)・紙
31.5×49.5cm
寄贈



(2) 寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1	鴻池朋子	絵本『焚書 World of Wonder』原画	2011	アクリル、鉛筆、色鉛筆・紙	各41.8×50.9cm 20点
2	本田 健	山あるき 一月	1999	チャコールペンシル・木製パネルに紙	200×200cm
3	太田 儋	藍胎寄木蒔罫盛器 熱帯魚	1984頃	漆	40.2×55×5.2cm
4	安本一夫	蒔銀匣 萌	不詳	漆	45×37×20cm

（3） 貸出作品

展覧会名／貸出先／貸出期間／作家・作品名		
兵庫県立美術館 開館20周年 関西の80年代	兵庫県立美術館	2022/6/18 ～ 2022/8/21
石原友明《約束Ⅰ》 石原友明《約束Ⅱ》 森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》 松尾直樹《ねずみの冒険》		
Modern Japanese Laquer(近代日本の漆芸)	アムステルダム国立美術館	2022/7/1 ～ 2022/9/4
石井馨堂《狭貫彫 堆黒 香卓》 高橋皖山《荷葉紅魚 野菜類之圖 堆朱肉池》 磯井如真《堆朱 柿香盒》 音丸耕堂《堆朱板文庫 昆蟲之圖》 音丸耕堂《彫漆椿文手箱》 音丸耕堂《彫漆八仙花 香合》		
展覧会 岡本太郎	大阪中之島美術館 東京都美術館 愛知県美術館	2022/07/23 ～ 2022/10/2 2022/10/18 ～ 2022/12/28 2023/1/14 ～ 2023/3/14
岡本太郎《生成》		
野口哲哉 this is not a samurai	ポーラ ミュージアム アネックス	2022/7/29 ～ 2022/9/11
野口哲哉《Cat-walk 2020》 野口哲哉《21st Century Light Series ～ The Tap ～》 野口哲哉《WOODEN HORSE》		
日本の中のマネー 出会い、120年のイメージー	練馬区立美術館	2022/9/4 ～ 2022/11/3
福田美蘭《帽子を被った男性から見た草上の二人》		
開館15周年 生誕120年 猪熊弦一郎展	横須賀美術館	2022/9/17 ～ 2022/11/6
猪熊弦一郎《緑陰》 猪熊弦一郎《CITY PLANNING》		
流 麻二果 その光に色をみる Spectrum of Vivid Moments	高梁市成羽美術館	2022/9/17 ～ 2022/12/18
藤川栄子《黄色の裸婦》 山下紅畝《けし》		
「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか？」 奈良美智展 弘前2002-2006 ドキュメント展	弘前れんが倉庫美術館	2022/9/17 ～ 2023/3/21
奈良美智《Milky Lake》 奈良美智《Time of My Life 2001》		

大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 すべての未知の世界へー GUTAI 分化と統合	大阪中之島美術館、国立国際美術館	2022/10/22 ～ 2023/1/9
金山 明《Mar. 5》、《Mar. 6》、《Mar. 7》 白髪富士子《作品No.1》 田中敦子《電気服》 山崎つる子《作品》 吉田稔郎《SPRAY》 ヨシダミノル《JUST CURVE '67 Cosmoplastic》		
黒川弘毅一彫刻／触覚の理路	武蔵野美術大学 美術館・図書館	2022/10/24 ～ 2022/11/20
黒川弘毅《Golem No.50》～《Golem No.56》		
合田佐和子展 帰る途もつもりもない	高知県立美術館 三鷹市美術ギャラリー	2022/11/3 ～ 2023/1/15 2023/1/28 ～ 2023/3/26
合田佐和子《燃える街》 合田佐和子《くわえタバコのデートリッヒ》		
超絶技巧、未来へ！ 一明治工芸とそのDNA	岐阜県現代陶芸美術館 長野県立美術館 あべのハルカス美術館 三井記念美術館 富山県水墨美術館	2023/2/11 ～ 2023/4/9 2023/4/22 ～ 2023/6/18 2023/7/1 ～ 2023/9/3 2023/9/12 ～ 2023/11/26 2023/12/8 ～ 2024/2/4
稲崎栄利子《現像》		

（4） 図書

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	99	34	0	5	138
寄贈	43	127	60	240	470
計	142	161	60	245	608

(1) 講演会

- ◆クロストーク1「絵の波打ち際から」
※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連(p.48)
- ◆クロストーク2「糞土思想からみる”驚き”」
※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連(p.48)
- ◆アーティスト・トーク
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.11 フラジャイル／ひそやかな風景」関連(p.50)
- ◆開催記念スペシャルトークショー
※特別展「さくらももこ展」関連(p.52)
- ◆記念講演会1「20世紀美術の巨星たちの軌跡をたどる」
※特別展「高松市美術館コレクション+ 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―」関連(p.54)
- ◆記念講演会2「版画・エディション・マルチプル―マルセル・デュシャンと複製技術―」
※特別展「高松市美術館コレクション+ 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―」関連(p.54)

まぶさび教室

篠原資明(当館アートアドバイザー)を講師とした講座「まぶさび教室」を開講した。

時間：各11:00～12:00
対象：高校生以上
場所：1階講堂
受講料：無料

シーズン12「アートな雲たち」	開催月日	参加者数
一休さんと寅さん	5月7日(土)	25
西洋美術の雲	6月4日(土)	31
日本美術の雲	7月2日(土)	32
現代アートの雲	9月3日(日)	32
おーい！雲よ	10月8日(土)	34

計154人



シーズン12

シーズン13「ヤワコすぎてヤバすぎて」	開催月日	参加者数
空海ヤワコロジ	11月5日(土)	38
サヴィニオ	12月3日(土)	31
タルホロジ	1月7日(土)	32
衣服のヤワコロジ	2月4日(土)	32
太陽の塔と宇宙風呂敷	3月4日(土)	52

計185人



シーズン13

(2) 鑑賞・ワークショップ

- ◆Let's おおPLAY!
日用品やオモチャなど身の回りにあるもので「かお」を作って遊んだ。
※特別展「tupera tupera のかおてん。」関連

日時：会期中の日・祝 各14:00～16:00
講師：当館学芸員
参加費：無料
対象：どなたでも
場所：中2階ロビー
参加者数：延べ745人
- ◆みる誕生会
手で見て語る鑑賞会を行った。
※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連

日時：7月17日(日)、8月21日(日)、8月24日(水) 各10:30～12:30
講師：鴻池朋子(出品作家)・当館学芸員
参加費：無料(要観覧券)
対象：見えない・見えにくい人、その他
場所：1階講堂ほか
参加者数：延べ20人
- ◆こども鑑賞プログラム
学芸員と一緒に展覧会を鑑賞した。
※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連

日時：7月30日(土)、8月20日(土) 各10:30～11:30
講師：当館学芸員
参加費：無料(保護者は要観覧券)
対象：小学生以下(小学2年生以下は保護者同伴)
場所：2階展示室ほか
参加者数：延べ15人
- ◆北野 謙ワークショップ「ガラスの自画像」
ガラスに写真撮影した自画像を焼き付けた。1日目に撮影等、2日目に焼き付け等を行った。
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.11 フラジャイル／ひそやかな風景」関連

日時：10月1日(土)、10月2日(日) 各9:30～12:30
講師：北野 謙(出品作家)
参加費：3,500円(材料費含む)
対象：小学3年生以上
場所：3階講座室
参加者数：延べ10人
- ◆「銅版画ワークショップ」
ハガキ大の作品をニードルやプレス機などを使ってドライポイントで制作した。
※特別展「高松市美術館コレクション+(プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―」関連

日時：2月18日(土) ①9:00～12:00 ②14:00～17:00
講師：下村 宏(版画家)
参加費：1,500円(材料費含む)
対象：中学生～大人
場所：3階講座室
参加者数：延べ18人
- ◆こども向けワークショップ「巨匠たちを追え！紙で作る版画作品」
展覧会場で学芸員と一緒にピカソやマティスなどの作品を鑑賞した後、紙版で作品を制作した。
※特別展「高松市美術館コレクション+(プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術―画家たちの挑戦―」関連

日時：2月25日(土) ①9:00～12:00 ②14:00～17:00
講師：下村 宏(版画家)
参加費：800円(材料費含む)
対象：小学生
場所：3階講座室
参加者数：延べ16人
- ◆みる誕生会
目が見えない人・見えにくい人、見える人とでペアになり、目で見ただけでなく、作品に手で触れた
り音を聞いたり意見交換しながら作品を鑑賞した。
※第4期コレクション展関連

日時：3月5日(日) 10:00～12:00
講師：当館学芸員
参加費：無料(要観覧券)
対象：見えない・見えにくい人、その他
場所：1階展示室
参加者数：10人



(2) 鑑賞・ワークショップ(つづき)

◆フィンランド伝統の装飾品『ヒンメリ』をつくろう
作家自ら育てた無農薬のライ麦わらを使ってフィンランド伝統の装飾品『ヒンメリ』をつくった。
日時：3月12日(日) ①10：00～12：00 ②14：00～16：00
講師：山本睦子(ヒンメリ作家)
参加費：1,500円(材料費含む)
対象：中学生以上
参加者数：延べ38人



◆(芸術士®といっしょにクリスマスオーナメント&オブジェをつくろう！！)
クリスマスの世界をつくって光を灯そう
自然物を使ってクリスマスの世界をつくり、LEDキャンドルを灯した。
日時：12月17日(土)14：00～16：00
講師：佐々木 あずさ(芸術士®)
参加費：800円
対象：小学4～6年生
参加者数：20人



子どものアトリエ

場所：記載のないものは3階講座室

◆やったぁ！バッグ
ステンシルの方法を学び、嬉しい、たのしいなど、感動をイメージした人型をバッグにデザインした。
日時：4月24日(日)9：30～11：30
講師：たのかずあき・あいこ(Romp art tree主宰)
参加費：1,000円
対象：年中～小学生(小学2年生以下は保護者同伴)
参加者数：20人



◆探検 冒険 虫めがね
生き物をテーマに、凸レンズのまわりを色画用紙で飾って、ユニークな虫めがねを作った。
日時：4月30日(土)10：00～11：30
講師：たのかずあき・あいこ(Romp art tree主宰)
参加費：1,000円
対象：年少～小学生(小学2年生以下は保護者同伴)
参加者数：20人



◆じょうずに描かないための道具を作ろう
サインペン等の筆記具にストローやヒモを取りつけて、扱いづらい筆記具を考案し、制作した。
日時：7月23日(土)14：00～16：00
講師：千葉尚実(美術家)
参加費：500円
対象：小学1年生～6年生(小学2年生以下は保護者同伴)
参加者数：9人



◆つくる昆虫標本
絵の具をつけた紙を半分に折り、絵の具を転写させる絵画技法「デカルコマニー」を使って昆虫を作った。
また、作った昆虫を箱に並べて、標本を作った。
日時：7月24日(日)9：30～11：30
講師：上野あづさ(美術家・絵のきょうしつ主宰)
参加費：500円
対象：3歳～小学3年生(小学2年生以下は保護者同伴)
参加者数：18人



◆(芸術士®といっしょにクリスマスオーナメント&オブジェをつくろう！！)
たまごさんのオーナメント
卵の殻にデコレーションして、ツリーに飾るオーナメントをつくった。
日時：12月17日(土)10：00～12：00
講師：長野 由美(芸術士®)
参加費：800円
対象：小学4～6年生
参加者数：7人



こども+ (プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+ (こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント
「ふらっとアート」
日時：毎週木・土曜日 12：00～16：00

	開催期間	参加者数
1.ひとふでがお／どんなかお調査／ こんなかお、あるあるアルファベット／まるごとまるがお	4月16日(土)～5月29日(日)	2,264
2.ウンチをつくろう！	8月4日(木)・8月5日(金)13：00～16：00、 8月6日(土)10：00～16：00	249
3.ハロウィンハンド/パペット	10月4日(火)～10月30日(日)	460
4.マンガの記号“漫符”を使ってみよう！	11月12日(土)～12月25日(日)	718
5.カンタン！紙版画体験！	2月11日(土)～3月21日(火・祝)	67
6.その他		75
		計3,833人



2

4

(3) パフォーマンス・その他

◆tupera tuperaによる公開制作

完成作品は高松丸亀町商店街にある高松市美術館ランチギャラリーに展示された。
※特別展「tupera tupera のかおてん。」関連

日時：4月16日(土) 13：00～（3時間程度）
出演：tupera tupera
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：250人



◆tupera tuperaによる絵本ライブ

絵本の読み聞かせや制作秘話を披露。終了後にはサイン会も実施。
※特別展「tupera tupera のかおてん。」関連

日時：5月3日(火・祝) 13：30～14：30
出演：tupera tupera
対象：どなたでも
場所：1階講堂
参加費：無料
参加者数：98人



◆ミニコンサート「みて、きいて、たのしもうPART3」

※特別展「tupera tupera のかおてん。」関連

日時：5月14日(土) 13：30～14：00
出演：みゅーじっくすべーす・コモド
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：54人



◆依田洋一朗展「I Am A Cat」

依田の新作である夏目漱石『吾輩は猫である』に登場する猫や人物を題材にした絵画連作を展示。
※依田洋一朗「Bromaide Paintings」(ランチギャラリー) (p.54) と同時開催

会期：8月2日(火)～9月11日(日)
出品：依田洋一朗
場所：1階図書コーナー
観覧料：無料



◆ミニコンサート「動物たちの音楽会 2022」

※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連

日時：8月6日(土) 13：30～14：00
協力：香川大学
監修：青山夕夏
場所：1階講堂
参加費：無料
参加者数：52人



◆筆談ダンス Dance in writing

声を出さず目と手と体を使って意思疎通し、文字や絵を壁に描き筆談で対話した。

日時：8月7日(日) 13：30～15：00
出演：木下知威(歴史学者)、鴻池朋子(出品作家)
場所：2階展示室前
聴講料：無料
参加者数：23人



◆高松明日香展「ついに青くなる地点 The Scene to become Blue at Last」

詩人・暁方ミセイ(1988年～)が2014年に高松の作品に寄せて書いた詩と高松の絵画作品が組み合わせられ展示された。
※高松明日香「遠雷の音 The Rumbling of Distant Thunder」(ランチギャラリー) (p.54) と同時開催

会期：9月13日(火)～2023年1月9日(月・祝)
出品：高松明日香
場所：1階図書コーナー
観覧料：無料



◆記念コンサート「In A Landscape」

ケージ「ある風景の中で」、ベルト「鏡の中の鏡」等を演奏。
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアル vol.11 フラジャイル／ひそやかな風景」関連

日時：10月1日(土) 13：30～14：30
出演：波多翼(ピアノ)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：89人



◆めいろにちょうせん！

ハロウィンにちなんだ装飾を施した段ボール製迷路を設置した。

会期：10月4日(火)～10月30日(日)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料

◆ミニコンサート「ちょこっとアニメ音楽♪」

※特別展「さくらももこ展」関連

日時：11月26日(土) 13：30～14：00
出演：平井雄大(トランペット)、道久明子・大山まゆみ(ピアノ)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：68人



◆金沢健一作品展示

金沢健一《音のかけら ―8つの音の為のドローイング》を展示し、来館者に叩いて音を楽しんでもらった。

会期：1月4日(水)～3月31日(金)
場所：1階エントランスホール
観覧料：無料



◆ミニコンサート「Roll on spring! ～春の訪れを待ちわびて～」

※特別展「高松市美術館コレクション+ (プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術 画家たちの挑戦」関連

日時：3月18日(土) 13：30～14：00
出演：木太美和子(フルート)、西浦弘美(ヴァイオリン)、大山まゆみ(ピアノ)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：113人



エントランス活用事業(公募)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を初めて募集した。

	開催日	主催団体	参加者数
1. 音楽のミニアチュール 久石譲の描く世界	1月22日(日)	高松交響楽団(TSO)	330
2. 印象派の絵画と楽しむ音楽 MUSEUM CONCERT	1月22日(日)	MGKアーティスト企画	110
3. 栗っ子コーラスコンサート	2月4日(土)	高松市立栗林小学校合唱部	246
4. 美術館でフルートオーケストラと心に響くひとときを	2月5日(日)	クリシュナフルートアンサンブル	219
計905人			

(3) パフォーマンス・その他(つづき)

美術館の日	
平成21年度より美術館の開館記念日(1988年8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会の観覧料を無料にしたほか、「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。	
8月6日(土)	参加者数
特別展	894
鑑賞カード	140
ふらっとアート	190
ミニコンサート	52
市民ギャラリー展示	163
計1,439人	



(4) 学校との連携

◆**学校と美術館のためのプログラム**
展覧会案内・美術館の活用について意見交換。
※特別展「みる誕生 鴻池朋子展」関連
日時：8月27日(土) 14：00～16：00
参加者：教員等
場所：1階講堂、2階展示室ほか
参加者数：5人



◆**「108個の個性それぞれ謎の生き物」展**
当館の所蔵作品と関連した作品を制作し、それらをランチギャラリーにて展示。
期間：1月11日(水)～2月23日(木・祝)
参加者：高松市立勝賀中学校美術部
場所：ランチギャラリー
参加者数：35人



◆**「地球の主」展**
当館の所蔵作品と関連した作品を制作し、それらをランチギャラリーにて展示。
期間：2月26日(日)～4月9日(日)
参加者：小豆島町立小豆島中学校芸術部
場所：ランチギャラリー
参加者数：16人



◆**ヒンメリづくり、展示**
フィンランドの伝統装飾品「ヒンメリ」を制作し、ランチギャラリーに展示した。
※次年度特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連
日時：3月13日(月)、14日(火)
講師：山本睦子(ヒンメリ作家)
参加者：香川県立高松工芸高等学校デザイン科1、2年生
場所：香川県立高松工芸高等学校 (展示：ランチギャラリー 2023/4/15～6/11)
参加者数：延べ60人



◆**中学生職場体験学習**
期間：9月～10月
参加者数：延べ7人(高松市立太田中学校4名、香川県立北中学校3名)

美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松ー美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校49校、参加者数1,144人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
屋島小学校	6月3日(金)	50
牟礼北小学校	6月10日(金)	70
中央小学校	6月14日(火)	72
中央小学校	6月15日(水)	81
川島小学校	6月24日(金)	90
三溪小学校	6月28日(火)	75
木太北部小学校	6月29日(水)	72
東植田小学校	7月12日(火)	5
鶴尾小学校	9月21日(水)	29
高松第一小学校	10月7日(金)	109
下笠居小学校	10月26日(水)	46
檀紙小学校	11月22日(火)	107
弦打小学校	11月25日(金)	86
植田小学校	12月21日(水)	23
鬼無小学校	1月20日(金)	50
国分寺南部小学校	2月1日(水)	29
国分寺南部小学校	2月1日(金)	81
計15校		1,075人



(5) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
7月29日(金)	屋島西コミュニティセンター	坂東美穂・川染奈緒	25
7月31日(日)	高松市知的障がい者青年教室 「スキップクラブ」	坂東美穂・川染奈緒	54
8月10日(水)	カナンそごう児童クラブ	坂東美穂・川染奈緒	14
9月13日(火)	高松市社会福祉協議会 香南老人介護支援センター	坂東美穂・川染奈緒	9
12月6日(火)	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	坂東美穂・川染奈緒	7
12月13日(火)	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	坂東美穂・川染奈緒	7
1月13日(日)	NPO法人川東校区コミュニティ協議会	坂東美穂・川染奈緒	22
3月8日(火)	高松市社会福祉協議会 高齢者支援推進事業	坂東美穂・川染奈緒	20
			計158人



(6) インターンシップ・ボランティア

◆香川県立高松工芸高等学校インターンシップ
日程：7月5日(火)～7月8日(金)
参加者数：4人

◆せとうち観光専門職短期大学臨地実務実習
日程：10月28日(金)～11月15日(火)
参加者数：2人

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：8月2日(火)～8月7日(日)
参加者数：9人(徳島文理大学2人、成安造形大学1人、筑波大学1人、沖縄県立芸術大学3人、秋田公立美術大学1人、金沢美術工芸大学1人)

ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動を続けている。

◆登録者数：13人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
みる誕生 鴻池朋子展 ＊トボストーク	7	76
高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.11	7	104
高松市美術館コレクション+	5	74
高松市美術館コレクション+ ＊おしゃべり鑑賞会	2	53
	計21回	計307人



◆その他の活動

開催日	活動内容
4/17、4/24、4/29、5/1、5/3、5/4、5/5、5/8、5/15、5/22、5/29	「かおPLAY!」アシスタント
4/24	子どものアトリエ「やったぁ!バッグ」アシスタント
4/30	子どものアトリエ「探検 冒険 虫めがね」アシスタント
7/3	視覚障がい者サポート講習
7/17、8/21、8/24	「みる誕生会」アシスタント
7/30	「こども鑑賞プログラム」アシスタント
7/23	子どものアトリエ「じょうずに描かないための道具を作ろう」アシスタント
7/24	子どものアトリエ「つくる昆虫標本」
8/4、8/5、8/6	ふらっとアート「ウンチをつくろう!」アシスタント
12/17	「芸術士といっしょにクリスマスオーナメント&オブジェをつくろう!」アシスタント
2023/2/25	ワークショップ「巨匠たちを追え!紙で作る版画作品」アシスタント

(7) 商店街との連携

サポートショップ

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施している。
令和3年度からは、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

◆展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗(商店街組合加盟店)
約740店舗

◆サポートショップ加盟店舗(商店街組合非加盟店も含む)
32店舗

◆割引利用者数
延べ267人

ランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。

展覧会名	会期
tupera tupera「香川顔mixタワー」	4月18日(月)～5月29日(日)
第5回かがわ・山なみ芸術祭2022 塩江エリア作家紹介	6月28日(火)～7月31(日)
依田洋一朗展「Bromide Paintings」	8月2日(火)～9月11日(日)
高松明日香展「遠雷の音 The Rumbling of Distant Thunder」	9月13日(火)～1月9日(月・祝)
高松市立勝賀中学校美術部「108の個性それぞれの謎の生き物」	1月11日(水)～2月23日(木・祝)
小豆島町立小豆島中学校芸術部「地球の宝」	2月26日(日)～4月9日(日)



tupera tupera「香川顔mixタワー」



第5回かがわ・山なみ芸術2022
塩江エリア作家紹介



依田洋一朗展「Bromide Paintings」



高松明日香展「遠雷の音」

(1) その他の印刷物

- ◆年間スケジュール
発行：2022年3月



(2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

- ◆ホームページ
URL：https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/
アクセス件数：155,805件

- ◆Facebook(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：160件
フォロワー数：1,106人

- ◆Instagram(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：73件
フォロワー数：3,665人

- ◆Twitter (@takamatsu_art_m) 2020年7月24日開設
年間投稿件数：605件
フォロワー数：1,547人

- ◆Youtube (@takamatsu_art_m) 2020年5月28日開設
年間投稿件数：15件
フォロワー数：377人

- 次田吉治
◆その他
高松市歴史資料館開館30周年記念講演会「近世讃岐の絵師めぐり～文人画派を中心に、諸派も寄り道しながら～」(サンクリスタル高松 視聴覚ホール)(2022年11月26日)

- 篠原資明
◆執筆
「フラジャイル／いまかつて間」『高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.11 フラジャイルーひそやかな風景ー』図録(2022年10月)
「版画と書物」『高松市美術館コレクション+(プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術ー画家たちの挑戦ー』図録(2023年2月)
◆その他
アートアドバイザー講座「まぶさび教室」(p.45)

- 毛利直子
◆執筆
「鴻池朋子と高松市美術館をリングワンドルングした日々」『みる誕生 鴻池朋子展 高松編』記録集(2022年10月22日)
「金藤みなみ」『VOCA展2023 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち』図録(2023年)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師
京都教育大学 中学美術科教育III授業「美術館教育及び学校と美術館の連携」講師(京都教育大学)(2022年1月19日)
令和4年度「CONNECT」事業の企画・運営業務に係る企画案審査委員
「VOCA展2023 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち」推薦委員
詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員
高知県立美術館資料収集審査会委員
令和5年度大学における文化芸術推進事業協力者
鬼ノ城塾課外講座講師「ウイズコロナの時代の美術」対談：金子富之(現代美術家)

- 牧野裕二
◆執筆
「コロナ禍における応援業務について」『みる誕生 鴻池朋子展 高松編』記録集(2022年10月22日)
「本田 健 時間の供養」「稲崎栄利子 陶芸のまだ見ぬ先へ」「赤松育呂 自然の摂理との対話」「北野 謙 淵からの眺め」「諫山元貴 語りかける崩壊」
『高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.11 フラジャイルーひそやかな風景ー』図録(2022年10月)
「アンリ・マティスと目を閉じて描いたデッサン」「応答しあう肖像 チャック・クロースとフィリップ・グラス」『高松市美術館コレクション+(プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術ー画家たちの挑戦ー』図録(2023年2月)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 石田智子
◆執筆
「ここにある境界線を見つめて。『ここに境界線はない。／?』展に寄せて」(ウェブ版美術手帖)(WEB)(2023年4月13日)
「エネルギーを失わないために」『みる誕生 鴻池朋子展 高松編』記録集(2022年10月22日)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 橘 美貴
◆執筆
「版画が転換した時代 複製・量産・独自性」、「作家・作品解説」、「主な版画工房」『高松市美術館コレクション+(プラス) 版画でたどる20世紀西洋美術ー画家たちの挑戦ー』図録(2023年2月)
「アートで四国をつなぐとは? 「芸術の四国遍路展」」(artscape) (WEB)(2022年6月1日)
「美術館からの逃走ー「みる誕生 鴻池朋子」(高松会場と大島での展示)」(artscape) (WEB)(2022年10月15日)
「『合田佐和子 帰る途もつもらもない』を歩くー肉体から視覚へ」(artscape) (WEB)(2023年2月1日)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 尾形絵里子
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 福田千恵
◆執筆
「『みる誕生会』をリレーして」『みる誕生 鴻池朋子展 静岡編』記録集(2023年3月16日)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 坂東美穂
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

- 川染奈緒
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

(1) 主催事業

特別展								
			かおてん. 展	鴻池朋子展	アニユアル vol.11展	さくらももこ 展	コレクション +展	計
有料	通常	一般	5,869	2,845	1,294	10,382	1,828	22,218
		大学生	236	496	134	860	203	1,929
	割引	一般	1,798	1,279	559	1,055	164	4,855
		大学生	22	115	46	19	7	209
	前売	一般	863			1,107		1,970
		大学生	8			36		44
	共通定期観覧券		196	315	191	296	274	1,272
	小計		8,992	5,050	2,224	13,755	2,476	32,497
無料	高校生		257	246	170	644	254	1,571
	中学生		195	282	56	407	30	970
	小学生		2,368	528	419	1,614	77	5,006
	就学前		3,837	296	59	894	34	5,120
	小計		6,657	1,352	704	3,559	395	12,667
免除	大学生 他		170	83	27	93	31	404
	引率者		36	22	32	52	10	152
	障がい者介添人		341	318	150	717	189	1,715
	行政視察		23	4		3		30
	小計		570	427	209	865	230	2,301
招待券等			510	1,261	423	606	338	3,138
観覧者総数			16,729	8,090	3,560	18,785	3,439	50,603
1日当たり入場者数			429	180	111	494	104	271
夜間（火～土曜日の17時～19時）			181	252	77	284	62	856

コレクション展							
			第1期	第2期	第3期	第4期	計
有料	通常	一般	1,006	561	122	757	2,446
		大学生	73	67	9	52	201
	割引	一般	83	35	7	32	157
		大学生	3	5		2	10
	共通定期観覧券		175	147	101	208	631
	小計		1,340	815	239	1,051	3,445
無料	高校生		166	169	73	129	537
	中学生		87	55	40	43	225
	小学生		1,082	351	355	218	2,006
	就学前		634	52	78	28	792
	小計		1,969	627	546	418	3,560
免除	大学生 他		107	29	44	30	210
	引率者		44	30	14	19	107
	長寿		473	333	194	564	1,564
	障がい者介添人		156	132	63	164	515
	行政視察		9	3	3	5	20
	小計		789	527	318	782	2,416
招待券等			2,867	2,059	2,735	1,473	9,134
観覧者総数			6,965	4,028	3,838	3,724	18,555
1日当たり入場者数			89	69	110	55	78
夜間（火～土曜日の17時～19時）			113	107	123	45	388

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	473	646	306	383	568	466	510	521	550	399	306	481	5,609
開室日数	26	27	26	27	27	26	26	26	24	24	24	27	310

こども+（プラス）													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	570	1,694	19	203	249	72	460	325	393	68	82	61	4,196
開室日数	15	29	9	9	8	9	26	18	25	8	17	21	194

(2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第48回高松市民美術展	4/5~4/10	6	1,500
第81回創元展 香川巡回展	6/14~6/19	6	1,034
独立美術四国会展	6/28~7/3	6	602
第14回一榮会書展	7/1~7/3	3	531
第63回墨華書道展	9/22~9/25	4	1,526
第23回讃友書展	1/7~1/9	3	694
令和4年度高松市教育文化祭展覧会	1/13~1/15	3	6,181
令和4年度第18回香川県小・中学校総合文化祭 展覧会	1/13~1/15	3	6,189
第39回香川県高等学校総合文化祭展覧会 美術・工芸展	1/19~1/22	4	801
第39回香川県高等学校総合文化祭書道部門	1/19~1/22	4	843
第49回毎日書道学会展	1/27~1/29	3	859
第13回青澄かな書作展／併設こども展	3/25~3/26	2	1,987
第54回正筆会 青華書作展香川展			
計12展		47	22,747

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第33回美術教室DODO作品展	4/19~4/24	6	804
星野文昭絵画展	5/6~5/8	3	174
第48回チャールル会高松展	5/10~5/15	6	507
マスウド ソノハニアートコレクション 魔法の絨毯展	5/18~5/29	11	1,594
大川原静雄 染と書作品展	6/14~6/19	6	737
集 - tudoi -展 2022	6/21~6/26	6	609
「萌の会」の仲間達 日本画展	7/12~7/17	6	456
美しい翼'22作品展	7/20~7/24	5	620
第5回友墨会展	7/26~7/31	6	351
せとうちの瀬戸際けんちく 船の体育館展	8/16~8/21	6	614
第48回文化書道四国連合会書道展	8/27~8/28	2	334
篠原真由美 日本画展	8/30~9/4	6	495
尾藤正樹とアイビー 絵画教室作品展 2022	9/13~9/18	6	269
グループひかり絵画展	9/21~9/25	5	344
第11回グループ尚作品展	10/4~10/9	6	468
第66回創元展香川支部展	10/12~10/16	5	481
第17回鷹松日本画研究会作品展	10/20~10/23	4	429
新協美術会香川支部 第19回近作展	10/25~10/30	6	664
第4回「一期一絵」	11/1~11/6	6	828
幻獣たちの憩い展	11/8~11/13	6	211
フクロウ絵画展	11/15~11/20	6	617
第10回グループ Pearl展	11/22~11/27	6	626
第28回サロン・エウスン絵画展	11/29~12/4	6	858
第4回蘇楽書展	12/8~12/11	4	528
香川県立高松工芸高等学校美術科作品	12/13~12/18	6	866
吉田愛服飾専門学校ファッションコラボレーション 2022	12/20~12/25	6	573
星野文昭・暁子 絵と詩展	1/5~1/8	4	183
第44回香川県高等学校美術・工芸教員作品展	1/20~1/22	3	502
第7回晨梢会 日本画展	1/24~1/29	6	384
第40回新構造社 香川支部展	2/7~2/12	6	555
第12回英明高等学校 美術デザイン系展	2/14~2/19	6	717
香川大学創造工学部造形メディアデザインコース卒業展示会	2/22~2/26	5	541
女子美術大学同窓会香川支部設立20周年記念展	2/28~3/5	6	815
INSPIRING TREASURES OF THE HEART	3/7~3/19	12	878
計34展		195	19,632

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0	0	405	445	525	220	360	340	265	125	327	335	3,347
利用回数	0	0	50	7	10	4	7	5	8	5	5	6	107

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	355	405	546	462	351	495	456	479	512	521	490	466	5,538
利用回数	26	30	34	32	27	37	34	34	29	36	38	38	395

高松市美術館 開館35周年記念

フィンランドのライフスタイル～暮らしを豊かにするデザイン～
Finnish Lifestyle. Design illuminates everyday life.

森と湖の国フィンランド。人と自然との共生が世界で広く意識されはじめるよりも早く、20世紀初頭から、フィンランドの多くのデザイナーたちは、ものづくりにおいて自然との調和を重視してきました。昼間でも太陽が昇らない厳しい冬を快適に過ごすため、あるいは貴重な夏を楽しむために、デザインの中に明るさや柔軟さを取り入れ、人々の生活を向上させようとしてきたのです。

本展では、アルヴァ・アアルト(1898-1976)や、アイノ・アアルト(1894-1949)、イルマリ・タピオヴァーラ(1914-1999)、カイ・フランク(1911-1989)といった、時代を超えて今なお愛され続ける巨匠デザイナーや、オイバ・トイッカ(1931-2019)、石本藤雄(1941-)など、近年のデザイナーたちによる、家具や陶器、ガラス、テーブルウェア、テキスタイルなど、フィンランドの生活を彩る逸品約800点を紹介しました。また、フィンランドデザインの流れを汲みながら日本で多様に展開するデザインの数々と、ヒンメリ、白樺細工といったフィンランドの手仕事、サウナ文化など、優れたデザインを生み出したフィンランドの暮らしも併せて紹介しました。

Finland, a nation of forests and lakes. Finnish designers have long emphasized harmony with nature as part of their creations, dating back as far as the turn of the 20th century and long before the symbiosis between people and nature became widely recognized around the world. Be it to aid in passing the harsh, sunless winters, or in enjoying those precious moments of summer, these designers have sought to enhance people's lives through the incorporation of brightness and flexibility into their work.

This exhibition introduced approximately 800 articles of furniture, ceramics, glass, tableware, and textiles, forming a rich tapestry of Finnish life. It includes impressive work from the masters who are loved throughout the ages, such as Alvar Aalto (1898-1976), Aino Aalto (1894-1949), Ilmari Tapiovaara (1914-1999), and Kaj Franck (1911-1989), as well as modern designers, such as Oiva Toikka (1931-2019) and Fujiwo Ishimoto (1941-). The exhibition also introduced a wide variety of designs that have developed in Japan under the influence of Finnish trends, Finnish artistic handicrafts such as himmeli and birch handicrafts, and elements of the Finnish lifestyle, like the sauna culture, that have helped give rise to such exemplary designs.

- ◆会期 2023年4月15日(土)～6月11日(日) 50日間
- ◆休館 月曜日
- ◆主催 高松市美術館
- ◆特別協力 スコープ
- ◆協力 アルテック、イッタラ、カウニステ、モノラボン(iwatemo)、世界文化社
- ◆後援 フィンランド大使館、フィンランドセンター、日本フィンランド協会
- ◆企画協力 キュレイターズ
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 16,195人
- ◆担当学芸員 福田千恵



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)



記念対談



サイン会



記念講演会



1万人セレモニー



ギャラリートーク



名作を体感！



◆講演会

記念対談「フィンランドの記憶」
日時：4月15日(土) 15：00～16：30
出演：石本藤雄(テキスタイルデザイナー、陶芸家)、
平井千里馬(スコープ代表)
場所：1階講堂
参加者数：574(464)人
※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

記念講演会「日本語を学ぶフィンランド人、フィンランドからみた日本」
日時：5月20日(日) 13：30～15：00
出演：植村友香子(香川大学特命准教授、香川フィンランド協会常任理事)
場所：1階講堂
参加者数：348(244)人
※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

◆イベント

名作を体感！
アルヴァ・アアルト《41 アームチェア パイミオ》ほか、名作椅子の座り心地を体験。
日時：会期中
会場：1階エントランスホール
無料、予約不要

フィンランドのライフスタイル展図録サイン会(p.117)
ふらっとアート「ペーパーパストローでヒンメリをつくろう」(p.116)
学校と美術館のためのプログラム(p.120)
子ども鑑賞プログラム(p.117)
はじめての「ノルディック・ウォーキング」(p.117)
エントランス・ミニコンサート「Earth～光と影の交錯する大地への祈り～」(p.117)

◆ギャラリートーク

日時：4月16日(日) 14：30～
講師：福田千恵(当館学芸員)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：51人

日時：会期中の日曜日 14：00～(6回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ141人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／3月13日、4月13日、4月14日
新美術新聞／4月15日
高松経済新聞／4月20日「高松市美術館でフィンランドのライフスタイル展」
朝日新聞デジタル／5月2日「暮らし彩るデザイン、愛される秘密」
四国新聞／5月24日「北欧デザイン彩り豊か」
読売新聞／6月2日「フィンランド暮らし感じて」
ままといっしょ／2023春号
美術の窓／4月号、5月号、6月号
調査月報／4月号
広報高松／4月号
博物館研究／5月号、6月号
ナイスタウン／5月号
月刊ギャラリー／5月号、6月号
芸術新潮／5月号、6月号
yahoo！ニュース／4月20日「高松市美術館でフィンランドのライフスタイル展」
ほっとせなNEWS「元マリメッコの石本藤雄さんらフィンランドを語る」

◆図録

『フィンランドのライフスタイル 暮らしを豊かにするデザイン』
図録
企画・構成：CURATORS INC.(水野昌美、小林慎治、酒井由紀子、篠崎鈴)
デザイン：小野寺健介
編著者：キュレイターズ
発行者：秋山和輝
発行：株式会社世界文化社
印刷：凸版印刷株式会社
製本：株式会社大観社
発行日：2023年4月30日
仕様：23.9×18.2cm、208頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：佐々木茜(デジタルモリス)

◆作品リスト(p.98)

高松市美術館 開館35周年記念

上田薫展

Ueda Kaoru Exhibition

なま玉子やゼリーなど身近なモチーフを超写實的に描く上田薫(1928～)。独自のスタイルでリアルを極限まで追求した上田の初期から最新作までを紹介しました。

上田薫は、1928年東京に生まれ1954年東京藝術大学を卒業後、抽象画家としてキャリアをスタートさせます。その後グラフィックデザイナーとして活躍した上田は、1960年代に再び絵画制作に取り組み、70年代には写真を使って対象を精巧に描き出す独自の写実表現を確立し、そのリアリティは子どもから大人までを魅了し続けています。瞬間を捉えた写真をもとにして精巧に描き出すその手法は、情報技術が進み写真や映像の表現が進化し続けている現代においても、新しい視点を提供し、観客の目を楽しませます。

本展では、モチーフを拡大し超写實的に描いた油彩画はもちろん、大学時代に描いたデッサンや初期の抽象絵画も展示しました。さらには本年に描かれた最新作まで紹介し、スーパーリアリズムからは離れながらも多彩な表現を続ける上田の描くことへの飽くなき探求心と挑戦を感じていただきました。

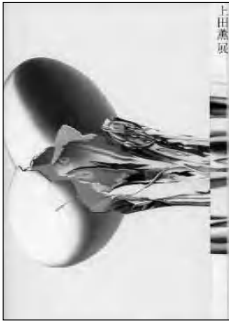
- ◆会期 2023年7月15日(土)～9月18日(月・祝) 57日間
- ◆休館日 月曜日(7月17日[月・祝]、9月18日[月・祝]開館)、7月18日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆特別協力 名古屋画廊
- ◆助成 公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人 花王 芸術・科学財団
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 10,387人
- ◆担当学芸員 石田智子



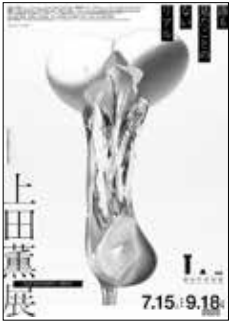
(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)

Ueda Kaoru (1928-) is known for his hyper-realistic work depicting familiar objects such as raw eggs and jelly. This exhibition introduced work from his early career through to now, displaying his pursuit of an ultimate reality in his own style.

Ueda was born in Tokyo in 1928 and after graduating from the University of the Arts, Tokyo in 1954, began his career as an abstract artist. He went on to become a successful graphic designer before returning to painting in the 1960s. In the 1970s he established a unique photographic-style expression, painting his subjects to the finest detail based on photographs, with a depth of reality that draws in the audience, whether young or old. His technique of depicting subjects based on the captured instants of photographic images offers a new perspective, even in the contemporary world when information technology has progressed and photographic and film expression continue to evolve, and captures the eyes of the audience.

This exhibition featured not only the oil paintings that enlarge his motifs in hyper-realistic form, but also sketches from his university days and early abstract paintings. His latest work, painted this year, are also displayed, allowing you to feel Ueda's endless will to explore and the challenges that he takes on to paint in various modes of expression while pivoting from hyper-realism.



記念対談



ギャラリートーク



おしゃべり鑑賞会



商店街懸垂幕



特別企画「小川信治展」



特別企画「小川信治展」

◆講演会

記念対談「上田薫の絵画」
日時：7月15日(土) 13：30～15：00
講師：上田葉子(キルト作家、上田薫妻)、横井孝蔵(光と緑の美術館)
場所：1階講堂
参加者数：214(164)人
※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

◆イベント

ワークショップ「スプーンのなかの世界」(p.114)
エントランス・ミニコンサート「Soundscapes in Summer」(p.117)
出張美術館(p.117)
おでかけ美術館(p.120)
託児サービス(p.117)

◆ギャラリートーク

7月16日(日) 14：00～
8月12日(土) 14：00～
講師：石田智子(当館学芸員)
場所：2階展示室
参加者数：延べ54人

日時：会期中の日曜日
各14：00～(7回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ142人

(おしゃべり鑑賞会)対話しながら作品をじっくり鑑賞。
7月30日(日) 14：00～
9月10日(日) 14：00～
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ32人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／8月21日
朝日新聞／8月30日「超リアル画家リアリズム新章」
広報高松／7月号
美術の窓／7月号、8月号、9月号
月刊ギャラリー／7月号、8月号「上田薫展 誰も見たことのないリアル」、9月号
博物館研究／7月号、8月号、9月号
ままといっしょ／2023夏号
調査月報／8月号

◆図録

『高松市美術館開館35周年記念 特別展 上田薫 展』図録
企画・編集・執筆：石田智子(高松市美術館)
デザイン：川添英昭(KAWAZOE DESIGN)
印刷：株式会社太陽社
発行者：高松市美術館
発行日：2023年7月15日
仕様：29.6×20cm、40頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：川添英昭(KAWAZOE DESIGN)

◆作品リスト(p.99)

◆同時開催 特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」
精緻な描写と感覚を揺さぶる表現で独自の世界を確立するアーティスト、小川信治。本展では「回帰」をテーマに、画家として活動し始めた1980年代に描かれた最初期の作品から、最新作まで、油彩、アクリル、鉛筆、インク、映像など様々な技法が用いられた36点を展示した。

- ◆会期 2023年7月15日(土)～9月18日(月・祝)
※ランチギャラリーのみ7月22日(土)から開催。
- ◆会場 2階展示ロビー、1階図書コーナー、
ランチギャラリー(p.123)
- ◆入場料 無料
- ◆担当学芸員 石田智子
- ◆関連イベント
ワークショップ「SHINJINGで絵を描こう！」(p.114)
- ◆作品リスト(p.102)

高松市美術館開館35周年記念 令和5年度国立美術館巡回展

20世紀美術の冒険者たち ―名作でたどる日本と西洋のアート

Touring Exhibition of National Museum of Art in FY2023 Adventures of Art in 20th century: appreciating Japanese and Western artworks through Masterpieces

1952年の開館以来、日本の美術界をリードし続ける東京国立近代美術館。本展では20世紀の日本・西洋美術の軌跡を、同館の洋画・彫刻コレクションによりたどりしました。

明治以降の日本では、近代化と西洋化による社会の変動とともに、新たな美術表現が開拓されてきました。本展では、美術の普及期である明治時代、個に根ざした表現が重視されてきた大正時代、自由と抑圧がせめぎ合う昭和戦前期、表現の多様性が増す戦後の動向までを概観しました。あわせて、日本近代美術の展開を語るうえで欠かせない、西洋のモダンアートもご紹介しました。

近代美術から現代アートへの道のりは、既存の様式を疑い、未知の表現へ踏み出そうとする試みの連続でした。その変貌の軌跡は「冒険」にもなぞらえられるでしょう。高松市美術館と巡回先の熊本県立美術館の所蔵品をまじえた78点の作品による、近代美術から現代アートにいたる冒険の旅をご覧くださいました。

Since opening its doors in 1952, the National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT), has continued to lead the Japanese art world. This exhibition traced the history of Japanese and Western art in the 20th century through some western-style paintings and sculptures from the collection of MOMAT.

After the Meiji era, new artistic expressions were cultivated in Japan concurrently with social changes due to modernization and westernization. This exhibition will give an overview of the Meiji period when art was popularized; the Taisho period when expression rooted in individualism was valued; the pre-war Showa when freedom and oppression clashed; and the postwar period which saw an increasing diversity of expression. In addition, Western modern art, indispensable to the development of Japanese modern art was also featured.

The path from modern art to contemporary art was a series of attempts to question the existing style to venture into uncharted territories of expression. It was a path of transformation that could be likened to an “adventure.” A total of 78 works, from the collections of MOMAT, Takamatsu Art Museum, and Kumamoto Prefectural Museum of Art, one of the destination venues, took visitors on a journey of adventure from modern art to contemporary art.

- ◆会期 2023年9月30日(土)～11月19日(日) 44日間
- ◆休館日 月曜日(10月9日〔月・祝〕開館)、10月10日(火)
- ◆主催 高松市美術館、東京国立近代美術館
- ◆共催 四国新聞社
- ◆協力 熊本県立美術館
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 6,662人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2 ポスター)



(B3 ポスター)



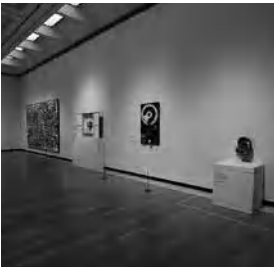
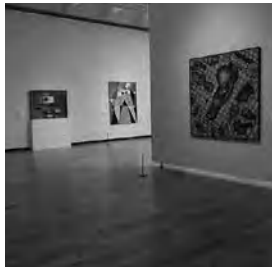
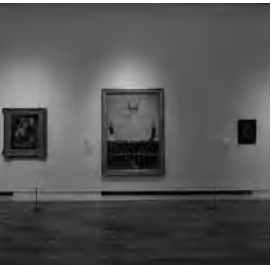
記念講演会



ギャラリートーク



おしゃべり鑑賞会



美術館横懸垂幕

◆講演会

記念講演会「あなたは誰？描かれた「モデル」から読み解く近現代美術」
日時：9月30日(土) 13：30～15：00
講師：佐原しおり(東京国立近代美術館研究員)
会場：1階講堂
参加者数：226(161)名
※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

◆イベント

記念パフォーマンス(p.118)
ワークショップ「かく・みる冒険 筆談鑑賞」(p.115)
ワークショップ「みるって何だろう？ー見えない・見えにくい人と共に行う美術鑑賞会」(p.115)
エントランス・ミニコンサート「Les vents de la musique moderne (近代音楽の風)」(p.118)

◆ギャラリートーク

東京国立近代美術館の対話鑑賞プログラム(p.118)
オンライン鑑賞会(p.118)

ギャラリートーク
10月1日(日) 14：00～
講師：牧野裕二(当館学芸員)
場所：2階展示室
参加者数：30人

日時：会期中の日曜日各14：00～(6回)
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ118人

(おしゃべり鑑賞会)対話しながら作品をじっくり鑑賞した。
10月9日(月・祝) 14：00～
11月3日(金・祝) 14：00～
講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
場所：2階展示室
料金：無料(観覧券要)
参加者数：延べ28人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／9月15日、9月21日「近代から現代へ 変貌するアートの軌跡」、9月29日、10月1日「日本美術の変遷たどる」、10月6日「列品解説㊿」、10月13日「列品解説㊿」10月20日「列品解説㊿」、11月3日、11月9日「対話を通して絵画理解」、11月15日「対話型鑑賞の面白さ」
読売新聞／10月13日「筆談で楽しむ20世紀美術」、10月24日「語り合っ」美術鑑賞」
毎日新聞／10月19日「対話で浮かぶ作品の輪郭」
広報高松／9月号
美術の窓／10月号、11月号
月刊ギャラリー／9月号、10月号、11月号
博物館研究／11月号
調査月報／10月号、11月号
日曜美術館アートシーン／9月3日

◆図録

『令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート』
編集：山中理彩子(熊本県立美術館)、牧野裕二・高見翔子(高松市美術館)、小林紗由里(東京国立近代美術館)
執筆：山中理彩子(熊本県立美術館)、牧野裕二・石田智子・橋美貴・高見翔子(高松市美術館)、小林紗由里(東京国立近代美術館)
イラスト：村上明日香
デザイン：石井克昌(ホンとカラグラフィ)
印刷：シモダ印刷株式会社
発行：東京国立近代美術館、熊本県立美術館、高松市美術館
仕様：25.7×19.9cm、64頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：石井克昌(ホンとカラグラフィ)

◆作品リスト(p.100)

高松市美術館開館35周年記念

川瀬巴水 旅と郷愁の風景
KAWASE HASUI: Travel and nostalgic landscape

大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水（1883-1957〔明治16-昭和32〕年）。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きました。巴水とともに木版画制作の道を歩んだのが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎（現・渡邊木版美術画舗初代）や彫師、摺師といった職人たちです。四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」を牽引する存在として人気を博します。

本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介しました。まとめて観る機会の少ない連作（シリーズ）も含め約180点を展示し、叙情的な巴水の世界へと誘いました。

Kawase Hasui was a prolific woodblock print artist who thrived from the Taisho to Showa eras. This was during the period of modernization when townscapes and landscapes were rapidly changing. Hasui traveled all over Japan seeking unspoiled landscapes, which he developed into artworks depicting ordinary people's lives and seasonal sceneries. Among the collaborators of Hasui was his publisher Watanabe Shozaburo (the founder of the current S.WATANABE Woodcut Prints), who was an advocate of the "Shin-hanga" movement that promoted the revitalization of woodblock prints for the new era. Other collaborators included craftsmen, namely a woodblock carver and a printer. These four worked together to find a way to apply more advanced techniques while preserving traditional woodblock printing techniques. Their continuous ventures into new color palettes and expression methods made them popular as the leading figures of the "Shin-hanga" movement.

This exhibition introduced the artistic life of Kawase Hasui, who was also called as a "poet with the spirit of a traveler" for his rich expression of seasons, weather, and the passage of time, through his representative works from early to late career. About 180 works were exhibited, including a series of prints that are rarely shown together, inviting the viewers into the lyrical world of Hasui.

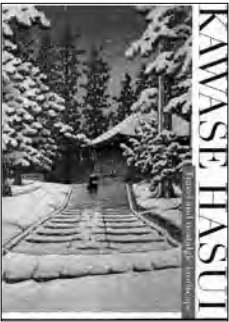
- ◆会期 2024年1月24日（水）～3月6日（水）37日間
- ◆休館日 月曜日（2月12日〔月・振休〕開館）、2月13日（火）
- ◆主催 高松市美術館
- ◆共催 四国新聞社
- ◆特別協力 渡邊木版美術画舗
- ◆資料提供 大田区立郷土博物館
- ◆企画協力 NHKエンタープライズ近畿、ステップ・イースト
- ◆入場料 一般1,200円、大学生600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 11,053人
- ◆担当学芸員 橘 美貴



（チラシ表）



（チラシ裏）



（図録）



（B2ポスター）



（B3ポスター）



記念講演会



新版画の摺りの実演



ギャラリートーク



商店街懸垂幕

- ◆講演会
記念講演会「川瀬巴水の版画世界」
日時：1月28日（日）13：30～15：00
講師：岩切信一郎（美術史家）
会場：1階講堂
参加者数：148名

- ◆イベント
新版画の摺りの実演（p.118）
ワークショップ「陰刻版画に挑戦！」（p.115）
エントランス・ミニコンサート「美しき日本の心を歌う～日本の四季を巡って～」（p.118）

- ◆ギャラリートーク
2月4日（日）14：00～
講師：橘 美貴（当館学芸員）
参加者数：70名

2月11日（日）、2月12日（月・振休）、2月23日（金・祝）、2月25日（日）、
3月3日（日）各14：00～（5回）
講師：美術館ボランティアcivi（シヴィ）
場所：2階展示室
料金：無料（観覧券要）
参加者数：延べ276人

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞／1月7日、1月19日「あふれる詩情と色彩」、1月23日、
1月25日「川瀬巴水展始まる 四季折々の風景織細に」、2月1日、
2月2日「列品解説㊿」、2月5日、2月9日「列品解説㊿」、2月16日「列
品解説㊿」、2月22日
山陽新聞（朝刊）／2月8日
読売新聞／2月17日「巴水 風景画の世界」
月刊ギャラリー／11月号、12月号、1月号、2月号
広報高松／1月号
博物館研究／1月号
高松市中央図書館報／2月号
ナスタウン／2月号
NHKゆう6かがわ
日曜美術館アートシーン／2月4日
アイエム（WEB）
エクスペリエンス高松（WEB）
四国地区博物館協議会（WEB）
アートアジェンダ（WEB）／11月15日
MIRAI（WEB）／12月22日
ファッションプレス（WEB）／1月4日
ウォーカープラス（WEB）／1月8日
美術展ナビ（WEB）／1月12日

- ◆図録
『川瀬巴水 旅と郷愁の風景』図録
編集：友員里枝子（ステップ・イースト）、藤本憲治・松嵩論（瞬報社写真印刷）
執筆：岩切信一郎（美術史家）、佐伯健太郎（NHK国際放送局World News 部記者）、友員里枝子（ステップ・イースト）、真坂オリエ（大田区立郷土博物館学芸員）、山本野理子（川崎浮世絵ギャラリー学芸員）、吉田洋子（山口県立萩美術館・浦上記念館学芸員）
デザイン：福家恵美子（福家デザイン制作室）、城代尚仁（瞬報社写真印刷）
制作：ステップ・イースト
印刷：瞬報社写真印刷
発行：ステップ・イースト
仕様：29.7×22.6cm、260頁

- ◆ポスター・チラシ
デザイン：佐々木茜（デジタルモリス）

- ◆作品リスト（p.101）

出品作品リスト

List of Works



一名作でたどる
日本と西洋のアート

令和5年度国立美術館巡回展

Adventures of Art in 20th century
—appreciating Japanese and Western artworks through Masterpieces—

【凡例】

- ※本展の出品番号は図録掲載順番号です。各展の表示とは必ずしも一致しません。
- ※本展は図録のみで、会場ごとに出品品数が異なります。当該展の出品品目表をご覧ください。
- ※図録にあるものは複製複製文化財です。

会期：2023年7月22日～9月18日

会場：熊本県立美術館

July 22–September 18, 2023
Kumamoto Prefectural Museum of Art

プロローグ 20世紀の序章

第1章 描写から表現へ—1910-20年代

No.	氏名	作品名	制作年	媒体	寸法 (cm)	所蔵先
01	黒田 清輝	落葉	明治39年	油彩・キャンバス	80.8×63.8	東京国立近代美術館
02	西田 三喜	北風	明治39年	油彩・キャンバス	115.5×142.4	東京国立近代美術館
05	梅原 龍三郎	黄金の首飾り	大正12年	油彩・キャンバス	47.4×45.3	東京国立近代美術館
06	藤島武二	花魁	大正13年	油彩・キャンバス	99.5×76.0	東京国立近代美術館
07	高橋 五郎	裸婦像	明治45年	油彩・キャンバス	142.0×97.0	東京国立近代美術館
09	川上 澄生	鉄道	明治45年	油彩・紙	59.0×44.0	東京国立近代美術館
11	坪田 寅生	熊の上の林檎を食べても	大正13年	油彩・紙	40.0×25.5	東京国立近代美術館
12	坪田 寅生	熊子母熊 (熊子五歳之頃)	大正13年	油彩・キャンバス	45.5×38.0	東京国立近代美術館
13	原野 守衛	女の眼	明治47年	ペンズ	45.0×18.0*	東京国立近代美術館
14	藤井 勇造	婦人	大正14年	ペンズ	21.5×14.5*	東京国立近代美術館
15	藤原 龍三	スクリューのメカニズム—スクリューのメカニズム—	大正13年	油彩・紙	114.6×89.6	東京国立近代美術館
16	坪田 知雄	赤い髪の少女像	大正13年	油彩・紙、木、コラージュ	40.0×27.0	東京国立近代美術館
17	岡本 啓吉	花	大正13年	油彩・アクリル・織物	106.0×72.3	東京国立近代美術館

18	神田 健之助	女の顔	大正13年	油彩	43.8×23.0	東京国立近代美術館
19	青柳 青児	ストリート・ダンス	大正13年	油彩・キャンバス	114.0×72.5	東京国立近代美術館
20	大塚 武二	海	明治45年	油彩・キャンバス	130.0×162.5	東京国立近代美術館
21	川口 軌外	静物 (マンドリン)	明治45年	油彩・キャンバス	116.6×81.5	東京国立近代美術館
22	黒見 義典	室内 (内)	明治45年	油彩・キャンバス	81.0×116.8	東京国立近代美術館
23	佐伯 祐三	キヤフの寺	明治45年	油彩・キャンバス	60.0×73.0	東京国立近代美術館
24	藤田 嗣治	ヴァイオリンを持つ子ども	大正12年	油彩・キャンバス	116.0×73.0	熊本県立美術館

第2章 憧れの西洋美術

25	オーギュスト・ロダン	トルソー	制作年不明	ブロンズ	27.4×19.5*	東京国立近代美術館
26	ビュロー・オーグスト・ロダン	裸に花を飾る少女	明治45年	油彩・キャンバス	55.0×46.7	熊本県立美術館
27	アンリ・ルソー	ようき楽楽を運ぶ自由の女神	明治45年	油彩・キャンバス	175.0×118.0	東京国立近代美術館
28	モーリス・ド・ヴラマンク	湖岸	明治45年	油彩・キャンバス	60.0×73.0	東京国立近代美術館
29	ホアン・ダグリス	月夜	大正13年	油彩・キャンバス	46.0×41.0	東京国立近代美術館
30	アンドレ・リュート	花魁の顔	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×65.0	東京国立近代美術館
31	パウル・クレー	花魁の顔	大正13年	油彩・紙 (水彩画)	45.5×34.5	東京国立近代美術館
32	パウル・クレー	花魁の顔	大正13年	油彩・紙 (水彩画)	45.5×34.5	東京国立近代美術館
33	パウル・クレー	花魁の顔	大正13年	油彩・紙 (水彩画)	45.5×34.5	東京国立近代美術館
34	イヴ・タンギー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	46.0×32.7	東京国立近代美術館
35	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館
36	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館
37	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館
38	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館
39	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館
40	グレース・ワグナー	裸の女	大正13年	油彩・キャンバス	81.0×116.0	東京国立近代美術館

第3章 社会と美術—1930-40年代

41	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
42	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
43	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
44	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
45	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館

46	野田 秀吉	都会	昭和13年	油彩・キャンバス	44.5×90.9	東京国立近代美術館
47	津田 清	ブルジョア社会と市民生活 下巻	昭和13年	油彩・キャンバス	125.8×80.3	東京国立近代美術館
48	堀内 一郎	ブルジョア社会と市民生活 上巻	昭和13年	油彩・キャンバス	80.3×116.5	東京国立近代美術館
49	三好 好太郎	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	91.5×60.6	東京国立近代美術館
50	佐藤 清	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	117.0×80.5	東京国立近代美術館
51	大塚 健二	トリート	昭和13年	油彩・キャンバス	112.3×143.3	東京国立近代美術館
52	佐藤 清	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	111.1×148.4	東京国立近代美術館
53	山口 龍男	二人像	昭和13年	油彩・キャンバス	73.0×60.0	東京国立近代美術館
54	村井 正雄	CITY	昭和13年	油彩・キャンバス	60.7×72.7	東京国立近代美術館
55	斎藤 義典	カラカ	昭和13年	油彩・キャンバス	90.0×72.0	東京国立近代美術館
56	小島 良平	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	101.0×180.0	東京国立近代美術館
57	露木 久美子	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	80.3×90.6	東京国立近代美術館
58	露木 久美子	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	80.3×90.6	東京国立近代美術館
59	露木 久美子	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	80.3×90.6	東京国立近代美術館
60	露木 久美子	雲の上の鳥	昭和13年	油彩・キャンバス	80.3×90.6	東京国立近代美術館

61	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
62	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
63	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
64	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
65	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
66	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
67	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
68	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
69	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館
70	河野 龍三	孕んだ女	昭和29年	油彩・キャンバス	140.0×134.5	東京国立近代美術館

美術館からのおねがい

- 作品や展覧会、解説パネルなどの展示物には触れないようお願いいたします。
- 本展のマークがある作品は写真撮影ができます。
- ただし、フラッシュや三脚の使用、動画の撮影、許可なく他への無断使用はご遠慮ください。また、他の来場者の妨げにならないようご注意ください。
- 携帯電話スマートフォンは電源を切るか、マナーモードに設定をお願いします。
- 展示室内での飲食(水を含む)はご遠慮ください。
- ペット(犬猫)や水筒はバッグ等に入れていただくか、受付にお預けください。
- 展示室内では鉛筆以外の筆記用具(シャープペンシル、ボールペン、万年筆など)の使用はご遠慮ください。

Kawase Hasui Travel and nostalgic landscape

旅と郷愁の風景

巴水瀨

高松市美術館 開館35周年記念

2023年 7月24日(水) 3月6日(水)

主催：高松市美術館 共催：四国新聞社 特別協力：渡邊本美術画廊

資料提供：大田区立郷土博物館 企画協力：NEIK 企画協力：文芸春秋、スタジオ・イースト

※本展は、本美術館の企画・制作・運営を目的とし、本美術館の収蔵品を展示するものではありません。

※本展は、本美術館の企画・制作・運営を目的とし、本美術館の収蔵品を展示するものではありません。

※本展は、本美術館の企画・制作・運営を目的とし、本美術館の収蔵品を展示するものではありません。

21	しほ原重樹の遺作	Yoshida Shigeaki (Shigeaki Yoshida) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1900(大正前年)
22	若狭久子遺作	Wakasa Kiko (Kiko Wakasa) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1900(大正前年)
23	小堀誠	Kobori Makoto (Makoto Kobori) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1900(大正前年)
24	しほ原重樹の遺作	Yoshida Shigeaki (Shigeaki Yoshida) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1900(大正前年)
25	五内清一郎の山荘	Gocho Seiichi (Seiichi Gocho) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1919(大正前年)
26	こま形海岸	Komagata Kaigan (Kaigan Komagata) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1919(大正前年)
27	夜の新川	Yoru no Shinkawa (Shinkawa Yoru) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1919(大正前年)
28	井のしらの残雪	Imino no Shirayuki (Shirayuki Imino) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
29	大塚がし	Osaka Gashi (Gashi Osaka) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
30	瀬川上橋	Setagawa Kamo (Kamo Setagawa) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
31	島田村	Shimada Murakami (Murakami Shimada) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
32	木暮の夕暮	Kikuri Yūyū (Yūyū Kikuri) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
33	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
34	雲に暮るる夕暮村	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
35	山田の山	Yamada no Yama (Yama Yamada) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
36	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
37	三十分間の静寂	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
38	谷中の夕暮	Tanaka no Yūyū (Yūyū Tanaka) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
39	南半二橋の午後	Nanbanji no Kōgō (Kōgō Nanbanji) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
40	芝居の静寂	Shibui no Seijaku (Seijaku Shibui) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
41	月夜の静寂	Yūyū no Seijaku (Seijaku Yūyū) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
42	池田静寂の雪	Ikeda Seijaku no Yuki (Yuki Ikeda Seijaku) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
43	月夜 (大塚)	Yūyū (Yūyū) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
44	手塚より庭園をむく	Tsuetsuka Yori Teien o Muku (Teien Tsuetsuka) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
45	月夜の静寂	Yūyū no Seijaku (Seijaku Yūyū) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
46	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
47	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
48	大塚の静寂	Osaka no Seijaku (Seijaku Osaka) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
49	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
50	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
51	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
52	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
53	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
54	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
55	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
56	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
57	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
58	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
59	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
60	雲の白ひ	Souvenir of Travel (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)

61	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
62	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
63	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
64	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
65	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
66	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
67	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
68	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
69	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
70	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
71	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
72	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
73	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
74	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
75	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
76	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
77	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
78	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
79	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
80	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
81	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
82	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
83	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
84	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
85	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
86	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
87	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
88	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
89	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
90	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
91	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
92	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
93	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
94	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
95	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
96	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
97	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
98	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
99	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)
100	鹿角長閑川	Kakko Chōkan (Chōkan Kakko) from the series "Souvenirs of Travel" (Ishi no yume da ishi)	1920(大正前年)

58	木村 忠太郎 KIMURA Tadao	昭和紀の日本人的ポロゴン Compositions of Japan, 1942-1945	1945	油彩・キャンバス oil on canvas	89.0×130.0	高松市美術館 Takamatsu Museum of Art
59	北島 邦男 KITAWAKI Noboru	クオ・ヴァジス Quo Vadis	1949	油彩・キャンバス oil on canvas	91.0×117.0	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art
60	岡本 太郎 OKAMOTO Taro	夜明け Dawn at Shadow of a Road Stand	昭和29年 1954	油彩・キャンバス oil on canvas	181×256.5	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art
61	岡田 昌子 HAMADA Chiriko	初年作風景(東郷のかげ) Early in New Concrete Landscape of the Shadow of a Road Stand	昭和29年 1954	エナメル・アクリル・紙 enamel, acrylic on paper	39.0×17.5	東京国立近代美術館 National Museum of Modern Art
62	岡田 昌子 HAMADA Chiriko	初年作風景(東郷) Early in New Concrete Landscape	昭和29年 1952	エナメル・紙 enamel on paper	15.5×29.9	東京国立近代美術館 National Museum of Modern Art
63	岡田 昌子 HAMADA Chiriko	初年作風景(東郷) Early in New Concrete Sertial	昭和29年 1954	エナメル・アクリル・紙 enamel, acrylic on paper	24.0×16.2	東京国立近代美術館 National Museum of Modern Art
64	岡田 昌子 HAMADA Chiriko	初年作風景(東郷・雨) Early in New Concrete Landscape Center	昭和29年 1954	エナメル・アクリル・紙 enamel, acrylic on paper	18.7×24.0	東京国立近代美術館 National Museum of Modern Art
65	香月 泰男 KAZUJI Yano	奔馬 Farewell	昭和29年 1954	油彩・キャンバス oil on canvas	73.0×116.0	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art

第1期コレクション展

◆会期 2023年4月6日(木)～6月18日(日) 64日間
◆休館日 月曜日
◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 8,071人
◆担当学芸員 牧野裕二



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

いろいろな線 Different Lines

線表現に着目しながら現代アート13点(10作家)を展示。また令和4年度新収蔵作品11点(4作家)の作品も同時に紹介。

【いろいろな線】

No.	作家名	作品名	制作年
1	狗巻賢二	無題	1974
2	金山 明	Mar.7	1957
3	菅野聖子	母音頌	1973
4	鬼頭健吾	cosmic dust	2002
5	桑原盛行	群の光景 1975-3	1975
6	斎藤義重	カラカラ	1973 (原作1936)
7	高松次郎	Space in Two Dimensions	1978
8	高松次郎	Form No.1203	1987
9	法貴信也	無題	2008
10	山田正亮	Work C-93	1961- 62
11	山田正亮	Work C-241	1965
12	山田正亮	Work D.100	1972
13	吉原治良	作品	1971

◆ギャラリートーク
日時：6月3日(土) 14：30～
講師：牧野裕二
参加者数：12人

【令和4年度新収蔵作品】

No.	作家名	作品名	制作年
1	赤松音呂	チョウズマキ	2016
2	諫山元貴	Objects # 14	2023
3	中野裕介／バラモデル	巨大な少年の建造計画 [頭部-正面図]	2013
4	中野裕介／バラモデル	巨大な少年の建造計画 [素敵な]	2013
5	中野裕介／バラモデル	巨大な少年の建造計画 [栄光の]	2013
6	中野裕介／バラモデル	俊徳丸の模型(よろぼう少年)	2014
7	中野裕介／バラモデル	かしこい犬の模型(よろぼう犬)	2014
8	中野裕介／バラモデル	忘れて忘れたはずの、青のはなし	2021
9	中野裕介／バラモデル	きているもの・きそうなもの それとP	2022
10	本田 健	鹿の骨 オニユリ	2022
11	本田 健	山あるき 一月(寄託)	1999

【常設展示室2】

金工の美 大須賀喬と大須賀選 Beauty of Metal work Osuga Takashi and Osuga Sen

寄贈ならびに当館所蔵の大須賀 選氏とその父・大須賀 喬の作品を中心に34点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	大須賀 喬	鈴虫文鉄小筥	1965
2	大須賀 喬	バラソルの取っ手	昭和初期
3	大須賀 喬	黄銅花器	1930
4	大須賀 喬	鳳凰文銀小壺	1937
5	大須賀 喬	胡蝶文手筥	1954
6	大須賀 喬	金彩虫の壺	1978
7	大須賀 喬	露草茶入	
8	大須賀 喬	象嵌鉄壺 蝶宴	1979
9	大須賀 選	金と黒A	1957頃
10	大須賀 選	まんだらとうろう	1964
11	大須賀 選	みちしるべ	1967
12	大須賀 選	壁のかざり(ブラケット)	1969
13	大須賀 選	みちしるべ	1969
14	大須賀 選	流れ・揺れ集合する線	1972
15	大須賀 選	天空に穴を穿つ	1973
16	大須賀 選	伸びる形	1977
17	大須賀 選	斜線文接合角壺	1981
18	大須賀 選	銀彩銅鳥形盤	1981
19	大須賀 選	羊歯文鉄飾皿	1982
20	大須賀 選	星河文黒銅色紙筥	1983
21	大須賀 選	水禽盤	1986
22	大須賀 選	草花文南鐙鉢	1992
23	大須賀 選	荒磯文色紙筥	1995
24	大須賀 選	斜線文緑瓶	1996
25	大須賀 選	蜻蛉文黒銅香炉	1997

No.	作家名	作品名	制作年
26	大須賀 選	蜻蛉文黒銅小筥	1999
27	大須賀 選	草花文黒銅簍	2000
28	大須賀 選	瑞雲文鉄香炉	2000
29	大須賀 選	瀑布文鉄花器	2001
30	大須賀 選	赤不二色金薫炉	2005
31	大須賀 選	條線文銅花器	2006
32	大須賀 選	双鶺鴒 銅	
33	北原千鹿	千鹿絵付茶盃	
34	池内荷芳	彫漆 葡萄文飾盆	1952

第2期コレクション展

◆会期 2023年6月24日(土)～9月18日(月・祝) 75日
◆休館日 月曜日(7月17日[月・祝]、9月18日[月・祝]開館)、7月18日(火)
◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 8,223人
◆担当学芸員 毛利直子



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

物語るー記録、ストーリー、歴史 Storyteling -records, stories and histories

美術史や実際の出来事、口承など様々な物語をモチーフにした20点(13作家)を展示。

No.	作家名	作品名	制作年
1	荒木高子	砂の聖書	1983
2	大竹伸朗	ジャリおじさんシリーズ「UBU(ユビュ)」	1994
3	大竹伸朗	ジャリおじさんシリーズ「ジャリおじさんと時間」	1993
4	大竹伸朗	ジャリおじさんシリーズ「ジャリおじさんと女たち」	1992
5	小川信治	恋文	2006
6	川俣 正	デストロイド・チャーチ・プロジェクト、カッセルプラン(C-2)	1986
7	工藤哲巳	広島の化石	1976
8	クリスト	梱包されたライヒスターク	1972
9	鴻池朋子	瀬戸内国際芸術祭2022 大島における「逃走階段」に関する計画資料	2022
10	鴻池朋子	風が語った昔話	2015
11	鴻池朋子	絵本『焚書 World of Wonder』原画	2011
12	寺崎百合子	ニューヨーク州、イサカ	1993
13	寺崎百合子	ヘンリー・サザラン古書店、ロンドン	1997
14	寺崎百合子	ブレズノーズ・コレッジ図書館、オックスフォード	2003
15	照屋勇賢	You-I Flat Work Large	2009
16	橋爪 彩	Les amies	2016
17	平川恒太	Trinititeーサイパン島同胞臣節を全うす	2013
18	森村泰昌	肖像(泉1、2、3)	1986-90

【常設展示室2】

師弟と家族ー太田傳を中心に The master, disciples and families: Focusing on Ota Hitoshi

太田傳を中心に、パートナー、師弟、家族が伝統を受け継ぎ、切磋琢磨する中で制作された26点(8作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	磯井如真	宝玉筆筒	1947
2	磯井如真	蒔醬干菓子盆 遊鳥之図	1963
3	太田 傳	木地蒔醬 食籠	1970
4	太田 傳	藍胎蒔醬 色紙箱	1974
5	太田 傳	藍胎寄木蒔醬盛器 熱帯魚(寄託)	1984
6	太田 傳	藍胎 存清 短冊箱 連翹之図	1987
7	太田 傳	藍胎蒔醬 食籠 朱と白	1990
8	太田 傳	藍胎蒔醬 双色紙箱 潮騒	1991
9	太田 傳	藍胎蒔醬 双色紙箱 豊寿喜	1992
10	太田 傳	藍胎蒔醬 盛器 チェリーポート	1998
11	太田 傳	藍胎蒔醬八角食籠 虫の図	2000
12	太田 傳	藍胎蒔醬 茶箱 浅春	2004
13	太田加津子	蒔醬 硯箱	1969
14	太田加津子	藍胎蒔醬 盛器 草花文	1983
15	太田加津子	藍胎蒔醬 盛器 波文	1986
16	太田加津子	乾漆蒔醬 水指 独楽文	2002
17	大谷早人	藍胎蒔醬 文箱	1989
18	大谷早人	藍胎蒔醬箱 網代文	1997
19	大谷早人	藍胎蒔醬 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
20	初代辻北陽斎	瓢箪絵水指	1920
21	二代辻北陽斎	乾漆水指	1930
22	二代辻北陽斎	蒔絵月影乾漆色紙箱	
23	辻 照二	乾漆 蒔絵 箱	1978
24	辻 照二	乾漆蒔絵小筥	1984
25	辻 照二	乾漆彩色蒔絵短冊箱	1993
26	辻 孝史	乾漆存清八角箱「三兄妹」	2020

第3期コレクション展

◆会期 9月23日(土・祝)～11月12日(日) 44日
◆休館日 月曜日(10月9日(月・祝)開館)、10月10日(火)
◆入場料 一般200円、大学生150円、
65歳以上・高校生以下無料
公益財団法人 川島猛アートファクトリー
◆協力
◆入場者数 5,347人
◆担当学芸員 石田智子(常設展示室1)・高見翔子(常設展示室2)



常設展示室1



常設展示室2

◆ギャラリートーク
【常設展示室1】10月21日(土) 14:00～
【常設展示室2】11月4日(土) 13:00～
講師：石田智子(常設展示室1)・高見翔子(常設展示室2)
参加者数：36人(10/21)、13人(11/4)
◆図録 (p.124)



エントランスホール



チラシ

【常設展示室1】

高松市美術館開館35周年記念 特別企画「川島猛展」 Takeshi Kawashima Exhibition

川島が渡来してから60年間の仕事の軌跡を振り返り、バラエティに富んだ作品28点を展示。代表作はもちろん、川島が手掛けた高松国際ピアノコンクールのポスターや、高松市内の様々な施設にあるパブリックアートの写真や制作資料も紹介。

※エントランスホール、ブランチャラリー (p.123) でも作品展示を行った。

No.	作家名	作品名	制作年
1	川島 猛	N.Y.20	1965
2	川島 猛	1965-09	1965
3	川島 猛	1966-N.Y.5	1966
4	川島 猛	N.Y.201 Red on green and green on Red	1966
5	川島 猛	N.Y.100	1968
6	川島 猛	Red and Black A-A	1968
7	川島 猛	Red and Black A-B	1968
8	川島 猛	Red and Black A-C	1968
9	川島 猛	Three Dimensions	1971
10	川島 猛	Angel Bird	1972
11	川島 猛	Black and White J.T. No.6	1976
12	川島 猛	N.Y.76-J.T.25	1976
13	川島 猛	Skyscraper New York J.T.H. No.1	1976
14	川島 猛	DREAM FLYING	1982-87
15	川島 猛	Skyscraper New York-A	1984
16	川島 猛	Blue and White 1	1987
17	川島 猛	blue and white No.2	1987
18	川島 猛	Blue and White 3	1987
19	川島 猛	Eden-B	1987

No.	作家名	作品名	制作年
20	川島 猛	Dreamland Angel	1988-1991
21	川島 猛	Dreamland July 24	1989
22	川島 猛	DREAMLAND Aug.3	1989
23	川島 猛	DREAMLAND Janu,13 1990	1990
24	川島 猛	DREAMLAND KOJUKA ノ SONO MAY 1991	1991
25	川島 猛	Jan. 31, 95	1995
26	川島 猛	Kaleidoscope - Sukashi	2002
27	川島 猛	June, 2000	2000
28	川島 猛	宇宙環Ⅷ	2017-19

【資料展示】

1	個展(Waddell Gallery, New York, U.S.A)ポスター	1967
2	個展(Waddell Gallery, New York, U.S.A)ポスター	1972
3	「第1～5回高松国際ピアノコンクール」ポスター	2006、2010、2014、2018、2023
4	「第1～5回高松国際ピアノコンクール」ポスター 制作下絵一式	2006
5	高松丸亀町老番街ドーム広場等デザインの制作下絵一式	2006

※No.4、9、14、26、資料1、2、4、5は作家蔵、No.19、24は塩江美術館蔵、No.21、22は蓮井孝夫氏蔵(高松市塩江美術館寄託)、資料3は高松国際ピアノコンクール組織委員会蔵。

【常設展示室2】

漆と色彩—讃岐漆芸にみる顔料の革新

Japanese Lacquer and Colors: Chemical Innovation of Pigments in Sanuki Lacquerware Art

讃岐漆芸における色彩表現の変遷と化学技術の進歩による漆や顔料の革新をテーマに作品28点(9作家)を展示。

No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	印筥	
2	玉椿象谷	堆朱紅葵幀合	1852
3	玉椿象谷	堆朱 御筆薬筥	1851
4	玉椿象谷	堆黒 香盒	
5	藤川秋郊	藍胎紅地堆黒菊花硯匣	1895
6	文綺堂蘭斎	存清重箱	1900頃
7	石井馨堂	紅花緑葉香盆 水草虫之図	1928
8	石井馨堂	紅花緑葉 香盒	
9	石井馨堂	俱利科紙文庫	1928
10	石井馨堂	俱利硯箱	1928
11	森 象堂	堆黄松葉花瓶	1920頃
12	磯井如真	里芋之圖 彫漆花瓶	1936
13	磯井如真	存清 六角香盆	1942・43頃
14	磯井如真	乾漆蒔醤 水指 瀬戸内海之図	1949
15	磯井如真	乾漆 花指	1952
16	磯井如真	彫漆 合唱之圖 硯箱	1954
17	音丸耕堂	彫漆双鯉之圖料紙箱	1934
18	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942
19	音丸耕堂	彫漆蘇織文食籠	1948
20	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950
21	音丸耕堂	彫漆水葵小屏風	1949

No.	作家名	作品名	制作年
22	音丸耕堂	彫漆草花文様八陵食籠	1957
23	音丸耕堂	彫漆水仙手箱	1975
24	大西忠夫	櫛気	1963
25	磯井正美	蒔醤 蕃萌 盛器	1984
26	磯井正美	蒔醤 むらさき 箱	1990
27	磯井正美	蒔醤 紫 水指	1990
28	磯井正美	蒔醤 根都古具佐 箱	1996

第4期コレクション展

◆会期 2023年11月15日(水)～2024年1月20日(土) 53日間
◆休館日 月曜日(1月8日(月・祝)開館)、1月9日(火)、
12月29日(金)～1月3日(水)
◆入場者料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 3,224人
◆担当学芸員 橋美貴

◆ギャラリートーク
日時：11月18日(土) 14:00～
講師：橋美貴
参加者数：21人
◆関連イベント等
照沼敦朗ワークショップ「ペーパーアニメーション」(p.115)



常設展示室1



常設展示室2



チラシ

【常設展示室1】

ワタシを見つめて Gazing into Myself

作家がそれぞれの視点から自らの姿をモチーフにした作品14点(6作家)を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年
1	石原友明	約束Ⅱ	1984/2022
2	石原友明	Untitled	1985
3	郭 徳俊	フォードと郭	1974
4	郭 徳俊	オバマと郭	2009
5	鯉江良二	土に還る	1989
6	照沼敦朗	ミエテルカー	2016
7	照沼敦朗	ミエナイノゾミちゃんとユウモクセイ	2018

No.	作家名	作品名	制作年
8	照沼敦朗	ミエテルノゾム君とユウモクセイ	2019
9	松井えり菜	私クロスオーバー！	2019
10	松井えり菜	エブリデー審判デイズ	2020
11	松井えり菜	le jardin secret	2022
12	森村泰昌	だぶらかし(マルセル)	1988
13	森村泰昌	ポートレイト(九つの顔)	1989
14	森村泰昌	批評とその愛人	1989

【常設展示室2】

100の香合 こんまい世界 100 Incense Cases: Tiny Worlds

当館が所蔵する香合100点(29作家)を一挙に展示。

No.	作家名	作品名	制作
1	石井馨堂	紅花緑葉 香盒	1931
2	石井馨堂	狹貫彫 牡丹図 堆黒香盒	1943
3	石井馨堂	狹貫彫 蕪図 堆朱香盒	1943
4	石井馨堂	讃岐彫	
5	石井馨堂	紅花緑葉 香盒	
6	磯井如真	堆黒香盒 秋趣競味	1940
7	磯井如真	彫漆香合 菜果之図	1940頃
8	磯井如真	堆朱 柿香盒	1941
9	磯井如真	堆朱香盒 豊熟	1941頃
10	磯井如真	堆朱 香盒 百合	1942
11	磯井如真	堆黒香盒 山野競味	1942
12	植田如僊	彫漆香合	1937
13	鎌田稼堂	堆漆 若草 香盒	
14	神崎軒水	堆黒 風月三昆 香盒	
15	玉椿雪堂	堆朱香盒	明治中期
16	玉椿象谷	堆黒香盒	1830頃
17	玉椿象谷	存清香盒	1842
18	玉椿象谷	堆黒 張成 香合	1853頃
19	玉椿象谷	堆朱 香盒	
20	玉椿蔵谷	堆黒香合	1910頃
21	辻 照二	蒔絵香盒	
22	内藤俊一	堆朱 立田香盒	
23	文綺堂蘭斎	堆黒 香盒	
24	森 象堂	堆朱香合 竹之図	
25	山下楊哉	堆黒香合 露莖	
26	石井馨堂	紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒	1928
27	音丸耕堂	讃岐彫 堆漆紅花緑葉香合	1929
28	音丸耕堂	堆黒琳和靖香合	
29	鎌田稼堂	鶴 香盒	
30	佐々竹僊	狹貫彫 堆黒香盒 鳥之圖	1947
31	高橋皖山	風月三昆 福祿壽 圖 紅華緑葉香合	1919
32	玉椿蔵谷	堆朱香合	1910頃
33	森 象堂	紅花緑葉 香合 福寿天来図	1966
34	池内荷芳	堆黒甲虫香盒	1932年
35	池内荷芳	彫漆 虫之圖 香盒	
36	鎌田稼堂	堆黄 かまきり模様香合	昭和初期
37	鎌田稼堂	堆朱 クモ 香合	
38	鎌田稼堂	堆朱 虫 香合	
39	鎌田稼堂	堆黄 蠅螂 香盒	
40	鎌田稼堂	堆黄 香盒	

No.	作家名	作品名	制作
41	鎌田稼堂	堆黒 蜻 香盒	
42	鎌田稼堂	堆黒 蠅螂 香盒	
43	逸見東洲	堆黒 蠅螂 香合	
44	森 象堂	狹貫彫 香合 蝶之圖	
45	石井馨堂	堆朱香盒 葦蟹之図	1927
46	石井馨堂	堆黒香盒	
47	磯井如真	堆黒香盒 海幸之圖	1941頃
48	鎌田稼堂	堆黒 蘆蟹 香盒	1947
49	鎌田稼堂	堆黒葦蟹 香盒	
50	鎌田稼堂	堆黄 海老 香合	
51	鎌田稼堂	堆黒 旭海老 香盒	
52	鎌田稼堂	堆黒地紅海老 香盒	
53	鎌田稼堂	堆黒地紅 香合	
54	山下光雪	蟹香合	
55	石井馨堂	狹貫彫 重香盒	1931
56	石井馨堂	狹貫彫 布袋図 堆朱香盒	1942
57	音丸耕堂	堆朱香盒 雀の御宿	
58	鎌田稼堂	堆朱 唐子香合	
59	神崎軒水	堆朱 魚籃観音 香合	1921
60	作者不明	存星唐児遊 香合	
61	鎌田稼堂	堆黒放牛香合	1940頃
62	高橋皖山	福祿壽 牡丹華之圖 堆黒香盒	
63	石井馨堂	狹貫彫 堆黒忘貝香盒	
64	鎌田稼堂	忘貝 香合	1931
65	鎌田稼堂	堆黒 松ヶ浦 香盒	
66	川上石雲	讃岐彫 堆黒 香盒 忘貝圖	1931
67	高橋皖山	模製 象谷翁作 忘貝圖 堆黒香盒	
68	玉椿象谷	狹貫彫 堆黒 松ヶ浦香合	1851
69	玉椿象谷	狹貫彫 堆黒 松ヶ浦香合	1851
70	玉椿象谷	狹貫彫 堆黒 松ヶ浦香合	1851
71	文綺堂黒斉	堆黒 忘貝香合	昭和初期
72	石井馨堂	堆黒香盒	
73	高橋皖山	手向山圖 堆黒香合	
74	玉椿象谷	讃岐彫 堆朱 手向山香盒	1852
75	玉椿蔵黒	堆黒香盒	
76	音丸耕堂	堆黒 讃岐富士香合	1929
77	北岡省三	彫漆 渦文香合	
78	高木吉直	飯山香合	1922
79	高橋皖山	堆黒香盒	1918年
80	磯井如真	鶴 香盒	1939年

No.	作家名	作品名	制作
81	磯井如真	雉子 香盒	1940
82	磯井如真	木彫 佛手柑香盒	
83	磯井如真	茄子 香盒	
84	岡部敬象	堆漆 香合	
85	岡部敬象	堆漆香合	
86	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950頃
87	音丸耕堂	木彫香盒 蛙	
88	浅田真水	群鶴 香合	
89	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937
90	磯井如真	堆朱 雲鶴 香盒	
91	神崎軒水	堆朱 華甲 香盒	1921
92	後藤 学	梅花 香合	1944
93	後藤 学	百蟹香合	
94	北原千鹿	毛彫雲鶴文 鍍金金香盒毛	1937頃
95	北原千鹿	鯰香合	1940
96	北原千鹿	象嵌 竹二蝶文香盒	1942
97	北原千鹿	未香盒	1943頃
98	北原千鹿	なまづ香盒	
99	内藤四郎	銀渦文香合	
100	内藤四郎	亀甲文銀漆香合	

第5期コレクション展

◆会期 2024年3月9日(土)～3月27日(水) 16日間
◆休館日 月曜日
◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
◆入場者数 1,532人
◆担当学芸員 高見翔子



常設展示室1



常設展示室2



(チラシ／伝統漆芸展)

【常設展示室1】

第41回 日本伝統漆芸展 JAPAN TRADITIONAL Urushi Works EXHIBITION 2024

日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開催。第41回となる本展では、東京・高松・広島の3会場を巡回し、受賞作品7点を含む入選作品全75点を展示。

◆主催 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会
◆後援 文化庁、香川県、香川県教育委員会、朝日新聞社、公益財団法人 岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち

【常設展示室2】

追悼 磯井正美展—伝統から創造へ

Memorial Exhibition of Isoi Masami: From Tradition to New Creation

2023年9月に逝去した重要無形文化財「蒔醤」保持者・磯井正美氏(1926-2023)を偲び、高松市美術館が所蔵する作品全35点を展示。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	磯井正美	捲胎 蒔醤 雲気文 花瓶	1963	25	磯井正美	蒔醤 清明 盛器	1988
2	磯井正美	蒔醤 墨流文香盆	1967	26	磯井正美	蒔醤 曙 平棗	
3	磯井正美	蒔醤 春蘭 箱	1974	27	磯井正美	蒔醤 存清 備讃瀬戸 箱	1982
4	磯井正美	蒔醤 かぎろい 菓子器	1987	28	磯井正美	蒔醤 蒲甘月映合子	1992
5	磯井正美	蒔醤 やぶこうじ 方盆	1999	29	磯井正美	蒔醤 蕃萌 盛器	1984
6	磯井正美	蒔醤彫漆 茜空 手箱	1978	30	磯井正美	蒔醤 扇面文 箱	2014
7	磯井正美	資料「蒔醤彫漆 茜空 手箱 下図」	1978	31	磯井正美	蒔醤 寿盡し 寿司桶	2008
8	磯井正美	蒔醤 つばき文 箱	1994	32	磯井正美	蒔醤 石庭 色紙箱	1979
9	磯井正美	蒔醤 棗		33	磯井正美	蒔醤 石畳 箱	1987
10	磯井正美	蒔醤 黒富士 丸盆	1993	34	磯井正美	蒔醤 櫻花月彩 盆	2000
11	磯井正美	蒔醤 存清 萌芽 水指	1976	35	磯井正美	蒔醤 櫻花惜別 盆	2001
12	磯井正美	蒔醤 存清 林間爽風 箱	1987	36	磯井正美	蒔醤 橘花創成盛器	2006
13	磯井正美	蒔醤 むらさき 箱	1990				
14	磯井正美	蒔醤 紫 水指	1990				
15	磯井正美	蒔醤 あまちゃ 箱	1998				
16	磯井正美	蒔醤 陽炎 丸盆	1972				
17	磯井正美	蒔醤 月あかり 食籠	1973				
18	磯井正美	蒔醤 思草 色紙箱	1987				
19	磯井正美	蒔醤 翁草 菓子器	1995				
20	磯井正美	蒔醤 根都古具佐 箱	1996				
21	磯井正美	蒔醤 五友文 盛器	1997				
22	磯井正美	蒔醤 梅花冬蝶 水指	2004				
23	磯井正美	蒔醤 梅花吸蜜 箱	2003				
24	磯井正美	蒔醤 梅花結実 箱	2004				

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	1	—	1	1	—	3
寄贈	5	—	1	1	—	7
計	6	—	2	2	—	10

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	662	24	242	397	12	1,337
寄贈	175	22	33	203	4	437
計	837	46	275	600	16	1,774

令和4(2022)年度新収蔵作品一覧

上田薫

《液体》

1991年頃
油彩・カンヴァス
181.8×227.3cm
購入



飯川雄大

《デコレータークラブ ―0人もしくは1人以上の観客に向けて》
2024年
バッグ、滑車、ロープ、ウィンチなど
サイズ可変
購入



山下義人

《「山滴る」蒔醤箱》

2014年
漆
13×26×13.5cm
購入



上田薫

《皿の上の炎》

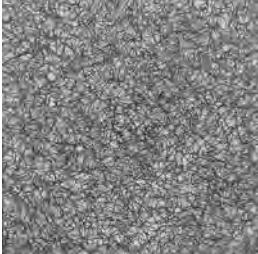
1988年
油彩・カンヴァス
181.8×227.3cm
寄贈



鬼頭健吾

《cosmic dust gold》

2008年
油彩、ラメ・カンヴァス
160×160cm
(寄贈者：株式会社バッファロー代表取締役社長 牧寛之様)

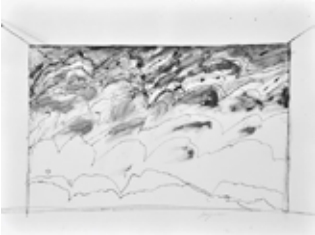


(1) 新収蔵作品(つづき)

野見山暁治

《今朝の海》

1990年頃
インク、グワッシュ・紙
57.2×76.1cm
寄贈



野見山暁治

《樹花》

制作年不詳
ペン、グアッシュ・紙
45.6×60.9cm
寄贈



野見山暁治

《風景》

制作年不詳
ペン、水彩・紙
49.7×65.6cm
寄贈



野見山暁治

《風景》

制作年不詳
ペン・紙
49.6×65.6cm
寄贈



野見山暁治

《無題》

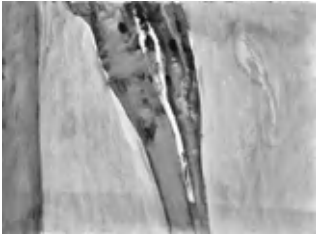
制作年不詳
ペン、グアッシュ・紙
26.1×54.5cm
寄贈



野見山暁治

《波濤》

制作年不詳
ペン、グアッシュ・紙
56.8×76.0cm
寄贈



野見山暁治

《風景》

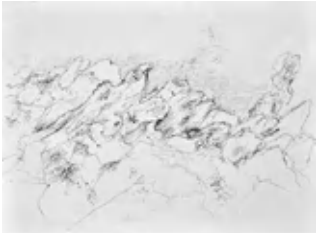
制作年不詳
ペン、水彩・紙
49.5×65.6cm
寄贈



野見山暁治

《風景》

制作年不詳
ペン、グアッシュ・紙
52.1×68.5cm
寄贈



横尾忠則

《Tadanori Yokoo(西村画廊)》

1986年
シルクスクリーン・紙
101×71cm
寄贈



林 康夫

《Brown》

1992年
黒化粧、施釉、陶
25.5×24×21.5cm
寄贈



飯川雄大

《デコレータークラブ ーベリーヘビーバッグ》

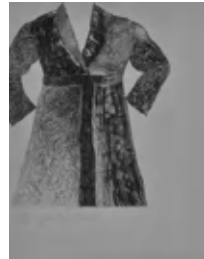
2024年
バッグ
サイズ可変
寄贈



ジム・ダイン

《バスローブ》

1964年
エッチング・紙
56×42.5cm
寄贈



（3） 貸出作品

展覧会名／貸出先／貸出期間／作家・作品名		
開館1周年記念展 デザインに恋したアート♡アートに嫉妬したデザイン	大阪中之島美術館	2023/4/15 ～ 2023/6/18
	村上 隆《Red Rope》	
	小川信治《恋文》	
	イチハラヒロコ《恋する美術だ。》	
	イサム・ノグチ《山つくり》	
	草間彌生《無題（金色の椅子のオブジェ）》	
	田名網敬一《Art expo NEW YORK》	
	赤瀬川原平《大日本零円札》	
	宮島達男《Time in Blue No.16》	
	高松次郎《影時計》	
	小谷元彦《Hollow: Duplex》	
開館60周年記念 Re: スタートライン 1963-70/2023 現代美術の動向展シリーズにみる美術館と アーティストの共感関係	京都国立近代美術館	2023/4/28 ～ 2023/7/2
	ヨシダミノル《JUST CURVE '67 Cosmoplasitic》	
	柏原えつとむ《Silencer 68-1》	
	山本圭吾《別世界への旅》	
境界をこえる	徳島県立近代美術館	2023/4/29 ～ 2023/6/18
	今井俊満《夜の讃歌》	
	白髪一雄《地威星百勝将韓滔》	
	松谷武判《WORK 65-1》	
	木村忠太《トスカナ風景（シエナ郊外）》	
	李禹煥《線より》	
	福田美蘭《陶器》	
	福田美蘭《ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三美神》	
	小林孝亘《Dishes》	
	山口 晃《大山崎交通之圖》	
中国孔二 ソウルメイト	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	2023/6/17 ～ 2023/9/18
	中国孔二《無題》	
	中国孔二《無題》	
走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	京都国立近代美術館	2023/7/19 ～ 2023/9/24
	岐阜県美術館	2023/12/19 ～ 2024/2/18
	岡山県立美術館	2024/2/27 ～ 2024/4/7
	菊池寛実記念智美術館	2024/4/20 ～ 2024/9/1
	山田 光《作品》	
	山田 光《白の間隙》	
	林 康夫《作品 '67-11》	
	佐藤 敏《カブトマン》	
	佐藤 敏《ビットマン》	
	三輪龍作《LOVE》	

令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち 一名作でたどる日本と西洋のアート	熊本県立美術館	2023/07/22 ～ 2023/9/18
	斎藤義重《カラカラ》	
	猪熊弦一郎《鳥と少女》	
	木村忠太《昭和20年8月15日のコンポジション》	
	木村忠太《トスカナ風景（シエナ郊外）》	
	池田龍雄《未開地》	
	北代省三《カストゥールとボルルクス》	
	白髪一雄《地威星百勝将韓滔》	
	田中敦子《作品》	
	中西夏之《コンパクト・オブジェ》	
第30回平櫛田中賞受賞記念展 棚田康司一線上に幅を 空間に愛をー	井原市立平櫛田中美術館	2023/10/6 ～ 2023/11/26
	棚田康司《木の花は星形の台に立つ》	
開館35周年記念 福田美蘭ー美術って、なに？	名古屋市美術館	2023/9/23 ～ 2023/11/19
	福田美蘭《幼児キリストから見た聖アンナと聖母》	
	福田美蘭《侍女ドーニャ・マリア・アウグスティーナから見た王女マルガリータ、ドーニャ・イサベル・ペラスコ、矮人マリア・バルボラ、矮人ニコラシート・ベルトゥサートと犬》	
	福田美蘭《ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三美神》	
	福田美蘭《帽子を被った男性から見た草上の二人》	
	福田美蘭《春景山水図》	
	福田美蘭《夏景山水図》	
	福田美蘭《秋景山水図》	
	福田美蘭《冬景山水図》	
	福田美蘭《慧可断臂図 折かわり絵》	
蒔醤の軌跡をたどる 磯井正美展	香川県漆芸研究所	2023/12/21 ～ 2024/1/28
	磯井正美《蒔醤 むらさき 箱》	
回復する	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	2023/12/23 ～ 2024/3/10
	大岩オスカール《虹》	
アブソリュート・チェアーズ	埼玉県立近代美術館	2024/2/17 ～ 2024/5/12
	愛知県美術館	2024/7/18 ～ 2024/9/23
	草間彌生《無題（金色の椅子のオブジェ）》	
	フランス・ペーコン《座れる人物》	
	フランス・ペーコン《Triptych（三連画）1974-77》	

（4） 図書

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	63	35	1	5	104
寄贈	62	81	402	288	833
計	125	116	403	293	937

(1) 講演会

- (1) 講演会等
- ◆記念対談「フィンランドの記憶」
※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連(p.91)
 - ◆記念講演「日本語を学ぶフィンランド人、フィンランドからみた日本」
※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連(p.91)
 - ◆記念対談「上田薫の絵画」
※特別展「上田薫展」関連(p.93)
 - ◆記念講演会「あなたは誰？描かれた「モデル」から読み解く近現代美術」
※特別展「国立美術館巡回展」関連(p.95)
 - ◆記念講演会「川瀬巴水の版画世界」
※特別展「川瀬巴水展」関連(p.97)

アートアドバイザー講座

原久子(当館アートアドバイザー)を講師とした講座「アートアドバイザー講座」を開催した。

日時：毎回11：00～12：00
対象：高校生以上
場所：1階講堂
受講料：無料

	開催月日	参加者数
自画像をめぐって	12月23日(土)	43
風景画による旅	3月20日(水・祝)	21
		計64人



(2) 鑑賞・ワークショップ

- ◆スプーンのなかの世界
展示を鑑賞してスプーンに映り込む世界を画用紙に描いた。
※特別展「上田薫展」関連

日時：7月16日(日) ①10：00～12：00 ②14：00～16：00
講師：松尾真由美(美術家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：3階講座室
参加者数：延べ33人
- ◆SHINJINGで絵を描こう！
名前(ファーストネーム)をローマ字で書き、その文字の線をもとに絵を描く"SHINJING"に挑戦。
※特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」関連

日時：7月22日(土) 13：00～14：30
講師：小川信治(美術家)
参加費：500円
対象：小学生以上
場所：3階講座室
参加者数：11人



(2) 鑑賞・ワークショップ(つづき)

- ◆かく・みる冒険 筆談鑑賞
聞こえる人、聞こえない人、聞こえにくい人が、展示室で古賀春江《海》、カンディンスキー《全体》を見た後、両作品の図版を印刷した大きな紙に文字を書き、作品をめぐる筆談を展開した。
※特別展「国立美術館巡回展」関連

日時：10月14日(土)①10：30～12：00 ②13：30～15：00
進行役：小笠原新也(耳の聞こえない鑑賞案内人)
参加費：無料(観覧券要)
対象：小学生以上。どなたでも(聞こえない人、聞こえにくい人など)
場所：1階講堂、2階展示室
参加者数：8人
※手話通訳あり
- ◆みるって何だろう？一見えない・見えにくい人と共に行う美術鑑賞会
見える人、見えない人、見えにくい人が、展示室で対話をしながら作品鑑賞をした。
※特別展「国立美術館巡回展」関連

日時：10月15日(日) 10：00～12：00
進行役：朝倉茂樹(香川県立視覚支援学校教員)
アドバイザー：日野陽子(京都教育大学美術科准教授)
協力：香川県立視覚支援学校
参加費：無料(観覧券要)
対象：中学生以上。どなたでも(見えない人、見えにくい人など)
場所：1階講堂、2階展示室
参加者数：延べ18人
- ◆照沼敦朗ワークショップ「ペーパーアニメーション」
参加者がキャラクターを描いて、皆でアニメーションを制作した。
※「第4期コレクション展」関連

日時：12月10日(日) 13：30～16：00
講師：照沼敦朗(美術家)
参加費：500円
対象：小学生
場所：3階講座室
参加者数：9人
- ◆陰刻版画に挑戦！
彫刻刀で木版を彫り、複数色の絵具を使ってカラフルな版画作品を制作した。
※特別展「川瀬巴水展」関連

日時：2月10日(土) 10：00～13：00
講師：下村 宏(版画家)
参加費：500円
対象：小学4年生以上
場所：3階講座室
参加者数：15人
- ◆ココロ絵日記『さんきゅうサンキュー』を描こう！
各参加者にとって好きな人やモノ、そして大切な思い出を、フィンガーペイントで作った背景の上に描いた。

日時：2月18日(日)10：00～11：30
講師：辻野由樹(イラストレーター)
参加費：1,000円(材料費含む)
対象：高校生以上
場所：3階講座室
参加者数：9人
- ◆春色のきもちを絵がこう！
①春をイメージしたオーナメントとローラーで背景を描いた。
②子どもと高齢者が1組になり、春のオーナメントと一緒に制作した。

日時：2月24日(土)
①10：00～11：30 ②13：30～15：00
講師：谷 由貴(芸術士)
参加費：無料
対象：①年中～小学1年生 ②年中～小学1年生及び概ね65歳以上
場所：3階講座室
参加者数：延べ58人
- ◆サマカイトを鳴らして美術館の開館・閉館音楽づくりに参加しよう！
参加者が鳴らしたサマカイトの音などを編集して、美術館の新しい開館・閉館音楽を制作した。

日時：3月3日(日) 13：00～14：30
講師：野村 誠(音楽家)
参加費：無料
対象：どなたでも
場所：1階講堂
参加者数：延べ56人



(2) 鑑賞・ワークショップ(つづき)

◆クレヨン☆スクラッチでかこう！

色を塗り重ねてからペンなどで引っかき下の色を出すスクラッチ技法を使って作品を制作した。

日時：3月10日(日)①10：00～11：30 ②14：00～15：30

講師：うにのれおな(イラストレーター)

参加費：500円

対象：5歳～小学生

場所：3階講座室

参加者数：延べ24人



◆平子雄一ワークショップ「地産の物を使って、身の回りにある大切なものを描こう！」

身近な食品をパウダーにしたものでオリジナルの絵の具を作り、参加者一人一人の身の回りにある大切なものを描いた。

日時：3月30日(土)11：00～16：00

講師：平子雄一(現代美術家)

参加費：1,500円(材料費含む)

対象：小学生以上

場所：3階講座室

参加者数：28人



子どものアトリエ

場所：記載のないものは3階講座室

◆「サカナ型彫刻をつくろう！」

石膏を使って、魚型の彫刻(レリーフ)を作った。

日時：7月23日(日) ①10：00～12：00 ②14：00～16：00

講師：さとうゆうじ(美術家)

参加費：1,000円

対象：小学生以上

参加者数：延べ33人



◆「ハロウィンおばけな紙版画を刷ろう！」

銅板の代わりにボール紙を用いてペーパードライポイントに挑戦した。

日時：10月29日(日) ①10：00～12：00 ②14：00～16：00

講師：小松智香(版画家)

参加費：1,000円

対象：①5歳～小学2年生 ②小学3年生以上

参加者数：延べ18人



こども+ (プラス)

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより新設された「こども+ (プラス) (こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント

「ふらっとアート」

日時：毎週木・土曜日 12：00～16：00

企画：当館学芸員

	開催期間	参加者数
1.ペーパーストローでヒンメリをつくろう	4/15(土)～6/11(日)	2,295
2.パカッと玉子カードをつくろう	7/15(土)～9/18(月・祝)	627
3.ガイコツ飾りをつくろう！	10/3(火)～10/31(火)	300
4.グリーティングカードをつくろう！	11/1(水)～1/8(月・祝)	533
5.ハンコでつくる屋島カレンダー	1/24(水)～3/6(水)	1,244
		計5,019人



(3) パフォーマンス・その他

◆図録サイン会

※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連

日時：4月15日(日)午前／午後

出演：石本藤雄(テキスタイルデザイナー、陶芸家)・平井千里馬(スコープ代表)

場所：1階エントランスホール

参加費：無料

参加者数：138人



◆子ども鑑賞プログラム

学芸員とともに展覧会を鑑賞。

※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連

日時：5月6日(土) 10：30～11：30

講師：当館学芸員

対象：小学生以下(未就学児は保護者同伴)

場所：2階展示室、こども+

参加費：無料

参加者数：4人



◆はじめての「ノルディック・ウォーキング」

2本のポールを使って歩くフィンランド発祥のスポーツを体験。

※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連

日時：5月27日(土) 10：00～11：30

講師：木内ひとみ(日本ノルディックフィットネス協会ベーシックインストラクター、香川フィンランド協会会員)

対象：小学生以上、初心者

場所：高松市中央公園ほか

参加費：800円(ポール貸出料含む)

参加者数：4人



◆エントランス・ミニコンサート「Earth ～光と影の交錯する大地への祈り～」

※特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連

日時：6月3日(土) 13：30～14：00

出演：藤田哲志(フルート)、松繁哲朗(サクソ)、林千景(マリンバ)、大山まゆみ(ピアノ)

場所：1階エントランスホール

参加費：無料

参加者数：230人



◆出張美術館

各会場で上田薫の小作品を展示したほか、子ども向け工作ワークショップを開催した。

※特別展「上田薫展」関連

6月22日(木)牟礼コミュニティセンター／石田智子(当館学芸員)／60人

参加費：無料

7月3日(月)山田総合センター／石田智子(当館学芸員)／46人

参加費：無料



◆託児サービス

※特別展「上田薫展」関連

日時：7月16日(日) 13：00～16：00

協力：託児ボランティアあゆみ

場所：こども+

対象：小さなお子様(6カ月～未就学児)がいる保護者の方

料金：無料

参加者数：4人

◆エントランス・ミニコンサート「Soundscapes in Summer」

※特別展「上田薫展」関連

日時：8月5日(土) 13：30～14：00

出演：香川大学ウィンド・アンサンブル

協力：香川大学

監修：青山夕夏

場所：1階エントランスホール

参加費：無料

参加者数：156人



(3) パフォーマンス・その他(つづき)

◆**エントランス・ミニコンサート「Les vents de la musique moderne(近代音楽の風)」**
※特別展「国立美術館巡回展」関連
日時：10月7日(土) 14：00～14：30
出演：見垣佑介(ファゴット)、長岡佐和・小林遼香(ピアノ)、三好結愛(フルート)、青山夕夏(監修/フルート)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：82人



◆**東京国立近代美術館の対話鑑賞プログラム「ギャラリートーク」**
※特別展「国立美術館巡回展」関連
日時：11月8日(水)①10：00～10：50 ②13：30～14：20
進行役：細谷美宇(東京国立近代美術館研究員)
場所：2階展示室
参加費：無料(観覧券要)
参加者数：延べ18人



◆**東京国立近代美術館の対話鑑賞プログラム「オンライン鑑賞会」**
※特別展「国立美術館巡回展」関連
日時：11月11日(土) 11：00～11：45
進行役：東京国立近代美術館ガイドスタッフ
場所：オンライン
参加費：無料
参加者数：延べ14人



◆**記念パフォーマンス**
展示室内で作品からのインスピレーションをもとに鍵盤ハーモニカで即興演奏した後、エントランスホールに移動し、ピアノ演奏をした。
※特別展「国立美術館巡回展」関連
日時：11月19日(日) 17：00～18：00
出演：野村 誠(音楽家)
場所：2階展示室
参加費：無料(観覧券要)
参加者数：26人
※塩江美術館でもパフォーマンス開催(p.160)



◆**リングワンデルングを歩く(大島)**
日時：11月25日(月) 13：00～14：30
講師：当館学芸員
場所：大島
参加費：無料
参加者数：3人



◆**新版画の摺りの実演**
※特別展「川瀬巴水展」関連
日時：2月18日(日) 13：00～14：30
出演：[摺り]渡辺英次(摺師)、[解説]渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗代表取締役)
場所：1階エントランスホール
見学：無料
参加者数：227人



◆**ミニコンサート「美しき日本の心を歌う～日本の四季を巡って～」**
※特別展「川瀬巴水展」関連
日時：2月24日(土)13：30～14：00
出演：藤田哲志(フルート)、三木ユリ(メゾソプラノ)、三木伸哉(バリトン)、大山まゆみ(ピアノ)
場所：1階エントランスホール
参加費：無料
参加者数：208人



◆**野村 誠コンサート「音楽の未来を作曲する～サヌカイト／即興／村山壽子」**
開館35周年を記念し、作曲家・野村 誠が香川特産の音の出る石・サヌカイト、高松市出身の童話作家・村山壽子(むらやまかずこ／1903～46)などを題材にした新曲を含む5曲を披露。演奏に先立って開催されたワークショップ(p.115)では、参加者が鳴らすサヌカイトの音や音声が録音され、後日野村により美術館の新しい開館閉館音楽が制作された。



プログラム
①《鍵盤ハーモニカ・イントロダクション》2013年 演奏：野村 誠(鍵盤ハーモニカ、声)
②《高松市美術館のための3つの即興曲》2024年(世界初演) 演奏：野村 誠(ピアノ)、加藤綾子(ヴァイオリン)
③《ライオンの大ぞん 村山壽子の童話による合唱曲》2024年(世界初演) 演奏：野村 誠(ピアノ)、加藤綾子(ヴァイオリン)、高松市立国分寺・山田中学校合唱部(合唱)
④《石の意図＝糸の意志》2024年(世界初演) 演奏：野村 誠(サヌカイト、箏)、白杵美智代(サヌカイト、箏)
⑤《おむすび山の磬の祈り》2024年(世界初演) 演奏：野村 誠(ピアノ)、白杵美智代(サヌカイト)、加藤綾子(ヴァイオリン)

日時：3月3日(日) 17：15～18：30
出演：野村 誠(ピアノ、鍵盤ハーモニカほか)、加藤綾子(ヴァイオリン)、白杵美智代(サヌカイト)、高松市立国分寺・山田中学校合唱部
場所：1階エントランスホール
参加者数：230人

エントランス活用事業(公募)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。(初年度 令和4年度)

	開催日	主催団体	参加者数
1. ひびきの空間と目 (出演：藤原清登及び伊藤千枝子)	11月25日(土)	Gargantua	77
2. 音楽のミニアチュール クリスマスコンサート	12月3日(日)	高松交響楽団	363
3. 高松市美術館で踊る社交ダンスのひとつ	12月9(土)	高松市社交ダンス同好会	127
4. Fasshon Collaboration 2023 ファッションショー (2回公演)	12月24日(日)	吉田愛服飾専門学校	371
5.Saxophone Ensemble Concert	1月20日(土)	ダッパースクセーバーズ	217
6. 栗っ子コーラスコンサート ～みんなの歌で笑顔のわを広げよう～	3月10日(日)	栗林小学校合唱部	279
7. 高松から世界旅行 (出演：青柳妃姫及びかとうかなこ)	3月16日(土)	高松から世界旅行実行委員会	102
8. 美術館コンサート ー和楽器で描く四季の風景ー	3月17日(日)	邦楽アンサンブル煌	217
9. 祈りの音楽 (出演：片山智夫及び藤川孝子)	3月24日(日)	ブルーエン・アンサンブル	45
			計1,798人

美術館の日

平成21年度より美術館の開館記念日(1988年8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会の観覧料を無料にしたほか、「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。

8月5日(土)	参加者数
特別展	1,262
コレクション展	837
展示室での鑑賞を促す	391
鑑賞カード	
ふらっとアート	241
ミニコンサート	156
計2,886人	



(4) 学校との連携

◆高松短期大学前期授業「芸術文化」(全15回)
日時：4月6日(木)～7月22日(土) 9：00～10：30
参加者：高松短期大学秘書科学生履修者
場所：高松大学、美術館展示室



◆学校と美術館のためのプログラム
小学校等を対象とした学習プログラムを紹介した後、学校と美術館の活用について意見交換を行った。

日時：4月30日(日)
参加者：教員ほか
場所：美術館講堂・展示室
参加者数：2人



◆香川県中学校教育研究会美術部会高松支部「夏季実技研修会」
日時：7月27日(月)
参加者：市立中学校美術教員
場所：美術館講堂・展示室
参加者数：24人

◆ハロウィン・フォトスポットの制作及び展示
日時：9月1日(金)～10月31日(火)
参加者：高松市立勝賀・玉藻・古高松中学校美術部員
場所：各学校・美術館中2階ロビー
参加者数：87人



◆中学生職場体験学習
期間：9月～10月
参加者数：延べ11人(高松市立国分寺中学校2名、高松市立龍雲中学校2名、
高松市立太田中学校3名、高松市立玉藻中学校2名、高松市立山田中学校2名)

◆おでかけ美術館
※特別展「上田薫展」関連
作家の作品を学校に持参して鑑賞プログラムの展開や、イベントに関連した作品制作をした。
石田智子・川染奈緒・坂東美穂(当館学芸員)

学校	開催月日	参加者数
下笠居小学校	6月26日(月)	86人
亀阜小学校	6月27日(火)	90人

鴻池朋子の作品を学校に持参して鑑賞プログラムの展開や、イベントに関連した作品制作をした。
石田智子・福田千恵(当館学芸員)

学校	開催月日	参加者数
鶴尾小学校	2月19日(月)	23人
下笠居小学校	2月27日(火)	70人
紫雲中学校	3月1日(金)	19人
亀阜小学校	3月6日(水)	175人



美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松―美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校47校、参加者数1,480人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
牟礼北小学校	6月7日(火)	78
中央小学校	6月8日(水)	96
中央小学校	6月9日(木)	61
屋島小学校	6月14日(水)	51
川島小学校	7月4日(火)	80
植田小学校	7月5日(水)	14
木太北部小学校	7月7日(金)	68
国分寺南部小学校	9月8日(金)	108
鶴尾小学校	9月14日(木)	18
檀紙小学校	9月15日(金)	97
下笠居小学校	10月20日(金)	46
東植田小学校	11月1日(水)	6
国分寺北部小学校	12月8日(金)	109
円座小学校	1月11日(木)	64
円座小学校	1月12日(金)	64
計13校		960人

(5) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
9月6日(水)	NPO法人川東校区コミュニティ協議会	坂東美穂・川染奈緒	36
9月20日(水)	栗林地区老人クラブ連合会	坂東美穂・川染奈緒	43
12月5日(火)	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	坂東美穂・川染奈緒	7
12月12日(火)	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	坂東美穂・川染奈緒	8
2月8日(木)	社会福祉法人 高松市社会福祉協議会香川)	坂東美穂・川染奈緒	10
2月13日(火)	社会福祉法人 高松市社会福祉協議会香 南老人介護支援センター)	坂東美穂・川染奈緒	23
3月13日(水)	社会福祉法人 高松市社会福祉協議会高 齢者支援推進事業	坂東美穂・川染奈緒	20

計147人



(6) インターンシップ・ボランティア

◆香川県立高松工芸高等学校インターンシップ
日程：7月5日(水)～7月7日(金)
参加者数：6名

◆高松市役所インターンシップ
日程：8月9日(水)～8月13日(日)
参加者数：2名

◆せとうち観光専門職短期大学臨地実務実習
日程：11月7日(火)～11月23日(木・祝)
参加者数：2名

◆高松市新規採用職員研修会
日程：11月9日(木)
参加者数：40名

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保安全管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：8月1日(火)～8月6日(日)
参加者数：9人(甲南女子大学1名、京都芸術大学1名、多摩美術大学1名、徳島文理大学1名、東京学芸大学1名、東北芸術工科大学1名、武蔵野美術大学1名、神戸芸術工科大学1名、筑波大学1名)
*博物館実習生によるマイ展覧会企画の発表を中2階ロビーで開催した。

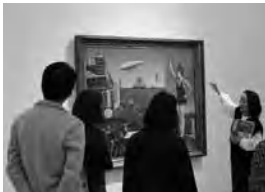
ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動が続けている。

◆登録者数：18人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
フィンランドのライフスタイル	6	141
上田薫展	7	142
上田薫展 *おしゃべり鑑賞会	2	32
国立美術館巡回展	6	118
国立美術館巡回展 *おしゃべり鑑賞会	2	28
川瀬巴水展	5	276
	計28回	計737人



◆その他の活動

開催月日	活動内容
8/5	「美術館の日」アシスタント
10/14	国立美術館巡回展関連イベント「かく・みる冒険 筆談鑑賞」アシスタント
10/15	国立美術館巡回展関連イベント「みるって何だろう?—見えない・見えにくい人と共に行う美術鑑賞会」アシスタント
10/29	ハロウィン・プログラムワークショップ「ハロウィンおばけな紙版画を刷ろう!」アシスタント
10/29	ふらっとアート「ガイコツ飾りをつくろう!」アシスタント
12/2	研修旅行(栗林公園)(ガイド:松尾正伸[civi])
2024/2/10	川瀬巴水展 関連イベント「陰刻版画に挑戦!」アシスタント
2/24	ワークショップ「春色のきもちを絵がこう!」アシスタント

(7) 商店街との連携

サポートショップ

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、平成24年度から実施している。
美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供する。また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供する。
令和3年度からは、各商店街組合の協力の下、加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

◆展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗(商店街組合加盟店)
約740店舗

◆サポートショップ加盟店舗(商店街組合非加盟店も含む)
34店舗

◆割引利用者数
延べ345人

ランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松市美術館の新しい展示空間「ランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。

展覧会名	会期
フィンランドのライフスタイル展関連展示 山本睦子「A place for good news」	4月15日(土)～6月11日(日)
「G7香川・高松都市大臣会合」関連展示(藤 浩志作品展示)	6月12日(月)～7月21日(金)
特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」	7月22日(土)～9月18日(月・祝)
高松市美術館開館35周年記念 特別企画「川島猛展」	7月22日(土)～9月18日(日)
三村昌道展「Time to be in the snow」	11月12日(月)～1月8日(月・祝)
	*展示替有り
辻野由樹展「エト」	1月9日(火)～3月1日(金)
谷由貴ワークショップ「春色のきもちを絵がこう!」展	3月2日(土)～4月14日(日)



フィンランドのライフスタイル展関連展示 山本睦子「A place for good news」



「G7香川・高松都市大臣会合」関連展示(藤 浩志作品展示)



特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」



高松市美術館開館35周年記念 特別企画「川島猛展」



三村昌道展「Time to be in the snow」



辻野由樹展「エト」



谷由貴ワークショップ「春色のきもちを絵がこう!」展

讃岐おもちゃ美術館との連携

高松丸亀町商店街の「丸亀町くるりん駐車場」の1階に2022年4月にオープンした「讃岐おもちゃ美術館」との連携事業として、「讃岐おもちゃ美術館」の玩具を中2階で紹介展示するほか、相互のイベントチラシ等を各館内に配架した。



(1) その他の印刷物

◆『高松市美術館開館35周年記念 特別企画 川島猛展』図録
企画・編集：石田智子、毛利直子(高松市美術館)
パブリックアートマークデザイン：亀元真弓(高松市美術館)
デザイン：スタジオ・トリノ
印刷：株式会社ムレコミュニケーションズ
発行：高松市美術館
発行日：2023年9月23日
仕様：A5判、36頁



◆年間スケジュール
発行：2023年3月

(2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

◆ホームページ
URL：https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/index.html
アクセス件数：162,339件

◆Facebook (@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：136件
フォロワー数：1,233人

◆Instagram (@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設
年間投稿件数：55件
フォロワー数：5,195人

◆X (旧Twitter) (@takamatsu_art_m) 2020年7月24日開設
年間投稿件数：506件
フォロワー数：2,015人

◆YouTube @takamatsu_art_m) 2020年7月24日開設
年間投稿件数：10件
フォロワー数：465人
年間視聴者数：16,355人

次田吉治
◆執筆
論文「長町竹石筆「米法山水図」をめぐる考察 ―野呂介石との交友関係の解明を主眼に―」(東京国立博物館研究誌『MISEUM』第704号)(2023年6月発行)

原 久子
◆その他
アートアドバイザー講座vol.1「自画像をめぐって」(2023年12月23日)
アートアドバイザー講座vol.2「風景画による旅」(2024年3月20日)

牧野裕二
◆執筆
「高松の近現代美術をめぐる断片的スケッチ」、「第4章 拡大する表現―1950-60年代」章解説『令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート』図録(2023年)
「高松市美術館は開館三十五周年を迎えました」『香川教育会報』第132号、公益社団法人香川県教育委員会、2023年12月、表紙
◆その他
「高松市美術館を巡る研修旅行」事前レクチャー(笠岡市立小野竹喬美術館友の会 2023年10月9日)

石田智子
◆執筆
作品解説「33. パウル・クレー」「38. マルク・シャガール」「68. 山下菊二」『令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート』図録(2023年)
「上田薫展に寄せて」、「第1章 初期作品 抽象、デザイン、そしてスーパーリアルへ」「第2章 誰も見たことのないリアル―瞬間を描く」「第3章 誰も見たことのないリアル―透明を描く」「第4章 自然をみつめて」「第5章 描く記憶と現在」、「コラム①複製されるイメージ」「コラム②《皿の上の炎》(1988)」「コラム③自画像」『開館35周年記念 特別展 上田薫展』図録(2023年7月15日)
「讃岐漆芸における意匠の変化についての研究 ―帝展美術工芸部門設置の影響を中心に―」『鹿島美術研究』年報第39号別冊(2023年7月31日)
「街に息づくアート」『高松市美術館開館35周年記念 特別企画 川島猛展』図録(2023年9月23日)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

橋 美貴
◆執筆
作品解説「25. オーギュスト・ロダン」「27. アンリ・ルソー」「31. アンリ・マティス」『令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート』図録(2023年)
「花ひらく石本藤雄の陶」(artscape) (WEB)(2023年6月1日)
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師
「DREAM STATE」アーティストトーク モデレーター、Syndicate (高松、香川) (2023年11月17日)

高見翔子
◆執筆
「第2章「憧れ」の西洋美術」章解説、作品解説「34. イヴ・タンギー」「35. ワシリー・カンディンスキー」「37. パブロ・ピカソ」「50. 斎藤義重」「59. 北脇昇」「60. 岡本太郎」「66. 河原温」「70. 山口勝弘」「72. 白髪一雄」「76. 中西夏之」「78. 菊畑茂久馬」「80. 高松次郎」『令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート』図録(2023年)
◆その他
「ヴィデオ彫刻における物質性」(口頭発表、査読有)、関西学院大学美学学術学会(2024年2月10日)
小川愛個展「ストンと落ちて、そこにある」オープニングトークゲスト、gallery N (名古屋、愛知) (2023年5月13日)
「ミッシングリンク/Missing link」アーティストトーク モデレーター、Syndicate (高松、香川) (2024年1月26日)

毛利直子
◆執筆
「分かち合うアート―川島猛と高松市美術館」『高松市美術館開館35周年記念 特別企画 川島猛展』図録(2023年9月23日)
「ウチダリナ」『VOCA展2024 現代美術の展望―新しい平面の作家たち』図録(2024年)
◆その他
せとうちアートセミナー講師「橋と美術館―その変遷と多彩な美との共存について」本州四国連絡高速道路株式会社主催(2023年4月15日)
森林バイオマス利用セミナー 2023講師「讃岐漆芸について」(2023年9月8日)
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師
令和5年度「CONNECT」事業の企画・運営業務に係る企画案審査委員
「VOCA展2024 現代美術の展望―新しい平面の作家たち」推薦委員
詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょに」選考委員
高知県立美術館資料収集審査会委員
令和6年度大学における文化芸術推進事業協力者

福田千恵
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

坂東美穂
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

川染奈緒
◆その他
高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

(1) 主催事業

特別展							
			フィンランドのライフスタイル展	上田薫展	国立美術館巡回展	川瀬巴水展	計
有料	通常	一般	10,138	4,538	3,591	7,214	25,481
		大学生	260	427	108	253	1,048
	割引	一般	604	456	309	566	1,935
		大学生	195	114	84	55	448
	前売	一般	609	110	286	596	1,601
		大学生	2	5	2	6	15
	共通定期観覧券		492	382	547	628	2,049
	小計		12,300	6,032	4,927	9,318	32,577
無料	高校生		703	404	251	255	1,613
	中学生		201	417	102	72	792
	小学生		795	1,112	317	211	2,435
	就学前		407	275	61	62	805
	小計		2,106	2,208	731	600	5,645
免除	大学生 他		201	122	50	0	373
	引率者		71	67	29	8	175
	障がい者介添人		612	441	371	568	1,992
	行政視察		1	13	5	2	21
	小計		885	643	455	578	2,561
招待券等			904	1,504	549	557	3,514
観覧者総数			16,195	10,387	6,662	11,053	44,297
1日当たり入場者数			324	182	151	299	236
夜間（火～土曜日の17時～19時）			233	222	70	110	635

			コレクション展					
			第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	計
有料	通常	一般	571	884	696	1,034	620	3,805
		大学生	40	110	46	109	83	388
	割引	一般	11	38	42	28	34	153
		大学生	1	1	0	0	0	2
	共通定期観覧券		243	234	301	159	97	1,034
	小計		866	1,267	1,085	1,330	834	5,382
無料	高校生		444	243	155	116	82	1,040
	中学生		83	266	55	43	12	459
	小学生		464	892	254	379	15	2,004
	就学前		107	158	48	44	10	367
	小計		1,098	1,559	512	582	119	3,870
免除	大学生 他		127	83	51	23	0	284
	引率者		56	44	26	15	6	147
	長寿		358	454	548	539	483	2,382
	障がい者介添人		207	214	208	98	44	771
	行政視察		0	12	3	0	2	17
	小計		748	807	836	675	535	3,601
	招待券等		5,359	4,590	2,914	637	44	13,544
観覧者総数		8,071	8,223	5,347	3,224	1,532	26,397	
1日当たり入場者数		126	110	122	61	96	105	
夜間（火～土曜日の17時～19時）		143	227	91	14	0	475	

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	398	713	415	833	1,306	1,170	669	585	543	739	738	653	8,762
開室日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	25	27	309

こども+（プラス）													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	622	1,099	646	266	168	253	300	191	292	360	734	414	5,345
開室日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	25	27	309

(2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第49回高松市民美術展	4/4～4/9	6	1,280
第15回記念展 一楽会書展	6/16～6/18	3	861
第30回由源香川書展	6/17～6/18	2	2,214
独立美術四国会展	6/27～7/2	6	516
島田三光コレクション 生誕150年 河東碧梧桐展	7/4～7/9	6	1,234
第64回墨華書道展	11/24～11/26	3	1,450
第4回想いをカタチに今できること 美術公募展2023	12/8～12/10	3	613
2023 香川県美術家協会展	12/12～12/17	6	1,179
第50回毎日書道学会展	12/22～12/24	3	770
令和5年度高松市教育文化祭展覧会	1/12～1/14	3	5,145
令和5年度香川県小・中学校総合文化祭 展覧会	1/12～1/14	3	5,540
第40回香川県高等学校総合文化祭 美術・工芸展	1/18～1/21	4	987
第40回香川県高等学校総合文化祭 書道展	1/18～1/21	4	938
第10回ふるさと美術展	1/24～2/4	11	1,882
第19回讃岐入木会展	2/9～2/11	3	668
第32回道香社書作展(併催 ジュニア書展)	2/23～2/25	3	684
言の葉書会展 井上志幽書展絵に書を 志幽・義子展	3/1～3/3	3	704
計17展		72	26,665

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
白井富代懐古展	4/4～4/9	6	540
第20回 グループ版展	4/25～4/30	6	613
磁器上絵付展 Vol.5 ヴィクトリアな食卓	5/9～5/14	6	797
言の葉書会展	5/19～5/21	3	651
星野文昭・暁子 絵と詩展	5/26～5/28	3	166
城福正人 その後のあしあと展	6/7～6/10	4	354
第49回 チャーチル会高松展	6/13～6/18	6	626
集―tsudoi―展 身近な墨の色と香り	6/20～6/25	6	442
ソコトル・ム コども・おとな絵画塾 岩本敬子絵画教室作品展	6/27～7/2	6	627
「りあん」の建築模型展	7/14～7/16	3	319
第65回日本水彩画会香川県支部展	7/25～7/30	6	590
フォトアーキベラゴ写真学校 第8期修了作品展	8/20～8/27	7	826
第49回 文化書道四国連合会書道展	9/2～9/3	2	405
星野文昭・暁子 絵と詩展	9/8～9/10	3	130
尾藤正樹とアイビー絵画教室作品展	9/12～9/16	5	222
第12回 グループ尚作品展	9/26～10/1	6	542
第13回 グループひかり絵画展	10/4～10/9	6	395
La copain 5th Anniversary Exhibition	10/11～10/15	5	429
第6回 友墨会展	10/17～10/22	6	567
三人展「絵筆をもつとき」	10/24～10/29	6	565
第29回 サロン・エウスン絵画展	10/31～11/5	6	912
新協美術会香川支部 第20回 近作展	11/7～11/12	6	784
創元会 香川支部展	11/14～11/19	6	801
フクロウ絵画展	11/21～11/26	6	676
イトヨリつむぐmomento	11/28～12/3	6	205
2023木犀書展 一繋ぐー	12/8～12/10	3	548
香川県立高松工芸高等学校 美術科作品展	12/12～12/17	6	830
Fashion Collaboration 2023 UNLEASH	12/19～14/25	6	530
第45回香川県高等学校美術・工芸教員作品展	1/19～1/25	7	760
ソバハニアートラグコレクション展 時の糸	1/27～2/4	8	774
第13回英明高等学校 美術デザイン系展	2/7～2/12	6	1,008
香川大学創造工学部造形メディアデザインコース卒業展示会	2/21～2/24	4	711
第41回 新構造社 香川支部展	3/12～3/17	6	694
Seto grapher-F Photograph Exhibition	3/26～3/31	6	545
計34展		183	19,584

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0	240	280	312	20	270	120	265	260	190	40	290	2,287
利用回数	0	4	5	9	1	3	3	4	6	3	1	5	44

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	419	460	530	494	383	593	555	497	392	464	447	447	5,681
利用回数	33	31	32	33	25	40	38	35	28	34	35	34	398

高松市塩江美術館

／ 令和 3 (2021) 年度

／ 令和 4 (2022) 年度

／ 令和 5 (2023) 年度

Swing ! Swing !! 大島よしふみ彫刻展

大島よしふみは、1979年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻を修了後、地元香川での活動にこだわり、制作・発表活動を行ってきました。香川県観光キャラクター《親切な青鬼くん》や瀬戸大橋記念館の《KOCHI》など、多くのパブリックアート制作により、大島作品は広く親しまれています。

そして、2010年に始まった「瀬戸内国際芸術祭2010」には、『オンパファクトリー』を結成し参加したことで、大きな転機を迎えます。男木島に移住するとアーティスト仲間と『TEAM男気』を結成して、漁師の伝統「躍り込み」をイベントとして復活させるなど芸術だけでなく、島の祭りなど伝統文化の保存にもアーティストとして意欲的に取り組んできました。

本展では、動く・楽しめることをコンセプトにした〈動く彫刻〉シリーズや近年新しく制作している〈ゆれる作品〉シリーズなど、遊びどころがあふれる作品13点を紹介しました。

- ◆会期 2021年4月6日(火)～5月16日(日) 36日間
※5/4(火)～5/16(日)臨時休館 11日間
- ◆入場者数 671人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆イベント ワークショップ「Swing! するアートを作ろう」(p.138) (中止)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- リビング高松 4月9日
- 広報たかまつ 4月号
- 四国新聞 4月15日
- 産経新聞社 4月24日、6月21日
- Komachi 5月号
- NICE TOWN 5月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	じいじの空	2021	プラスチック段ボール・マジック・ステンレス針金	
2.	トンボ	2005	木・鉄・ゴム	
3.	Swing !	2021	木・ステンレス針金(70点組)	
4.	トンボII	2017	木・鉄・ゴム	
5.	Swing ! Swing !!	2021	木・ステンレス針金・和紙(17点)	
6.	まいまい new	2020	鉄・ゴム・皮	
7.	Fly away !	2021	木・テグス・和紙(2点)	
8.	頭の中の引出し	2020	木・プラスチック・針金	
9.	豊漁丸	2010	木・ゴム・紐・アルミ	
10.	めおん	2014	木・ゴム・紐・アルミ	
11.	めおん4	2016	木・ゴム・紐・アルミ	
12.	ひろとの海	2020	プラスチック段ボール・マジック・ステンレス針金	
13.	バードハウス	2021	竹・土壁・木	

写真で紡ぐ

今から28年前(1993年)、まだ珍しかった国際文化交流による町おこしと芸術との触れ合いを目的に始まった『日米ヤングアーティストフェスティバルinしおのえ』は、当時、塩江にアトリエを構えていた香川県出身の川島猛(1930-/美術家)やアメリカ在住の大学教授・比嘉良治(1938-/写真家/沖縄県出身)などを講師陣に迎え、欧米と韓国そして日本各地からアーティストを志す若い学生10数名が、町内に約2週間滞在(ホームステイ)し、「塩江」をテーマに作品制作が行われました。

本展では、学生や講師ら参加者それぞれの視点から「塩江」を見つめ直した作品43点を紹介しました。

- ◆会期 2021年5月25日(火)～7月4日(日)36日間
※5/25(火)～5/30(日)、6/5(土)、6/6(日)、6/12(土)、6/13(日)、6/19(土)、6/20(日) 臨時休館 12日間
- ◆入場者数 222人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 6月3日
- リビング高松 6月4日
- 読売新聞 6月27日
- ままといっしょ 夏号



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年
1.	比嘉良治(講師)	出原トキエさん,90才	1995
2.	ランフィスター	藤本文江さん,67才	1995
3.	田島さゆり	上原寿美子さん,89才	1995
4.	中上舞	相谷キヨエさん,90才	1995
5.	田淵研太	赤松サヨコさん,83才	1995
6.	宮武綾	中井チツ子さん,83才	1995
7.	チャンスンユン	平見菊枝さん,80才	1995
8.	クレアヤナコン	佐藤時義さん,86才	1995
9.	田島さゆり	末友トリさん,81才	1995
10.	塚本幸子	黒川景三さん,81才	1995
11.	比嘉良治(講師)	松川スミさん,95才	1995
12.	谷口浩司	無題	1998
13.	トーマス・ボペー	無題	1998
14.	谷口浩司	無題	1998
15.	田中勝次(講師)	無題	1998
16.	一色洋通	無題	1998
17.	スンミン・キム	無題	1998
18.	タティ・アナ	無題	1998
19.	高松徳男	無題	1998
20.	スンミン・キム	無題	1998
21.	田中勝次(講師)	無題	1998
22.	金冨求	無題	1998
23.	佐野まなみ	無題	2002
24.	宮城直緒	無題	2002
25.	宮城直緒	無題	2002
26.	田中勝次(講師)	無題	2002
27.	秦世鎬	無題	2000
28.	岡崎史江子	無題	2000
29.	戸越康二	無題	2000
30.	飯田澄人	無題	2000
31.	岡崎史江子	無題	2000

No.	作家名	作品名	制作年
32.	集合写真	無題	2002
33.	酒井咲帆	無題	2002
34.	荒田絵美	無題	2002
35.	リー・スンウォン	無題	2002
36.	リー・スンウォン	無題	2002
37.	吉川直哉(講師)	無題	2000
38.	徳永隆之	無題	2000
39.	佐野幸恵	無題	2000
40.	早寄寛子	無題	2000
41.	荒田絵美	無題	2002
42.	為川郷	無題	2002
43.	松本宏祐	無題	2002
(全て塩江美術館蔵)			

－線との対峙－ 杉本羽衣展

杉本羽衣は、両親(杉本公和・川崎展子)が共に美術家という中で、芸術を身近に感じて育ちました。高校時代から始めた黒ペンによる絵日記は、現在の作品の豊かなイメージに繋がっています。

「かがわ・山なみ芸術祭2016」に出品した絵画は、キャンバスの広い空間に様々なイメージと量を喚起させる繊細な黒い線が漂うように描かれ、最小限の色彩を配置し、あたかも生命が宿ったかのように画面の中で物体と生き物の存在感が残されています。

本展では、キャンバスの白い空間に黒く細い線を細密にバランスよく配置し、生命を宿しているかのようにその存在感を際立たせた作品29点を紹介しました。

- ◆会期 2021年7月13日(火)～8月29日(日) 42日間
※8/7(土)～8/29(日)臨時休館 20日間
- ◆入場者数 409人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆イベント
アーティストレクチャー (p.138)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
広報たかまつ 7月号
四国新聞 8月21日
NICE TOWN 8月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	寐(び)	2016	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
2.	う・つ・つ - uchu	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
3.	う・つ・つ - karakasa	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
4.	う・つ・つ - tsuru	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
5.	う・つ・つ - jellyfish	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
6.	う・つ・つ - lotus root	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
7.	う・つ・つ - bubble	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
8.	う・つ・つ - flag	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
9.	う・つ・つ - swamp	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
10.	う・つ・つ - garden	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
11.	う・つ・つ - breeze	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
12.	う・つ・つ - inside	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
13.	う・つ・つ - sumika	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
14.	う・つ・つ - switch	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
15.	う・つ・つ - network	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
16.	う・つ・つ - tobari	2017	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
17.	う・つ・つ - yoiyami,ni	2020	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
18.	う・つ・つ - shinonome,ni	2020	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
19.	う・つ・つ - hiyori	2018	紙、インク、色鉛筆	
20.	う・つ・つ - boots	2018	紙、インク、色鉛筆	
21.	ふ・ゆう	2016	紙、インク、アクリルガッシュ	
22.	半醒	2006	石粉粘土、木	
23.	わらびシリーズ	2007～2008	紙、インク	
24.	Dear Family	2021	ミクストメディア	
25.	う・つ・つ	2010	パネルに紙、インク	
26.	う・つ・つ - 2	2010	パネルに紙、インク	
27.	う・つ・つ - 4	2010	パネルに紙、インク	
28.	う・つ・つ - 5	2010	パネルに紙、インク	
29.	扉	2006	パネルに紙、水彩	

第35回思可牟展

美術グループ「思可牟(しかむ)」は、香川県出身及び在住の京都市立芸術大学を修了した作家で結成されています。普段は、個々で作家活動をおこなっていますが、年に一度集い、日本画、水彩画、版画、漆芸、陶芸、染色、立体など個性ある様々な表現形態のジャンルの作品展を開催しています。

本展では、グループ結成35年目を迎えた同大学出身者たちの自由な創作作品27点を紹介しました。

- ◆会期 2021年9月7日(火)～10月17日(日) 36日間
※9/7(火)～9/30(木)、10/2(土)、10/3(日)臨時休館 23日間
- ◆入場者数 513人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
広報たかまつ 9月号
高松経済新聞 10月1日



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	(全て作家蔵)
1.	後藤健吉	時のまにまに	2021	
2.	檜原則子	擬宝珠	2021	
3.	檜原則子	紫露草	2021	
4.	檜原則子	山法師	2021	
5.	貴志勉	等しく時間は消化されていく	2021	
6.	佐伯栄治	雨後の滝	2021	
7.	佐伯栄治	流	2021	
8.	佐伯栄治	椿	2020	
9.	佐伯栄治	ジャーマンアイリス	2020	
10.	貴志ひろこ	ひとりだから・・・	2021	
11.	貴志ひろこ	モビール ひとりじゃない	2021	
12.	井上(高尾)順子	バンジーとダコバ	2021	
13.	井上(高尾)順子	秋明菊Ⅰ	2021	
14.	井上(高尾)順子	秋明菊Ⅱ	2021	
15.	柴島孝美		2021	
16.	平野年紀	家族の肖像ーこんな人間でも2人にとっては天使だったー	2021	
17.	矢野康子	秋		
18.	矢野康子	イソトマ		
19.	矢野康子	ラベンダー		
20.	矢野康子	女郎花	2021	
21.	堀りつ子	Iris - 2021	2021	
22.	堀りつ子	Dahlia - 2021	2021	
23.	堀りつ子	Fern - 2021	2021	
24.	大川原誠人	Yellow Boat	2021	
25.	大川原暢人	3つのプロペラ、1つのシート	2021	
26.	兼若和也	onl	2021	
27.	長谷川隆子	はなのれん	2021	

染色家・山口摂華 ―存在の確認―

染色家 山口摂華(香川県在住)は、1999年より和裁士として活動、その後、生地の色を染め出す世界に惹かれ、2008年からは染色家として作品を発表してきました。

作品は、身近な野菜や風景、時間をモチーフに、幾何学的デザインを用いることにより、その存在の確認を試みようとしています。幾何学的表現は錯視効果を生み、全体を眺めた時、別の違う景色を写し出しているかもしれません。

本展では、伝統的な染の技を引き継ぎながらも現代にも通ずる前衛的デザインが施された着物作品を含む29点を紹介しました。

◆会期 2021年10月26日(火)～12月5日(日)36日間
◆入場者数 1,169人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
アーティストレクチャー (p.138)
ワークショップ「コーヒー染めのコースターを作ろう」 (p.138)
ワークショップ「友禅染で彩ろう！」 (p.138)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
ままといつしよ 秋冬号
広報たかまつ 10月号
読売新聞 11月25日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	(全て作家蔵)
1.	切り絵文様	2007-2008	
2.	友禅訪問着「Cross」	2009	
3.	初姫	2006	
4.	クール	2008	
5.	友禅染帯「明日」	2011	
6.	友禅染帯「蓮想」	2017	
7.	友禅染帯「遊」	2017	
8.	TOOLS	2006	
9.	染訪問着「夕涼み」	2010	
10.	友禅訪問着「蓮想」	2012	
11.	友禅訪問着「Tools」	2014	
12.	染訪問着「色菜歌」	2014	
13.	友禅訪問着「コスモス」	2015	
14.	友禅訪問着「Hanauta」	2017	
15.	友禅訪問着「Until・・・の時まで」	2018	
16.	友禅訪問着「窓」	2011	
17.	ラフレシアナ	2007	
18.	トマトマト	2011	
19.	レンコンスイッチ	2012	
20.	空想のエチュード	2013	
21.	Works	2014	
22.	Carrot view	2015	
23.	綿カラafter	2018	
24.	Works-糸-	2019	
25.	View	2019	
26.	Summer	2020	
27.	Summer 2	2021	
28.	花レンコン	2021	
29.	友禅染衛立「Tomorrow」	2021	

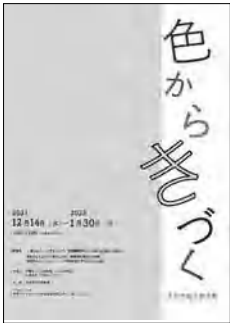
色からきづく

「色」は、自然界から生み出されるものを基調とし、この世界に多数存在しています。「色」は私たちの感情の喜怒哀楽に働きかける力を持っており、日々の暮らしの中で、私たちはその影響を受けているといえます。例えば、私たちは赤や橙色などの暖色系には燃えるような熱い感情を抱き、青や水色などの寒色系は冷静な感情をともなっているといえるでしょう。

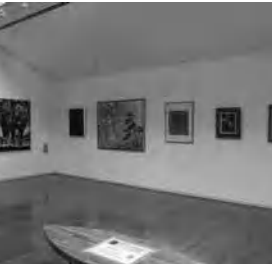
本展では、当館コレクションの中から色に着目した作品23点を紹介しました。

◆会期 2021年12月14日(火)～2022年1月30日(日)37日間
◆入場者数 415人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆主な新聞・雑誌等関連記事
高松経済新聞 1月14日
読売新聞 1月26日



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	(全て塩江美術館蔵)
1.	中村光幸	記号の痕跡論 その2	不詳	油彩・キャンバス	
2.	多田翳	深谷	不詳	紙本墨画	
3.	木村景水	錦鶏	1951	紙本着色	
4.	浜田泰介	画集「香川新五十景を歩く」／塩江美術館周辺	1995	水彩・紙	
5.	比嘉良治	J T W - 9	不詳	水彩・紙	
6.	川田保一	不動の滝	不詳	水彩・紙	
7.	入岡祐幸	ECHO - alterna#2	2001	油彩・キャンバス	
8.	佐々木啓祐	青の静物	1982	油彩・キャンバス	
9.	中井千代栄	流し雛	不詳	油彩・キャンバス	
10.	西岡茂八郎	ニッポンシリーズ97-1 しがらみ(目明しと同心)	1997	油彩・キャンバス	
11.	山田等	小供	1955	油彩・キャンバス	
12.	中井好苑	豊稔池	不詳	紙本墨画	
13.	重田良一	無題	1974	シルクスクリーン・紙	
14.	熊野俊一	幼児寝顔 (クリステル4歳)	1972	油彩・キャンバス	
15.	熊野俊一	ダブリン郊外の海岸	1968	油彩・キャンバス	
16.	熊野俊一	シャトー・キャニュー	1969	油彩・キャンバス	
17.	熊野俊一	馬	1960	油彩・キャンバス	
18.	江戸健	裸婦デッサン習作	1996	パステル・紙	
19.	江戸健	LA MER 海	1977	油彩・キャンバス	
20.	江戸健	太陽	不詳	油彩・キャンバス	
21.	小西嘉純	水汲みの女等	不詳	油彩・キャンバス	
22.	小林正六	放鳥	不詳	油彩・キャンバス	
23.	小林正六	お昼寝	不詳	油彩・キャンバス	

LUCA ROMA The spiral –a new journey–

イタリア・ミラノ出身の彫刻家 ルカ・ローマ(三豊市在住)は1997年にミラノ・ブレラ美術学院彫刻科を卒業した後、ミラノ市内の劇場・映画会社においてデザイナーとして活躍してきました。2000年に来日して以来、石や木といった自然物を素材とした彫刻を“自然”が生み出す螺旋模様(スパイラル)に着想を得て制作しています。“彫刻を制作することは、探検と発見の旅である”と語るルカ・ローマ。

県内で7年ぶりの個展となる本展では、新作とドローイング作品を含めた22点を紹介しました。

- ◆会期 2022年2月11日(金・祝)～3月27日(日)39日間
※3/12(土)、3/13(日)、3/19(土)～3/21(月・祝) 臨時休館5日間
- ◆入場者数 644人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント ワークショップ「スパイラルワークショップー小さな旅ー」(p.138)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
リビング高松 2月4日
広報たかまつ 2月号
四国新聞 2月24日
NICE TOWN 3月号
読売新聞 3月8日、3月16日
ままといっしょ 春号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	BLACK SPIRAL	2020	クスノキ/kusunoki	
2.	RED SPIRAL	2021	クスノキークヌギ/kusunoki-kunugi	
3.	BABELE (red spiral 2)	2021	クロガネモチ/kuroganemochi	
4.	LONG SPIRAL	2021	クスノキークヌギ/kusunoki-kunugi	
5.	DOUBLE SPIRAL	2021	クロガネモチ/kuroganemochi	
6.	DOUBLE END 1	2021	アカシア/acacia	
7.	DOUBLE END 2	2022	クロガネモチ/kuroganemochi	
8.	GENTLE SPIRAL 1	2021	サクラ/cherry	
9.	GENTLE SPIRAL 2	2022	チーク/teak	
10.	SQUARE SPIRAL	2021	クスノキ/kusunoki	
11.	ATTRAVERSO	2020	クスノキ/kusunoki	
12.	FIAMME 1	2020	クスノキ/kusunoki	
13.	FIAMME 2	2020	クスノキ/kusunoki	
14.	GALILEO 2020	2020	クスノキ/kusunoki	
15.	MOTODONDOLO 1	2020	クスノキ/kusunoki	
16.	MOTODONDOLO 2	2020	クスノキ/kusunoki	
17.	MOTODONDOLO 3	2020	クスノキ/kusunoki	
18.	ORIGINE 3	2016	テラコッタ/Japanese terracotta	
19.	Puzzle1	2014	鉄・棕/Iron plate・muku tree	
20.	Puzzle2	2014	鉄・棕/Iron plate・muku tree	
21.	Drawings	2019～		
22.	試作	2020～		

(2) 常設展

【第Ⅰ期常設展】
絵肌を見る

作品の画面に独特の質感を作り出す絵肌に着目してコレクション作品17点を紹介しました。

- ◆会期 2021年4月20日(火)～8月15日(日) 102日間
※5/4(火)～5/30(月)、6/5(土)、6/6(日)、6/12(土)、6/13(日)、6/19(土)、6/20(日)、8/7(土)～8/15(日)
臨時休館 33日間
- ◆入場者数 1,005人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



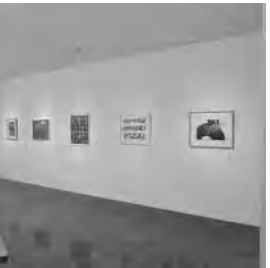
【第Ⅱ期常設展】
版画を楽しむ

様々な技法を用いた版画作品26点を紹介しました。

- ◆会期 2021年8月24日(火)～12月12日(日) 96日間
※8/24(火)～9/30(木)、10/2(土)、10/3(日)臨時休館 35日間
- ◆入場者数 1,776人
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



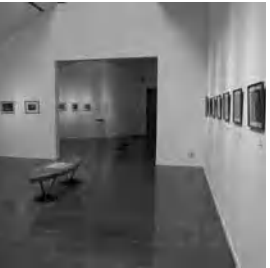
【第Ⅲ期常設展】
フォトしおのえ

「塩江」をテーマに公募した写真作品44点を紹介しました。

- ◆会期 2021年12月21日(火)～2022年4月10日(日)91日間(3月31日まで：82日間)
※3/12(土)、3/13(日)、3/19(土)～3/21(月・祝)臨時休館 5日間
- ◆入場者数 1,328人(3月31日まで：1,088人)
- ◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



(1) 講演会

◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「一線との対峙—杉本羽衣展」関連

日時：7月22日(木・祝) 13:00～14:00
講師：杉本羽衣(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：28人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「染色家・山口摂華 —存在の確認—」関連

日時：11月13日(土)、23日(火・祝) 14:00～15:00
講師：山口摂華(染色家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：延べ22人



(2) ワークショップ

◆コーヒー染めのコースターを作ろう

コーヒー豆を使ってコースターに染を施して制作。
日時：5月1日(土) 10:00～11:00 13:30～14:30
講師：山口摂華(染色家)
対象：一般
受講料：500円(材料費300円)
場所：デッキ
参加者数：15人



◆サンドイッチ絵本を作ろう(中止)

身近にあるものを組み合わせて絵本を制作。
日時：5月4日(火・祝)
講師：相曽晴香(塩江町地域おこし協力隊)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

◆Swing!するアートを作ろう(中止)

プラ板に絵を描き、針金を使って立体的に見せる絵画を制作。
※「Swing! Swing!! 大島よしふみ彫刻展」関連
日時：5月5日(水・祝)
講師：大島よしふみ(出品作家)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

◆友禅染で彩ろう！

友禅染の染料を使って、布を好きな色に彩って制作。
※「染色家・山口摂華 —存在の確認—」関連
日時：11月27日(土) 10:00～16:00
講師：山口摂華(染色家)
対象：中学生以上
受講料：500円(材料費3,000円)
場所：陶芸室
参加者数：8名



◆スパイラルワークショップー小さな旅ー

藤のつるを使った造形作品を制作。
※「LUCA ROMA The spiral —a new journey—」関連
日時：3月19日(土) 13:00～15:00
講師：ルカ・ローマ(出品作家)
場所：陶芸室
対象：幼稚園児以上小学生以下
受講料：500円(材料費200円)
参加者数：5人



◆夏の風鈴作り教室

陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
日時：7月24日(土)、25日(日) 各日10:00～11:30、13:00～14:30
講師：貴志 勉(陶芸家)
場所：デッキ
受講料：500円(材料費800円)
参加者数：39人



◆陶芸教室

全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。
日時：10月9日、16日、23日、30日、11月6日、13日、20日、12月4日
全て土曜日 10:00～12:30
講師：田淵太郎(陶芸家)
場所：陶芸室
受講料：2,000円(材料費3,800円)
参加者数：延べ48人

(3) パフォーマンス・その他

◆美術館の日(中止)

平成21(2009)年度より、美術館の開館記念日(1988年8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、美術館で一日有意義に過ごしていただくための催しを開催。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

アーティスト ミズカ WITH

アーティストのミズカ(香川県在住)は、京都造形芸術大学(現京都芸術大学)在学中から二つの異なるスタイルで作品を発表しています。ひとつは、2015年から展開されている「ぼうや」シリーズです。このシリーズでは大人の心の中にある“こども”の部分に声かけができるよう制作に取り組んでいます。ここで描かれる性別のない幼児たちに接すると、多くの人々は温かで幸福な気持ちに包まれることでしょう。それは誰もにあった愛らしいこども時分を思い出すからかもしれません。みる人々の優しい眼差しに思いを馳せ共感を寄せながら、ミズカ自らがイメージの芽を伸ばし、そこから花を咲かせるように作品と向き合っているからこそ生まれる情感だと思われます。また、2013年から始まった「紙漉き」シリーズは、素材や制作過程に重きを置いてきたものです。草木染めをした紙を漉き、自然の恵みが生む幾つもの偶然にミズカは寄り添いながら、新たな姿を造形していきました。淡い色彩を帯び、繊維を露わにしたそれら形は生きものとなり呼吸をし始めているかのようです。

本展は、ミズカが、芸術士®として繊細かつ大胆に、日々こどもたちと活動を繰り広げることでアーティストとして成長し続けている作品28点を紹介しました。

- ◆会 期 2022年4月9日(土)～5月15日(日) 32日間
- ◆入場者数 1,245人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント
- アーティストレクチャー (p.148)
- ワークショップ「色を楽しもう！」 (p.148)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 広報たかまつ 4月号
- 高松経済新聞 4月14日
- 読売新聞 4月15日
- 四国新聞 4月28日
- NICE TOWN 5月号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	ももじりぼうや	2017		
2.	ももじり	2022		
3.	ちいさなあなたへ	2017		
4.	みかんぼうや	2022		
5.	ぼうやドローイング	2019-2022		
6.	ぼうやドローイング	2022		
7.	無題	2022	楮・まんば・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
8.	無題	2022	楮・まんば・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
9.	無題	2022	楮・楮・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
10.	無題	2022	楮・楮・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
11.	無題	2022	楮・白梅・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
12.	無題	2022	楮・白梅・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
13.	無題	2022	楮・紅梅・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
14.	無題	2022	楮・紅梅・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：香川)	
15.	無題	2021	楮・紫陽花の花・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
16.	無題	2021	楮・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
17.	無題	2021	楮・桜・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
18.	無題	2015	パルプ・薔薇の花・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
19.	無題	2021	楮・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
20.	無題	2021	楮・硯・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
21.	無題	2021	牛乳パック・桜・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
22.	無題	2021	牛乳パック・よもぎ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
23.	無題	2021	楮・よもぎ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：高知)	
24.	無題	2013	パルプ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：京都)	
25.	無題	2013	パルプ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：京都)	
26.	無題	2013	パルプ・みかんの皮・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：京都)	
27.	無題	2013	パルプ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：京都)	
28.	無題	2013	パルプ・水彩色鉛筆・水彩絵の具(制作：京都)	

かがわ・山なみ芸術祭2022 SIONOE 関連事業
芸術の四国遍路展

『かがわ・山なみ芸術祭2022 SIONOE』関連事業として、美術家バルコキノシタにより企画された四国4県を巡回する「芸術の四国遍路展」を開催しました。この展覧会は、バルコが2011年3月に起こった東日本大震災で被災された方々を供養するための四国八十八ヶ所巡礼をおこなったときに、“四国は一つ”という合言葉を目にしたことをきっかけに構想が生まれました。今後、アートを通じて四国の人々が気軽に行き来し交流が活発になっていく事で、いざというときに助け合える社会になってほしいというバルコの願いが込められています。

最後の巡回展開催場所となる本展では、四国4県から集まった様々なジャンルで活躍しているアーティスト12名の作品を紹介しました。

《各県出品作家》(香川県) あんどさきこ、天歌布武信長、ミズカ (徳島県) 金藤みなみ、富松篤、早瀬太亮
(高知県) 石井葉子、ミヤタケイコ、柳本悠花 (愛媛県) 工藤冬里、神山恭昭、山中カメラ

- ◆会 期 2022年5月21日(土)～6月26日(日) 32日間
- ◆入場者数 1,656人
- ◆担当学芸員 三宅靖之

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 広報たかまつ 5月号
- 四国新聞 5月22日
- 高松経済新聞 5月24日
- 読売新聞 6月12日
- NICE TOWN 6月号

- ◆イベント
- あんどさきこライブ／工藤冬里ライブ (p.149)
- 天歌布武信長のドリームバンドライブ (p.149)



(チラシ)



No.	作家名	作品名	制作年
1.	天歌布武 信長	天下統一プロジェクト 香I編	2016
2.	ミズカ	無題	2013
3.	ミズカ	無題	2013
4.	ミズカ	無題	2013
5.	あんどさきこ	と、	2022
6.	バルコキノシタ	スイート・ヒアアフター	2015
7.	バルコキノシタ	幽霊でもいいから	2012
8.	バルコキノシタ	四国	2021
9.	バルコキノシタ	四国	2022
10.	富松篤	漂流する存在の記憶	2020-2022
11.	早瀬太亮	Life time	2022
12.	金藤みなみ	桃太郎の母	2022
13.	金藤みなみ	塹壕兵	2019
14.	神山恭昭	地上式地下室	2020
15.	神山恭昭	卓上型地上式地下室	2000
16.	神山恭昭	沼地の仮面夫婦(「なんか言ったらどうなんだ」「嫌です」「・・・」)	2022
17.	神山恭昭	昭和30年代の仮面一家の団らん	2020
18.	神山恭昭	コロナ禍下の自画像	2020
19.	工藤冬里	安倍ちゃん(4点連作)	2022
20.	山中カメラ	人影の石	2022
21.	石井葉子	妖怪イヌジマと桜	2022
22.	柳本悠花	黒い波に立ちすくむ城	2022
23.	柳本悠花	歪むサイレン	2022
24.	柳本悠花	見ているようで見ていないから	2022
25.	柳本悠花	記憶の芽に積み重なる山毛皮と思いでる風	2022
26.	ミヤタケイコ	化けタヌキ四国行脚	2021
27.	ミヤタケイコ	ロボチュウ	2016
28.	ミヤタケイコ	お化けイカ	2018
29.	ミヤタケイコ	Ten-Ten (トリ)	2021
30.	ミヤタケイコ	Ten-Ten (ウサ)	2021

画家 松山真理 繋がる

松山真理(香川県在住)は大学で彫刻を専攻、卒業後は絵画にも関心を寄せて、表現の可能性を模索し続けています。作品は、具象表現から現在の抽象表現へと変化を見せていますが、松山自身は、この大きな変化が根元の部分でしっかりと繋がっていると考えています。また、他者の可能性をも引き出すことを試みる松山は、絵画を描くことで他者と繋がるという感覚を大切にしてきました。近年ライフワークとする`ライブ・ペインティング`（絵を描く過程をみせるパフォーマンスアート）は、その表れの一つであり、ダイレクトな感情の表出は生きる喜びにあふれています。`描くことは自分を生かすこと`、そう語る松山。

本展では、「繋がる」をキーワードに20点の作品を紹介しました。

◆会 期 2022年7月5日(火)～8月28日(日) 48日間
◆入場者数 1,538人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
アーティストレクチャー (p.148)
ライブペインティング (p.149)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
広報たかまつ 7月号
高松経済新聞 7月7日、7月12日
四国新聞 7月28日
NICE TOWN 8月号
ままといっしょ 夏号
HOT PEPPER 8月号
テイクアート四国夏号



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	Live painting work -7	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
2.	Live painting work -6	2022	紙、アクリル絵の具	
3.	Live painting work -4	2021	紙、アクリル絵の具	
4.	Live painting work -3	2020	和紙、墨、アクリル絵の具	
5.	Live painting work -5	2022	紙、アクリル絵の具	
6.	Live painting work -1	2019	紙、アクリル絵の具	
7.	Live painting work -2	2019	紙、アクリル絵の具	
8.	光悦	2021	キャンバス、アクリル絵の具	
9.	光化	2021	紙、アクリル絵の具	
10.	満ちる	2021	キャンバス、アクリル絵の具	
11.	光包	2021	キャンバス、アクリル絵の具	
12.	deep sea I	2021	紙、アクリル絵の具	
13.	deep sea II	2021	キャンバス、アクリル絵の具	
14.	deep sea III	2021	キャンバス、アクリル絵の具	
15.	wings at dawn	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
16.	love letter	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
17.	つながる	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
18.	Love and harmony	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
19.	花火	2022	キャンバス、アクリル絵の具	
20.	光る	2022	紙、アクリル絵の具	

写真家 脇秀彦展 今を生きている

香川県在住の写真家・脇秀彦の写真のモチーフは多岐にわたり、広告などで“消費される”商業的な写真を撮る一方で、みる者を立ち止まらせるようなインパクトのある作品を生み出しています。本展に登場する作品のモチーフの花は、脇秀彦の人生を彩るものであり、花の一生を人の一生と重ね合わせ、生と死について考える機会を与えてくれます。この世に生を受けた私たちは、死から逃れることはできません。脇はその事実を重く受け止め過ぎず、“今”をいかに豊かに生きるかを意識し制作しています。

また、脇は、「NegativePop」※によって、写真を世の中に発表する機会を持ち、心情的に自由になったと話します。その口調からは、しがらみにとらわれない自然体な生き方をうかがい知ることができます。

本展では、日々の生活の中で他者が存在するがゆえに自身が存在できると話す脇の哲学観を表現した写真・映像作品9点を紹介しました。

※プロのクリエイターによるオリジナル作品サイト

◆会 期 2022年9月6日(火)～10月23日(日) 42日間
◆入場者数 1,576人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
アーティストレクチャー (p.148)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
広報たかまつ 9月号
NICE TOWN 9月号
高松経済新聞 9月9日
四国新聞 10月5日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	技法・材質	(全て作家蔵)
1.	Happy Hell	2022	木、棺桶、プリント、ターボリン、花	
2.	消生	2021	ラムダプリント、インクジェットプリント	
3.	黒鳥	2020	インクジェットプリント	
4.	鼻血	2021	インクジェットプリント	
5.	退屈	2021	インクジェットプリント	
6.	私を見つけて	2022	インクジェットプリント	
7.	黒鳥	2020	映像	
8.	消生	2021	映像	
9.	time	2022	映像 白黒銀塩プリント	

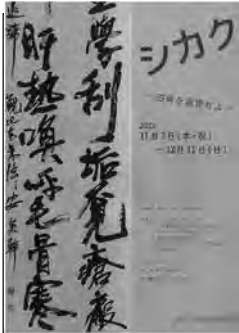
シカク ー四角を視覚せよー

本展では、所蔵作品から四角(形)に着目した25点の作品を紹介しました。杉山英幹(1920年ー2015年 東かがわ市出身)の書作品《題名不詳》は、一つ一つの文字の形を見ていくと、三角形、多角形など様々な形が浮かびあがり、それらの巧みな組み合わせにより作品が構成されています。「書く」の本来の意味である「搔(か)く」ことを想起させる力強い線質が目を引き付けます。また作品全体を見ると滝のように上から下へと流れるような勢いがあり、清々しさを感じられる作品です。比嘉良治(1938年ー 沖縄県出身)の写真作品《ニューヨークのビルシリーズ8》は、魅力的な形の様々なビル群がまるで空に投影されたかのようで、見る者の想像を膨らませてくれるでしょう。また、高松市出身の山下晴義(1946年ー)の《想蹟》には、動物と共に四角の他、丸や三角がリズムカルに配置され、古代の神秘的な雰囲気誘われるかのようです。四角、視覚をキーワードに、作品の中に潜む形の面白さや効果などを楽しんでいただきました。

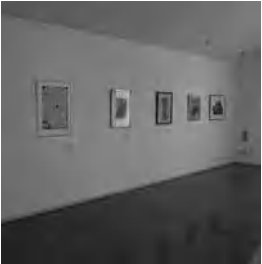
◆会期 2022年11月3日(木・祝)～12月11日(日) 34日間
◆入場者数 616人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
キュレータズトーク (p.148)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
ままといっしょ 秋冬号
NICE TOWN 12月号



(チラン)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	(全て塩江美術館蔵)
1.	山下晴義	想蹟	1992	鉄	
2.	貴志勉	胡散臭いサイコロ	2003	陶芸/(2個組)	
3.	大島よしふみ	風見塔	1994	石・ステンレス	
4.	田淵太郎	landscape ー大地に生けるー	2003	陶芸・3個組	
5.	比嘉良治	ニューヨークのビルシリーズ5	2004	写真	
6.	比嘉良治	ニューヨークのビルシリーズ8	2004	写真	
7.	比嘉良治	内場ダム	2004	写真	
8.	藤澤東暎	不詳	不詳	軸装	
9.	藤澤芳月	不詳	1995	軸装	
10.	杉山英幹	不詳	1997	軸装	
11.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
12.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
13.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
14.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
15.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
16.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
17.	ルカス・ガイسن	不詳	不詳	写真(7枚セット)	
18.	四宮金一	孤独な航海 NO. (1)	1993	シルクスクリーン・14/50	
19.	木村忠太		不詳	リトグラフ	
20.	ヨーゼフ・ボイス	紙 袋	1982	紙袋	
21.	流 政之	7 7' こんちき	1977	木版画	
22.	猪熊弦一郎	不詳	1978	リトグラフ	
23.	川島 猛	J.T.HーNO. 2	1976	シルクスクリーン・A.P(Ed100)	
24.	藤澤東暎	東暎王父像自賛	不詳	軸装	
25.	竹下孟子	不詳	不詳	額装	

コトバがみえる

言葉は音声や文字などで表され、意味を伝達する手段として、時を経て変化し続けてきました。本展では、言葉の視覚化に着目し、所蔵作品の中から版画・書作品21点を紹介しました。高松次郎(1936ー1998) の《THESE THREE WORDS》(1970年)は、高松が1960年代末から1970年代前半にかけて、文字や数字を使い、対象と意味との関係性や不在性を問うた作品の一つです。紙に表された文字以上の意味は排除され、言葉の存在が際立っています。また、ミニマルアートを代表するアメリカの美術家ドナルド・ジャッド(1928ー1994)の版画作品《無題》(1980年)は、それまで芸術として意識しないような無機質な形状(objects)を特徴としています。この作品を通して見えてくるものは、不必要なものが削ぎ落とされた本質に近い言葉のようにも見え、幾本も横に流れる線状の形がダイアログ(対話)に思えてきます。そして、坂村真民(1909ー2006)の書作品《念ずれば花ひらく》(1993年)は、独特の筆致により言葉がダイレクトに胸に迫り、情感が揺さぶられます。版画・書作品のモノクローム世界から、言葉の豊饒さや表現の多様性を楽しんでいただきました。

◆会期 2022年12月20日(火)～2023年2月5日(日) 37日間
◆入場者数 270人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
キュレータズトーク (p.148)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
NICE TOWN 1月号
四国新聞 1月12日



(チラン)



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	(全て塩江美術館蔵)
1.	磯部多恵	登山臨水	不詳	額装	
2.	大西さくゑ	象頭山	不詳	額装	
3.	坂村真民	念ずれば花ひらく	1993	額装	
4.	奥保肇(南岳)	不詳	不詳	軸装	
5.	藤澤南岳	不詳	不詳	額装	
6.	藤澤南岳	不詳	不詳	扇子	
7.	高松次郎	THESE THREE WORDS	1970	オフセット	
8.	サム・フランシス	無題	不詳		
9.	ヤヴァジェス・クリスト	Wrapped Monument to Cristbolal Coloni Project for Barcelone	1977	リトグラフ	
10.	ベルナール・ビュフェ	魚	不詳	銅版画	
11.	ベルナール・ビュフェ	「イタリア旅行」より「ナポリ」	1959	銅版画	
12.	ロバート・ラウシェン・バーグ	SURFACE SERIES	1970	シルクスクリーン	
13.	ロバート・ラウシェン・バーグ	SURFACE SERIES	1970	シルクスクリーン	
14.	DONALD JUDO	無題(2点組)	1980	エッチング	
15.	DONALD JUDO	無題(2点組)	1980	エッチング	
16.	DAN FLAVIN	無題(in memory of Pablo Picasso)	1974	リトグラフ	
17.	猪熊弦一郎	雑誌 令女界 さし絵	不詳	紙・ペン画	
18.	ロバート・ラウシェンバーグ	Shirtboards,Morocco,Italy'52	1991	ミクストメディア	
19.	ロバート・ラウシェンバーグ	Shirtboards,Morocco,Italy'52	1991	ミクストメディア	
20.	猪熊弦一郎	カチナドールA	1980	11 / 100・銅版画	
21.	複数作家	不詳	不詳	屏風	

栗原慶 陶展 Pale Clear

陶芸家 栗原慶(徳島県在住)は、東京藝術大学入学を機に陶芸の世界へと入りました。金工・漆・染織などの工芸分野の経験を積みながらも自分の手に最も馴染んだ陶芸に惹かれ、制作に没頭してきました。その作風は様々な手法を経て、現在の淡青な透明色と端正なフォルムで形成される青白磁風へと変化していきます。そして、長年制作していく過程で、作品には実用性以外にも人とつながりあえる媒体として存在意義があることを感じてきました。

本展では、自然の素材が織りなす造形の美しさに日々感動し、制作に試行錯誤を重ねる栗原が、瀬戸内の海や波や風といった自然界にインスピレーションを受け生まれた作品31点を紹介しました。

◆会期 2023年2月14日(火)～3月26日(日) 36日間
◆入場者数 543人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
アーティストレクチャー (p.148)
ワークショップ マグカップや小物入れなどを板づくりで作ろう!! (p.148)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
広報たかまつ 2月号
NICE TOWN 2月号
ままといっしょ
徳島新聞 2月5日
高松経済新聞 2月24日



(チラシ)



No.	作品名	制作年	(全て作家蔵)
(全て作家蔵)			
1.	《Ren2023》	2023	
2.	《廻》	2021	
3.	青白磁鉢《波》	2015	
4.	青白磁鉢《波Ⅱ》	2017	
5.	《雫Ⅰ》《雫Ⅱ》	2019	
6.	《廻Ⅱ》	2021	
7.	刻文酒器	2022	
8.	刻文酒杯	2022	
9.	線刻皿	2018	
10.	《環》	2022	
11.	香炉《風》	2018	
12.	香合《実》	2018	
13.	水指《波》	2021	
14.	板皿《跡》	2023	
15.	板皿《層》	2023	
16.	《春》《夏》《秋》《冬》	2023	
17.	《汀》	2023	
18.	《ハネⅠ》	2023	
19.	《ハネⅡ》	2023	
20.	香炉《フネ》	2023	
21.	《層》	2023	
22.	《輪》	2023	
23.	《胎》	2019	
24.	《無題Ⅰ》	2023	
25.	《無題Ⅱ》	2023	
26.	《無題Ⅲ》	2023	
27.	《無題Ⅳ》	2023	
28.	《無題Ⅴ》	2023	
29.	《無題Ⅵ》	2023	
30.	《無題Ⅶ》	2023	
31.	《無題Ⅷ》	2023	

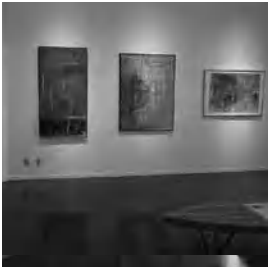
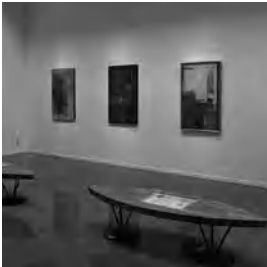
(2) 常設展

【第Ⅰ期常設展】
香川の作家シリーズ① 江戸健／色彩との対話
生涯色彩を探索し続けて描いた江戸の作品19点を紹介しました。

◆会期 2022年4月19日(火)～8月14日(日) 102日間
◆入場者数 3,886人
◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)

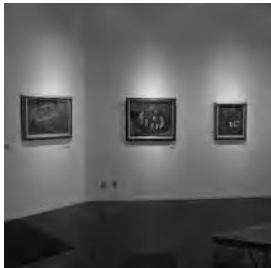
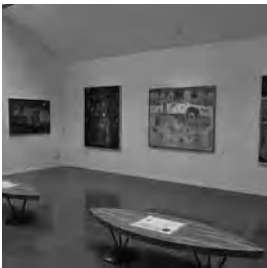


【第Ⅱ期常設展】
香川の作家シリーズ② 小林正六／まなざし
独自のマチエールで描かれた小林の作品20点を紹介しました。

◆会期 2022年8月23日(火)～11月27日(日) 84日間
◆入場者数 2,624人
◆担当学芸員 三宅靖之

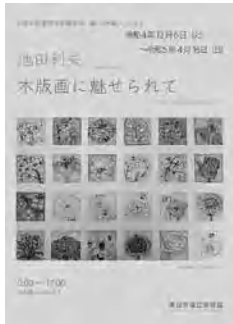


(チラシ)

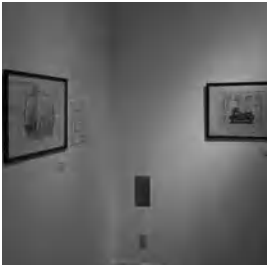


【第Ⅲ期常設展】
香川の作家シリーズ③ 池田利夫／木版画に魅せられて
「身近な植物」をモチーフに制作して生物学的知識や歴史的背景が盛り込まれた池田の作品12点を紹介しました。

◆会期 2022年12月6日(火)～2023年4月16日(日) 109日間(3月31日まで：95日間)
◆入場者数 1,259人(3月31日まで：992人)
◆担当学芸員 三宅靖之



(チラシ)



(1) 講演会

- ◆アーティスト・レクチャー
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「アーティスト ミズカ WITH」関連
日時：4月29日(金・祝) 14：00～15：00
講師：ミズカ(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：38人
- ◆アーティスト・レクチャー
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「画家 松山真理 繋がる」関連
日時：8月13日(土) 14：00～15：00
講師：松山真理(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：30人
- ◆アーティスト・レクチャー
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「写真家 脇秀彦展 今を生きている」関連
日時：9月23日(金・祝)、10月10日(月・祝) 14：00～15：00
講師：脇秀彦(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：61人
- ◆キュレーターストーク
担当学芸員による作品解説。
※「シカケ四角を視覚せよ」関連
日時：11月12日(土)、12月3日(土) 13：30～14：00
講師：高嶋良子(当館学芸員)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：延べ3人
- ◆キュレーターストーク
担当学芸員による作品解説。
※「コトバがみえる」関連
日時：12月24日(土)、1月21日(土) 13：30～14：00
講師：高嶋良子(当館学芸員)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：延べ2人
- ◆アーティスト・レクチャー
作家本人による作品制作などに関するレクチャー。
※「栗原慶 陶展 Pale Clear」関連
日時：2月23日(木・祝) 14：00～15：00
講師：栗原慶(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：43人



(2) ワークショップ

- ◆色を楽しもう！
偶然が生み出す色を探し出し、さまざまな色を楽しむワークショップ。
※「アーティスト ミズカ WITH」関連
日時：5月3日(火・祝) 10：00～12：00 14：00～16：00
講師：ミズカ(出品作家)
対象：一般
受講料：500円(材料費100円)
場所：デッキ
参加者数：23人
- ◆マグカップや小物入れなどを板づくりで作ろう！！
形や色に焦点をあてた作品を制作するワークショップ。
※「栗原慶 陶展 Pale Clear」関連
日時：3月18日(土) 13：00～15：00
講師：栗原慶(出品作家)
対象：小学生以上
受講料：500円(材料費800円)
場所：陶芸室
参加者数：14人



- ◆夏の風鈴作り教室
陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
日時：7月23日(土)、24日(日) 各日10：00～11：30、13：00～14：30
講師：貴志 勉(陶芸家)
場所：デッキ
受講料：500円(材料費800円)
参加者数：36人
- ◆陶芸教室
全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。
日時：9月10日、17日、24日、10月1日、15日、22日、29日、11月12日
全て土曜日 10：00～12：30
講師：田淵太郎(陶芸家)
場所：陶芸室
受講料：2,000円(材料費3,800円)
参加者数：延べ96人



(3) パフォーマンス・その他

- ◆ダンスパフォーマンス
企画展のオープニングイベントとして、ダンスパフォーマンスを開催。
※「かがわ・山なみ芸術祭2022関連事業 芸術の四国遍路展」関連
日時：5月21日(土) 14：00～14：30
出演者：あんどさきこ、工藤冬里
場所：デッキ
参加者数：30人
- ◆ライブパフォーマンス
企画展関連イベントとしてギター演奏を開催。
※「かがわ・山なみ芸術祭2022関連事業 芸術の四国遍路展」関連
日時：5月22日(日) 13：00～14：00
出演者：天歌布武信長のドリームバンド、四国でできた家臣バンド
場所：デッキ
参加者数：41人
- ◆公開制作
音楽に合わせて即興で絵画を制作するライブペインティングを開催。
※「画家 松山真理 繋がる」関連
日時：7月9日(土) 13：00～15：30
出演者：松山真理(出品作家)、圭帆(ギターと唄)、國井類(サクソ)
場所：企画展示室
参加者数：55人
- ◆美術館の日
展覧会の観覧料を無料にしたほか、ポスターやチラシを使ったエコ紙袋づくり、
布を使ったフラワーアクセサリーづくりのワークショップを開催。
日時：8月6日(土)
参加者数：155人



GrandpaとGrandson ー南岳と桓夫ー

藤澤南岳(ふじさわなんがく)(1842ー1920)は幕末から明治期に活躍した東かがわ市出身の漢学者です。一方でその孫にあたる藤澤桓夫(ふじさわたけお)(1904ー1988)は関西の文壇で活躍した著名な小説家です。2人は、桓夫の少年期を大阪で一緒に過ごし、“祖父と孫”のと絆を深めました。

本展では所蔵作品と塩江町歴史資料館の作品の中から南岳と桓夫の書を取りあげ、桓夫の残した文献を読み解きながら、南岳が桓夫の生き方にどのように影響したかについて考察しました。漢学者としての南岳の書、小説家としての桓夫の書、それぞれの書からみえてくる彼ら独自の哲学観を探し求めることを試みました。

- ◆会期 2023年4月15日(土)～5月28日(日) 38日間
- ◆入場者数 535人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント
- キュレーターズトーク (p.158)
- ワークショップ (p.158)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 5月11日、5月19日



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作者名	作品名	所蔵
1.	藤澤桓夫	世水急 李白詞	塩江美術館
2.	藤澤桓夫	(作品名なし)	〃
3.	藤澤桓夫	(作品名なし)	〃
4.	藤澤桓夫	(作品名なし)	〃
5.	藤澤桓夫	(作品名なし)	〃
6.	藤澤桓夫	嗚呼曉鐘は鳴り響く	塩江町歴史資料館
7.	藤澤桓夫	嗚呼黎明は近づけり	〃
8.	藤澤桓夫	青嵐鷲吹き出され飄々と	〃
9.	藤澤桓夫	花ともに 蜻蛉の ゆれる 吾亦紅	〃
10.	藤澤桓夫	伊豆ぬくし 畑焼く煙 けふも 見つ	〃
11.	藤澤桓夫	この山に 住む人ありて 雁渡る	〃
12.	藤澤桓夫	李白より	〃
13.	藤澤桓夫	名も知れぬ 赤き実のなる 木もありて 菰野湯の山 けふも時雨るゝ	〃
14.	藤澤桓夫	秋風の湖の漣 わかれけり	〃
15.	藤澤桓夫	自筆原稿復刻「蜜蜂の巣」	〃
16.	藤澤南岳	55	塩江美術館
17.	藤澤南岳	三行書 5 7 号	〃
18.	藤澤南岳	三行書	〃
19.	藤澤南岳	十萬堂 七号	〃
20.	藤澤南岳	(作品名なし)	〃
21.	藤澤南岳	茶香偶子室	〃

後藤健吉 朝子展 モノクロームの光

漆芸家の後藤健吉とオリジナルの手法を用いて空間造形する後藤朝子による光をキーワードにした展覧会を開催しました。健吉の漆作品は漆の面に銀粉を撒き、形をくっきりと出すために平時絵という技法を用いています。健吉はこの技法に研出し蒔絵に使用されるぼかしの技法を加味することで、より微妙な表現を可能にし、作品に深みを醸し出しています。一方、朝子は禅と現代美術が異色の融合を果たした空間を作り上げます。展示空間は、禅僧・仙(せん)厓義梵(がいぎぼん)の書画「○△□」にちなみ現実の風景に○と△と□を見つけた写真作品と禅画「十牛図」にちなんだ立体作品で構成された作品26点を展示しました。

- ◆会期 2023年6月6日(火)～7月17日(月・祝) 37日間
- ◆入場者数 739人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント
- アーティストレクチャー (p.158)

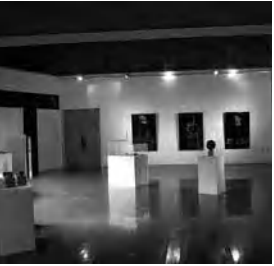
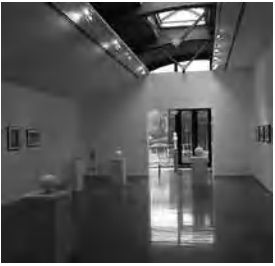
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
- 四国新聞 7月7日
- NICE TOWN 7月号



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作家名	作品名	制作年
1.	後藤健吉	時のまにまに	2021
2.	後藤健吉	時のまにまに	2020
3.	後藤健吉	時のまにまに	2019
4.	後藤健吉	時のまにまに	2019
5.	後藤健吉	時のまにまに	2017
6.	後藤健吉	時のまにまに	2018
7.	後藤健吉	抹茶茶碗	2022～2023
8.	後藤健吉	ぐい呑 屋島	2022
9.	後藤健吉	心象風景Ⅱ	2008
10.	後藤健吉	大盆	2011
11.	後藤健吉	四角い水滴	2023
12.	後藤朝子	立体十牛図より 騎牛帰家	2019
13.	後藤朝子	立体十牛図より 騎牛帰家	2023
14.	後藤朝子	明後日の服 No. 4	2012
15.	後藤朝子	立体十牛図より 騎牛帰家	2019
16.	後藤朝子	摩訶迦葉の蓮	2023
17.	後藤朝子	立体十牛図より 見牛	2019
18.	後藤朝子	Face ー URUSHI ー	2011
19.	後藤健吉	ぐい呑 五剣山	2022
20.	後藤健吉	ぐい呑 青	2022
21.	後藤健吉	ぐい呑 春(枕草子より)	2023
22.	後藤健吉	ぐい呑 夏(枕草子より)	2023
23.	後藤健吉	ぐい呑 秋(枕草子より)	2023
24.	後藤健吉	ぐい呑 冬(枕草子より)	2023
25.	後藤朝子	立体十牛図より 得牛	2023
26.	後藤朝子	○△□	2017～2019

「あそびにおいでよ！」～2023夏休み 大島よしふみ彫刻展～

大島よしふみ(1954年高松市生まれ)は、1979年愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻を修了後、地元香川での活動を中心に、制作・発表活動を精力的に展開してきました。香川県内で目にする多くのパブリックスペースのモニュメントにも関わり、人々の目を和ませています。

また、2010年からは瀬戸内国際芸術祭にも参加し、地域に根ざす芸術の意味を問い続けてきました。
本展では、大島が「楽しさ」を追求しつつ制作した作品の数々が並び、作者自身が故郷で過ごした夏の1日を切り取ったかのような空間を再現しました。

◆会期 2023年7月25日(火)～9月3日(日) 36日間
◆入場者数 1,743人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
ワークショップ (p.159)

◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞 8月24日
高松経済新聞 8月4日
広報たかまつ 8月号
ままといっしょ 夏号



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作品名	制作年	(全て作家蔵)
1.	大きな木と虫たち	2022-2023	
2.	トンボのいる草むら	2023	
3.	カマキリ28号	2004	
4.	トンボ S・M・L	2023	
5.	ミツバチ	2023	
6.	スズメバチ	2023	
7.	セミ1	2023	
8.	セミ2	2023	
9.	チョウチョ1	2023	
10.	ショウリョウバッタ	2023	
11.	チョウチョ2	2023	
12.	バッタ	2023	
13.	アリ	2023	
14.	カミキリムシ byひろと(小4)	2023	
15.	オオクワガタ	2023	
16.	カマキリ	2023	
17.	テントウムシ	2023	
18.	オニヤンマ	2023	
19.	オハグロトンボ	2023	
20.	クロオオアリ	2023	

Birth...then...Full すべてはその一滴から ガラス作家 杉山利恵展

高松市出身・在住のガラス作家 杉山利恵は、幼少期より手仕事が好きでした。20代はインテリア業界でコーディネーターや販売業に従事し、広告業界で広告制作・営業に携わる中で、自分自身の在り方を見返し、自身の原点を問い続けた時期でした。その後、30代に、東京ガラス工芸研究所や富山ガラス造形研究所で3年間、吹きガラスという技法をはじめさまざまな技法を習得し、2013年に香川に戻って精力的に制作を始めました。

地域に身も心も育まれたからこそ、制作を通して地域に恩返ししたい、そして、人と人とが影響し合い生きていくことの尊さを伝えたい、との思いで制作した作品18点を展示しました。

◆会期 2023年9月12日(火)～10月22日(日) 36日間
◆入場者数 2,509人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
ワークショップ (p.159)

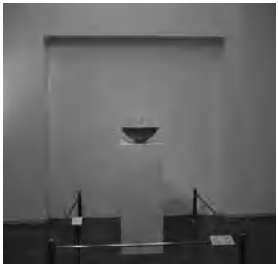
◆主な新聞・雑誌等関連記事
高松経済新聞 9月15日
朝日新聞 10月3日
読売新聞 10月12日
四国新聞 10月12日
西日本放送ラジオ 10月14日
広報たかまつ 9月号



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作品名	技法	制作年	(全て作家蔵)
1.	Full Blue Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2020	
2.	Crescent Blue Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2020	
3.	New Blue Moon	フュージング・接着	2020	
4.	Full Blue Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2022	
5.	Crescent Blue Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2022	
6.	Full Blue Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2022	
7.	New Blue Moon	フュージング・接着	2022	
8.	New Olive Moon	フュージング・接着	2022	
9.	Full Olive Moon	フュージング・ソリッドワーク・研磨・接着	2022	
10.	Blue Birth	フュージング・接着	2023	
11.	Olive Birth	フュージング・接着	2023	
12.	Blue&Olive Flow	フュージング・接着	2022	
13.	Blue Flow	フュージング・接着	2023	
14.	Olive Flow	フュージング・接着	2023	
15.	Stom Glass - 愛しき日々 -	吹きガラス 接着	2023	
16.	Hamon - すべては、その一滴から -	ソリッドワーク・研磨	2023	
17.	それぞれの、ひとしづく	ソリッドワーク・研磨	2023	
18.	Full -そして…満ちる-	パート・ド・ヴェール・研磨	2023	

第37回 思可牟展

香川県出身又は在住の京都市立芸術大学を修了した作家で構成された美術グループ「思可牟」は、年に一度集い、日本画、水彩画、版画、漆芸、陶芸、染色、立体など様々な表現を用いて作品を展開します。

本展では、グループの作家たちによって生みだされるユニークな空間をお楽しみいただきました。

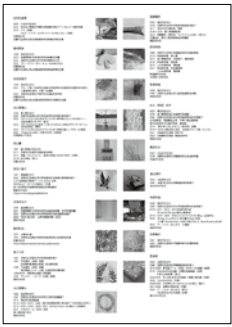
- ◆会期 2023年10月31日(火)～12月10日(日) 36日間
- ◆入場者数 1,124人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント ワークショップ (p.159)

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事 高松経済新聞 11月16日
- 広報たかまつ 11月号
- NICE TOWN 12月号



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作者名	作品名	(全て作家蔵)
1.	田村久留美	脱出する／アーカイヴ	
2.	橋本莉歩	star of bethlehem	
3.	谷住奈菜子	轍	
4.	谷住奈菜子	軌跡	
5.	谷住奈菜子	写生帳	
6.	大川原暢人	Stump	
7.	西山寛	MODEL1	
8.	長谷川隆子	慧眼(けいがん)	
9.	河崎まゆ子	窓と皮膚	
10.	河崎まゆ子	接触	
11.	河崎まゆ子	untitled	
12.	兼若和也	etude	
13.	堀りつ子	Fern-2023- I	
14.	堀りつ子	Fern-2023- II	
15.	堀りつ子	Fern-2023- III	
16.	大川原誠人	Fly to one's mind	
17.	後藤健吉	ひとつの海	
18.	後藤健吉	ひとつの海	
19.	後藤健吉	ひとつの海	
20.	佐伯栄治	溪流	
21.	佐伯栄治	流	
22.	糸島孝美	(タイトル無し)	
23.	井上(高尾)順子	光芒瀬戸	
24.	井上(高尾)順子	秋桜I	
25.	井上(高尾)順子	秋桜II	
26.	井上(高尾)順子	夏草	
27.	井上(高尾)順子	にがうり	
28.	井上(高尾)順子	光芒瀬戸 習作	
29.	梶原則子	高砂百合	

No.	作者名	作品名	(全て作家蔵)
30.	貴志博子	Open the door to a freedom	
31.	貴志博子	charging tower	
32.	平野年紀	永劫回帰マシンノ1号と下降する身体	
33.	平野年紀	森の天使 sionoe	
34.	矢野康子	秋桜	
35.	矢野康子	小手毬	
36.	矢野康子	風船葛	
37.	矢野康子	薔薇	
38.	矢野康子	クレマチス	
39.	貴志勉	I still standing here	
40.	貴志勉	I have been here	

女性を描く

塩江美術館では、約500点の絵画作品を所蔵しています。本展では、所蔵作品の中から、4人の画家たちが女性を描いた作品に焦点をあてました。

熊野俊一(1908－2005)の水彩作品では、舞妓が描かれており、鮮やかな色彩の中でも目を引く、舞妓の凛とした表情や視線が印象的です。また抽象作品を生涯多く残した江戸健(1927－2017)は、裸婦像をはつらつとした肉体を軽やかな筆致で表現しています。

また、小林正六(1917－2006)や小西嘉純(1920－2004)の作品も紹介し、それぞれの女性の描き方の特徴について考察しました。

- ◆会期 2023年12月19日(火)～2024年2月4日(日) 37日間
- ◆入場者数 388人
- ◆担当学芸員 高嶋良子

- ◆イベント キュレーターストーク (p.158)
- トークセッション (p.158)
- ワークショップ (p.159)

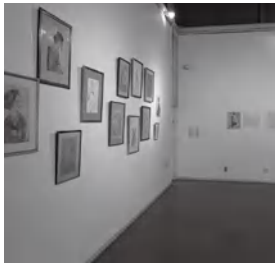
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事 広報たかまつ 12月号
- NICE TOWN 1月号
- リビング新聞 1月4日
- 高松経済新聞 1月12日
- 西日本放送ラジオ 1月27日
- 四国新聞 1月29日



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作家名	作品名	制作年	(全て塩江美術館蔵)
1.	小林 正六	森の食卓	1986	
2.	小林 正六	遠い日	1991	
3.	小林 正六	花を持つ少女	不明	
4.	小林 正六	湖畔	不明	
5.	小林 正六	語らい	不明	
6.	小林 正六	放鳥	1996	
7.	小林 正六	立ちのぼる花びら	不明	
8.	熊野 俊一	幼児寝顔(クリステル4歳)	1972	
9.	熊野 俊一	舞妓さん	1959	
10.	熊野 俊一	舞妓さんB	1959	
11.	熊野 俊一	裸婦	1964	
12.	熊野 俊一	アンダルシア風洋装	1966	
13-1.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-2.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-3.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-4.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-5.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-6.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-7.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-8.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
13-9.	熊野 俊一	デッサン(女)	1969	
22.	熊野 俊一	裸婦立像	1969	
23.	熊野 俊一	裸婦立像	1972	
24.	熊野 俊一	少女顔	1972	
25.	熊野 俊一	ピアノを弾く少女	1974	
26.	熊野 俊一	椅子之裸婦像	1974	
27.	熊野 俊一	裸婦立像	1977	
28.	熊野 俊一	裸婦伏座像	1977	
29.	小西 嘉純	乗合馬車	1986	
30.	小西 嘉純	水汲みの女等	1993頃	
31.	江戸 健	裸婦デッサン習作(1)	不詳	
32.	江戸 健	裸婦デッサン習作(2)	1996	

生きるバランス ―画家 杉本羽衣展―

香川県生まれの画家 杉本羽衣(すぎもと うい)は、両親が共に美術家であることから、幼いころより、自然と描くことに慣れ親しんできました。2011年に多摩美術大学大学院を修了した杉本は、その後2年間のドイツ留学を経て、本格的に画家の道を歩み始めます。非現実的でありながらもどこか愛らしい抽象的な作風は、彼女がこだわる線質によるもので、杉本の特徴をよく表しています。

2019年、2020年と杉本に大きな転機が訪れます。息子の誕生、そして、作家としても一人の人間としても女性としても尊敬していた母の突然の死。これからどう生きるべきかと杉本の模索の日々が続きます。

本展では、2022年に娘も生まれ子育てに奮闘する杉本が、作家として母として、そして一人の人間として、自分らしくあろうとしつつ制作した新作を含む26点の作品を紹介しました。

◆会期 2024年2月14日(水)～3月31日(日) 41日間
◆入場者数 628人
◆担当学芸員 高嶋良子

◆イベント
アーティストレクチャー (p.158)

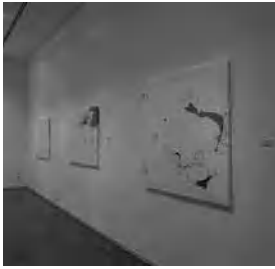
◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞 2月7日
広報たかまつ 2月号



(チラシ表)



(チラシ裏)



No.	作品名	制作年	材質	(全て作家蔵)
1.	寐	2016	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
2.	う・つ・つ ―uchu	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
3.	う・つ・つ ―karakasa	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
4.	う・つ・つ ―tsuru	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
5.	う・つ・つ ―jellyfish	2018	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
6.	う・つ・つ ―lotus root	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
7.	う・つ・つ ―flag	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
8.	う・つ・つ ―swamp	2021	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
9.	う・つ・つ ―breeze	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
10.	う・つ・つ ―flower	2024	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
11.	う・つ・つ ―laurel	2024	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
12.	う・つ・つ ―clouds	2024	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
13.	う・つ・つ ―wither	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
14.	う・つ・つ ―hozuki	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
15.	う・つ・つ ―melody	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
16.	う・つ・つ ―sumika	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
17.	う・つ・つ ―network	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
18.	う・つ・つ ―tobari	2017	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
19.	う・つ・つ ―yoiyami,ni	2020	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
20.	う・つ・つ ―shinonome,ni	2020	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
21.	う・つ・つ ―harmony	2023	パネルに紙、インク、アクリルガッシュ	
22.	う・つ・つ ―hiyori	2018	パネル、インク、色鉛筆	
23.	う・つ・つ ―boots	2018	パネル、インク、色鉛筆	
24.	ふ・ゆう	2016	パネル、インク、アクリルガッシュ	
25.	わらびシリーズ		紙、インク	
26.	Dear Family		ミクストメディア	

(2) 常設展

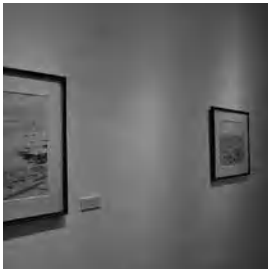
【第Ⅰ期常設展】
鉛筆と淡彩で描く世界―伊東義久展―

水彩の中でも特に淡い色を用いて、透明感のある風景画作品24点を紹介しました。

◆会期 2023年4月25日(火)～8月6日(日) 90日間
◆入場者数 1,889人
◆担当学芸員 高嶋良子



(チラシ)



【第Ⅱ期常設展】
字をじっと見る

東アジア文化圏の文化の根幹である漢字、そして漢字から作られた仮名に焦点を当てた作品27点を紹介しました。

◆会期 2023年8月26日(土)～11月26日(日) 80日間
◆入場者数 4,224人
◆担当学芸員 高嶋良子



(チラシ)



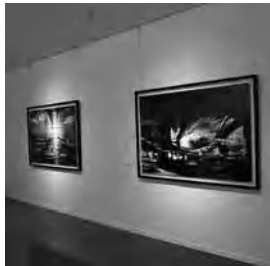
【第Ⅲ期常設展】
風景の切りとり方

構図や色彩などからみえる作家たちの独創的な作品25点を紹介しました。

◆会期 2023年12月5日(火)～2024年4月14日(日) 108日間(3月31日まで：97日間)
◆入場者数 1,382人(3月31日まで：1,208人)
◆担当学芸員 高嶋良子



(チラシ)



(1) 講演会

◆キュレーターズトーク

担当学芸員による作品解説。
※「GrandpaとGrandson－南岳と桓夫－」関連
日時：4月29日(土) 5月6日(土) 13：30～14：00
講師：高嶋良子(当館学芸員)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：4人

◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品解説。
※「後藤健吉・朝子展 モノクロームの光」関連
日時：6月17日(土) 14：00～14：30
講師：後藤健吉・後藤朝子(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：43人

◆キュレーターズトーク

担当学芸員による作品解説。
※「女性を描く」関連
日時：12月23日(土)、1月13日(土) 13：30～14：00
講師：高嶋良子(当館学芸員)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：2人

◆トークセッション「表現する対象を考える」

「表現する対象」について出演者それぞれの視点から語っていただきました。
※「女性を描く」関連
日時：1月20日(土) 14：00～16：00
出演：松山真理(画家)、早濑太亮(現代美術家)、高嶋良子(当館学芸員)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：11人

◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品解説。
※「生きるバランス ー画家 杉本羽衣展ー」関連
日時：3月20日(水・祝) 14：00～15：00
講師：杉本羽衣(出品作家)
場所：企画展示室(要観覧券)
参加者数：25人



(2) ワークショップ

◆見て、感じて、描いて！リフレッシュしま書♪

担当学芸員と話をしながら作品に対する理解を深めた後に、講師と磨墨した墨で作品を制作した。
※「GrandpaとGrandson－南岳と桓夫－」関連
日時：4月30日(日) 10：00～12：00、13：30～15：30
講師：岡本由貴子(臨床美術士)
対象：小学生高学年以上
受講料：500円(材料費300円)
場所：デッキ
参加者数：6人

◆アルコールインクアートで作品を作ろう！

アルコールインクを使って作品制作を行った。
日時：5月3日(水・祝) 10：00～11：00、11：30～12：30、13：00～14：00、15：00～16：00
講師：郷祥(書家・アーティスト)
対象：小学生以上
受講料：500円(材料費1,000円)
場所：デッキ
参加者数：13人

◆自由にライブペイントをしてみよう！

音楽から得たインスピレーションで絵を描いた。
日時：5月4日(木・祝) 10：00～11：30、14：00～15：30
講師：松山真理(画家)
対象：中学生以上
受講料：500円(材料費500円)
場所：デッキ
参加者数：9人



◆キーアクセサリーを作ろう！

真鍮でキーアクセサリーを制作した。
日時：5月5日(金・祝) 10：00～12：00 14：00～16：00
講師：橋本武生(当館職員)
対象：中学生以上
受講料：500円(材料費300円)
場所：陶芸室
参加者数：15人

◆僕の・私の夏休み！

夏休みの思い出や、したい事を絵にして、その絵をとびだす絵として作品を制作した。
※「あそびにおいでよ！～2023夏休み 大島よしふみ彫刻展～」関連
日時：8月6日(日) 10：00～11：30 13：30～15：00
講師：大島よしふみ(出品作家)
対象：小学生
受講料：500円(材料費500円)
場所：デッキ
参加者数：17人

◆フュージングでガラスの小物をつくってみよう！

様々なガラスを組み合わせてデザインし、アクセサリーなどの小物を制作した。
※「Birth then Full ～すべては、その一滴から～ガラス作家杉山利恵展」関連
日時：9月30日(土)、10月1日(日) 10：00～11：30
講師：杉山利恵(出品作家)
対象：小学生以上
受講料：500円(材料費1500円)
場所：デッキ
参加者数：21人

◆塩江の秋を持ち帰ろう！

落ち葉などを集め、ラミネート紙に並べて作品を制作した。
※「第37回思可牟展」関連
日時：11月19日(日) 13：00～15：00
講師：河崎まゆ子(出品作家)
対象：こども～一般
受講料：500円(材料費含む)
場所：常設展示室
参加者数：9人

◆ヒカリノ絵

アクリル板に光を透過する特殊な素材を使って透けて美しいヒカリの絵を制作した。
※「第37回思可牟展」関連
日時：11月23日(木・祝) 13：30～15：00
講師：長谷川隆子(出品作家)
対象：5歳～一般
受講料：500円(材料費1,300円)
場所：陶芸室
参加者数：8人

◆表現を楽しもう♪

「クリスマス」というテーマを設け、踊ったり描いたりして「クリスマス」を表現して楽しんだ。
※「女性を描く」関連
日時：12月24日(日) 10：00～15：00
講師：高嶋良子(担当学芸員)
対象：5歳～一般
受講料：500円(材料費300円)
場所：企画展示室
参加者数：1人

◆夏の風鈴作り教室

陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
日時：7月16日(日)、17日(月・祝) 各日10：00～11：30、13：00～14：30
講師：貴志 勉(陶芸家)
場所：陶芸室
受講料：500円(材料費800円)
参加者数：19人

◆陶芸教室

全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。
日時：9月2日、9日、16日、30日、10月7日、14日、21日、11月4日
全て土曜日 10：00～12：30
講師：田淵太郎(陶芸家)
場所：陶芸室
受講料：2,000円(材料費3,800円)
参加者数：延べ72人



(3) パフォーマンス・その他

◆ワークショップ

「高松アーティスト・イン・レジデンス2023」関連イベントとして、古着古布で制作する「ボロ人形作っちゃおうの会」を開催。

日時：11月18日(土) 11：00～14：00
講師：chihuako（ちうあこ）
場所：常設展示室
参加者数：7人



◆野村 誠 記念パフォーマンスin塩江美術館

高松市美術館「令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち 一名作でたどる日本と西洋のアート」関連イベントとして、ピアノパフォーマンスを開催。

日時：11月19日(日) 11：00～12：00
出演者：野村 誠
場所：常設展示室
参加者数：20人
※高松市美術館でもパフォーマンス開催(p.118)



◆美術館の日

展示会の観覧料を無料にしたほか、県内の中学校美術部員によるワークショップ「中学校美術部といっしょにものづくり！！」を開催。

日時：8月5日(土)
参加者数：240人

(1) 新収蔵作品

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)
令和3年度購入	—	—	—	1	—	—
令和3年度寄贈	—	—	—	—	—	—
令和4年度購入	—	—	—	—	—	—
令和4年度寄贈	—	—	—	—	—	—
令和5年度購入	—	—	—	—	—	—
令和5年度寄贈	—	—	—	—	—	—

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)
購入	47	—	6	8	—	1
寄贈	626	7	6	6	119	458
計	673	7	12	14	119	459

◆令和3年度購入

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1.	及川みのる	葉っぱとる子	2018	陶土、真ちゅう	本体200×300×1,250 台座300×410×550

(1) 貸館

【令和3（2021）年度】

※利用実績なし

【令和4（2022）年度】

企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
公演「岩べえと岩戸の姫」	2022/10/25～10/30	6	117
計1		6	117

【令和5（2023）年度】

ホール			
イベント名	会期	日数	入場者数
佐藤文史「さくらコンサート ～春のそよ風とともに～」	2023/4/8	1	63
計1		1	63

企画展示室			
使用用途	利用日	日数	利用者数
写真撮影	2024/2/6	1	1
計1		1	1

参考資料

施設概要

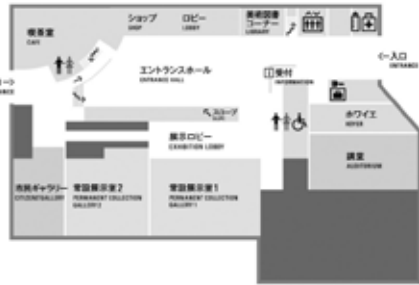
高松市美術館

所 在 地／高松市紺屋町10-4
敷地面積／4,497.24㎡
建築面積／3,202.68㎡
延床面積／15,799.48㎡（うち美術館部分9,875.80㎡）
構 造／鉄骨鉄筋コンクリート造（地上部）
鉄筋コンクリート造（地下部）
規 模／地下2階地上5階（一部中2階）
工 期／昭和60年12月～昭和63年2月
設計・監理／（株）佐藤総合計画
令和7年1月1日現在

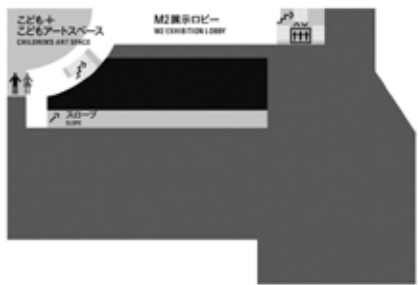
高松市美術館面積

部門	室 名	階	面積 (㎡)	部門	室 名	階	面積 (㎡)
展 示	常設展示室 1	1	262	管 理 ・ 研 究	館長室	3	41
	常設展示室 2	1	179		応接室	3	41
	企画展示室	2	680		会議室	3	82
	一般展示室	2	574		事務室	3	91
	市民ギャラリー	1	140		学芸研究室	3	88
	主催者控室	1・2	14		学芸資料室	3	42
	展示室用倉庫	1・2	106		警備員室	1	23
	計		1,955		看視員控室	3	34
教 育 普 及	講堂	1	194		清掃員控室	3	16
	効果室など	1	64		中央監視室	B2	28
	ホワイエ	1	88		更衣室・その他		108
	こども+	M2	105		計		594
	書庫	M2	21	そ の 他 ・ 共 用	エントランスホール	1	502
	図書コーナー	1	37		ロビー・展示ロビー		936
	講座室 1	3	66		自転車置場	B1	226
	講座室 2	3	80		喫茶室	1	144
	講座室 3	3	76		機械室・その他		3,594
	講座室 4	3	79		計		5,402
	準備室など	3	90	総計(延床面積)			9,876
	計		900				
収 蔵	収蔵庫 1	2	153				
	収蔵庫 2	3	124				
	収蔵庫 3	3	284				
	収蔵庫 4	3	43				
	収蔵庫 5	3	52				
	一時収蔵庫	1	56				
	荷解室その他		313				
			計				1,025

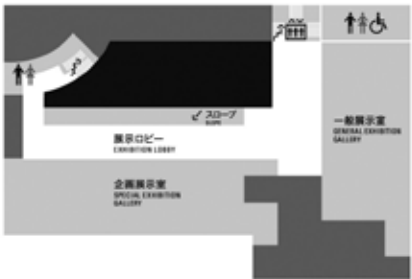
高松市美術館平面図



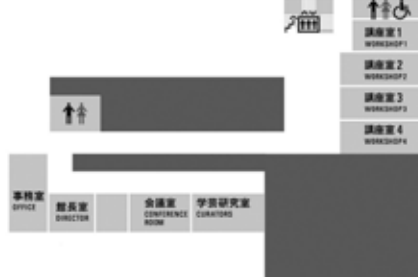
1階



中2階



2階



3階

高松市塩江美術館

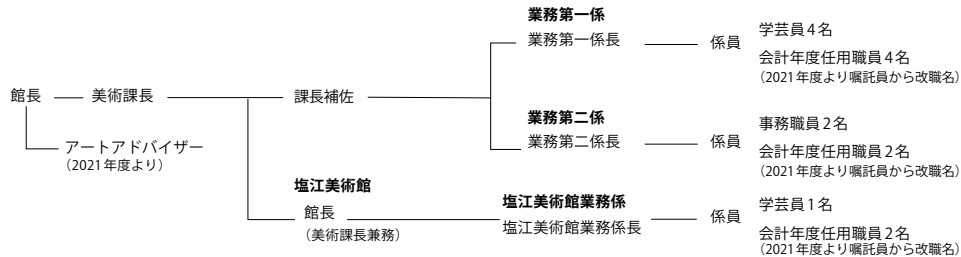
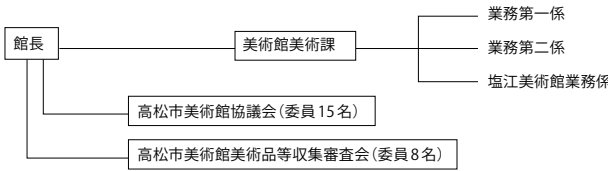
所 在 地／高松市塩江町安原上602番地
敷地面積／5,173.48㎡
建築面積／718.24㎡
延床面積／829.32㎡
構 造／木造一部鉄骨造
規 模／地上1階（一部2階）
工 期／平成5年2月～平成5年12月
設計・監理／アーレン・プランニング研究所
令和7年1月1日現在

高松市塩江美術館平面図



組織図

高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部美術館美術課



高松市美術館条例

高松市美術館条例(昭和39年高松市条例第44号)の全部を改正する。

設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、高松市美術館(以下「美術館」という。)を高松市紺屋町10番地4に設置する。

第2条 削除

事業

第3条 美術館は、第1条に規定する設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
(1) 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
(2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
(3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し、及びその奨励を行うこと。
(4) 美術に関する講座を開設すること。
(5) 美術に関する情報を提供すること。
(6) 美術館の施設・設備等(以下「施設等」という。)を美術に関する集会、展示等(施設のうち、講堂にあっては、文化に関するものを含む。)のために提供すること。
(7) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

施設等の使用許可

第5条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ高松市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。許可された事項を変更する場合も、同様とする。

使用許可の基準等

第6条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。
(1) 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
(2) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
(3) 施設等を損傷するおそれがあると認められるとき。
(4) その他美術館の管理上支障があると認められるとき。
2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用の許可に条件を付することができる。

使用目的の変更等の禁止

第7条 第5条の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用の目的を許可なく変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

使用許可の取消し、停止等

第8条 委員会は、使用許可後において、第6条第1項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき、又は使用者が同条第2項の許可条件若しくは前条の規定に違反したときは、使用許可を取り消し、若しくは停止し、又は条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会はその責めを負わない。

使用料の納付

第9条 使用者は、別表第2に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合又は委員会が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

特別の設備等

第10条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の特別の設備等をさせることができる。

原状回復の義務

第11条 使用者は、使用後、使用した施設等及び前条の特別の設備等を使用許可期限内に原状に復さなければならない。使用許可の取消し等を受けた場合も、同様とする。

使用者の責任

第12条 使用者は、使用期間中善良な管理を怠ってはならない。

職員の立入り

第13条 美術館の職員は、管理上必要があると認めるときは、随時立入りをすることができる。

撮影の許可及び手数料

第14条 美術館に収蔵している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に規定する手数料を納付しなければならない。

観覧料及び使用料の返還

第15条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

観覧料の減免

第15条の2 市長は、委員会において必要と認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。

利用の制限

第15条の3 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
(2) 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
(3) その他美術館の管理上支障があると認められる者

損害賠償

第16条 美術館の入館者又は使用者が、自己の責めに帰すべき理由により、美術品等若しくは施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

喫茶室の使用

第17条 委員会は、美術館内で喫茶室を営もうとする者に対し、1年以内の期間に限り、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条の4第7項の規定により使用を許可することができる。この場合において、委員会が必要があると認めるときは、同一人に対し引き続き使用を許可することができる。
2 前項の許可を受けた者は、高松市行政財産の目的外使用に関する使用料条例(昭和39年高松市条例第20号)別表に掲げる使用料を納付しなければならない。
3 前項の使用料は、毎月10日(その日が日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日又は土曜日に当たるときは、これらの日の翌日)までにその月分を納付しなければならない。

高松市美術館条例

委任

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第4条から第17条までの規定は、同年8月6日以後の供用に係るものから適用する。

附則 (昭和63年12月24日条例第27号)

この条例は、昭和64年2月1日から施行する。

附則 (平成元年3月29日条例第24号)

- この条例は、平成元年5月1日から施行する。ただし、第15条の次に1条を加える改正規定は、同年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

附則 (平成6年3月28日条例第22号)

- この条例は、平成6年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料又はこの条例の施行の日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附則 (平成9年3月27日条例第39号)

- この条例は、平成9年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則 (平成9年6月26日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則 (平成11年7月14日条例第19号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則 (平成12年3月27日条例第6号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則 (平成13年3月23日条例第38号)

- この条例は、平成13年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則 (平成19年3月23日条例第2号抄) (施行期日)

- この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則 (平成20年3月26日条例第29号抄) (施行期日)

- この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附則 (平成22年3月26日条例第6号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附則 (平成25年12月25日条例第103号)

- この条例は、平成26年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則 (平成27年12月28日条例第73号)

- この条例は、公布の日から起算して4月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成28年高松市規則第4号により、平成28年3月26日から施行)
- 改正後の別表第2の規定は、この条例の施行の日以後の使用に係る使用料について適用する。

附則 (平成31年3月28日条例第62号)

- この条例は、平成31年10月1日から施行する。ただし、別表第2第4項の表備考の改正規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

附則 (令和5年3月29日条例第13号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1　美術品等観覧料 (第4条関係)

区分		観覧料（1人1回につき）	
		個人	団体(20人以上)
常設展示観覧	一般	200円	160円
	大学生	150円	120円
特別展示観覧		2,000円の範囲内において委員会がその都度定める額	

備考

- 「常設展示観覧」とは美術館が平常的に展示する美術品等の観覧をいい、「特別展示観覧」とは美術館が特別に企画展示する美術品等の観覧をいう。
- 「一般」とは15歳以上の者(大学生及び備考3の規定の適用を受ける者を除く。)をいい、「大学生」とは学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

別表第2　施設等使用料 (第9条関係)

1　展示室使用料

室名	使用単位	使用料
一般展示室	1日	33,930円
企画展示室	1日	39,780円
市民ギャラリー	1日	8,640円

備考

- 企画展示室は、委員会が特に必要と認める場合に限り、使用することができる。
- 使用許可を受けた期間内に、休館日(搬出入のため展示室を使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は徴収しない。

2　講堂使用料

使用単位	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午後6時～午後9時	午前9時～午後5時	午後1時～午後9時	午前9時～午後9時
室名						
講堂	5,130円	6,840円	5,130円	11,970円	11,970円	17,100円

備考

- 使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。
- 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するときは、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす
- 2日以上継続して使用許可を受けた場合において、各使用日における使用単位が全日の区分に該当するときの当該使用日分の使用料は、この表の規定にかかわらず、11,760円とする。
- 前項の場合において、使用許可を受けた期間内に、休館日(搬出入のため使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は徴収しない。

3　講座室使用料

使用単位	午前	午後	全日
	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午前9時～午後5時
室名			
講座室1	1,780円	2,380円	4,160円
講座室2	2,040円	2,780円	4,820円
講座室3	2,040円	2,780円	4,820円
講座室4	2,040円	2,780円	4,820円

備考

使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。

4　付属設備及び器具使用料

省略

別表第3　美術品等撮影許可手数料 (第14条関係)

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	510円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	5,220円

高松市塩江美術館条例

設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民に美術活動等の場を提供するため、高松市塩江美術館（以下「美術館」という。）を高松市塩江町安原上602番地に設置する。

事業

第2条 美術館は、前条に規定する美術館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催すること。
- 美術に関する講座を開設すること。
- 美術館の施設・設備等(以下「施設等」という。)を美術等に関する集会、展示等のために提供すること。
- 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するために必要な事業

観覧料

第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

施設等の使用許可

第4条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更する場合も、同様とする。

- 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。
 - 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
 - 美術館内の秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
 - 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - 長期間にわたる継続使用により、他の使用を妨げるおそれがあると認められるとき。
 - 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。
- 委員会は、管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

使用許可の取消し、使用の停止等

第5条 委員会は、前条第1項の許可をした後において、同条第2項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき、又は同条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、若しくは使用を停止させ、又は当該許可に付した条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会は、その責めを負わない。

- この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- 前条第3項又はこの条の規定により前条第1項の許可に付した条件に違反したとき。
- 偽りその他不正の手段により前条第1項の許可を受けたとき。

使用料の納付

第6条 使用者は、別表第2及び別表第3に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合又は委員会が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

特別の設備等

第7条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の設備又は器具の使用をさせることができる。

原状回復の義務

第8条 使用者は、使用を終わったとき、又は使用を中止したときは、当該許可に係る使用期限までに、施設等を原状に回復しなければならない。第5条の規定による許可の取消し又は使用の停止を受けたときも、同様とする。

2 委員会は、使用者が前項に規定する義務を履行しないときは、使用者に代わり原状に回復する。この場合において、使用者は、当該原状回復に要した費用を負担しなければならない。

撮影の許可及び手数料

- 第9条 美術館に保管し、又は展示している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
- 前項の許可を受けた者は、別表第4に規定する手数料を納付しなければならない。

観覧料等の返還

第10条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

観覧料の減免

第11条 市長は、委員会において必要と認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。

利用の制限

第12条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、美術館への入館を拒み、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- 美術館内の秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
- 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
- その他美術館の管理上支障があると認められる者

損害賠償

第13条 美術館の入館者又は使用者は、自己の責めに帰すべき理由により、美術品等又は施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

高松市美術館協議会への諮問

第14条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例(平成20年高松市条例第29号)に規定する高松市美術館協議会に諮問するものとする。

職員

第15条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

委任

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

施行期日

- この条例は、平成17年9月26日から施行する。

経過措置

2 この条例の施行の日前に町立塩江美術館条例(平成5年塩江町条例第9号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

高松市の重要な公の施設等に関する条例の一部改正

3 高松市の重要な公の施設等に関する条例(昭和39年高松市条例第5号)の一部を次のように改正する。
(次のよう略)

附則 (平成20年3月26日条例第29号抄)

施行期日

- この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附則 (平成22年3月26日条例第7号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附則 (平成25年12月25日条例第104号)

- この条例は、平成26年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則 (平成31年3月28日条例第63号)

- この条例は、平成31年10月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

附則 (令和5年12月27日条例第43号)

- この条例は、令和6年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

別表第1　美術品等観覧料 (第3条関係)

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体(20人以上)
一般	300円	240円
大学生	150円	120円

備考

- 「一般」とは15歳以上の者(大学生及び備考2の規定の適用を受ける者を除く。)をいい、「大学生」とは学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

別表第2　展示室使用料 (第6条関係)

室名	使用単位	使用料
企画展示室	1日	4,400円

備考 第4条第1項の許可を受けた期間に、休館日(搬出入のため企画展示室を使用する場合を除く。)がある場合は、当該休館日に係る使用料は、徴収しない。

別表第3　ホール及び陶芸室使用料 (第6条関係)

使用単位	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午後6時～午後9時	午前9時～午後5時	午後1時～午後9時	午前9時～午後9時
施設名						
ホール	1,630円	2,200円	1,630円	4,400円	4,400円	6,600円
陶芸室	1日(午前9時から午後5時まで)につき970円					

備考

- 使用者が、ホールについて、営利を目的として使用する場合又は入場料若しくはこれに類するものを徴収する場合の使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。
- 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するときの使用料は、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日又は1日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす。
- 使用料に10円未満の端数が生じたときは、10円に切り上げる。

別表第4　美術品等撮影許可手数料 (第9条関係)

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	310円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	530円

沿革（開館以後）

昭和 63 （1988）年 8 月 6 日	高松市美術館開館（開館記念展「ベルギー王国リエージュ・美術館名画展」開催） 収蔵品図録Ⅰを刊行
平成元（1989）年	金曜日の夜間開館（9時～ 19 時）を開始
平成 2 （1990）年	市制 100 周年記念展「松平家所蔵名宝展－明公を偲んで－」開催
平成 5 （1993）年	開館 5 周年記念展「讃岐漆芸の美展」開催 開館 5 周年記念事業として収蔵品図録Ⅱを刊行
平成 6（1994）年 4 月 25 日	塩江町立美術館開館（開館記念展「熊野俊一ゆかりの作家展」開催）
平成 10 （1998）年	開館 10 周年記念展「ロダン展」開催 収蔵品図録Ⅲを刊行
平成 11 （1999）年	管理課、学芸課の 2 課を美術課に統合 美術館ボランティア civi（シヴィ）の活動開始
平成 12 （2000）年	平日夜間開館（火～木曜日：9 時～ 17 時、金曜日：9 時～ 19 時）に移行
平成 13 （2001）年	平日（月～金曜日）夜間開館（9 時 30 分～ 19 時）に移行
平成 14 （2002）年	小中学生の常設展完全無料化を実施 「アートで遊ぼう!」事業開始
平成 15 （2003）年	「子どものアトリエ」事業開始 歴史資料館、市民文化センターなどと共同で収蔵品情報システムを導入
平成 16 （2004）年	開館 15 周年記念展「玉楮象谷展」開催
平成 17 （2005）年	塩江町合併により、塩江美術館を組織統合
平成 19 （2007）年	美術館あり方検討委員会発足（平成 20 年 2 月 25 日に提言書を提出）
平成 20 （2008）年	市の機構改革により、市長部局（市民政策部、国際文化・スポーツ局）に改組 20 周年記念展「高松市美術館コレクション+（プラス）ひびきあう音・色・形」開催 「美術館学習」事業開始
平成 21 （2009）年	高松市立美術館（高松市美術館・塩江美術館）の今後の運営方針を策定 収蔵品図録Ⅳを刊行 「美術館の日」事業開始
平成 22 （2010）年	開館時間の見直しにより、9 時 30 分～ 17 時（但し、特別展開催期間中の火～土曜日〔祝日含む〕は 9 時 30 分～ 19 時）に移行 高校生以下の観覧料無料化を実施 高松市美術館・塩江美術館の共通定期観覧券発行 瀬戸内国際芸術祭 2010 連携企画「森村泰昌 Mori Ennare」 「高松コンテンポラリーアート・ アニュアル vol.01」開催 「森村泰昌 Mori Ennare／まねぶ美術史」美連協大賞「奨励賞」受賞
平成 24 （2012）年	1 月から 3 月まで臨時休館し、空調設備等の省エネ改修工事を実施 「高松市美術館サポートショップ」事業開始 「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」美連協大賞受賞
平成 25 （2013）年	高松市美術館改修基本計画を策定 開館 25 周年記念展「チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち」ほか 4 展を開催 開館 25 周年記念コンサート「坂本龍一 Playing the Piano Tribute to Shinro Ohtake」開催 高松市美術館の改修基本設計・実施設計を行った（実施設計は平成 26 年 4 月まで）
平成 27 （2015）年 1 月	高松市美術館改修工事着手
平成 28 （2016）年 3 月 26 日	高松市美術館リニューアルオープン リニューアルオープン記念特別展「いま知りたい、私たちの『現代アート』展」を開催
平成 30 （2018）年	開館 30 周年記念展「京の美人画 100 年の系譜」ほか 4 展を開催 開館 30 周年記念イベント「三輪眞弘による高松市美術館開館 30 周年記念祝賀演奏会」ほか 4 本開催 高松市創造都市推進局の Facebook にて情報発信 8 月塩江美術館改修工事着手 収蔵品図録Ⅴを刊行 地域創造大賞（総務大臣賞）受賞
平成 31 （2019）年 平成 31 （2019）年 4 月 2 日	高松市美術館の Facebook・Instagram を開設 塩江美術館リフレッシュオープン リフレッシュオープン企画展「中井弘二郎展 － feels through it －」を開催 「やなぎみわ 神話機械」美連協大賞受賞
令和 2 （2020）年	開館時間の見直しにより、9 時 30 分～ 17 時（但し、特別展開催期間中の金・土曜日は 9 時 30 分～ 19 時）に移行 高松市美術館の YouTube を開設、動画番組「おうちでアート」配信開始 高松市美術館の Twitter を開設 丸亀町商店街にランチギャラリーがオープン
令和 3 （2021）年	新型コロナウイルス感染症対策により、計 77 日間の臨時休館等を行った キャッシュレス決済システムを導入
令和 4 （2022）年	オランダのアムステルダム国立美術館に漆芸作品 6 点を貸出 エントランス活用事業を開始
令和 5 （2023）年	開館 35 周年記念展「フィンランドのライフスタイル」ほか 3 展を開催 開館 35 周年記念「特別企画 川島猛展」、「野村誠コンサート」を開催

高松市美術館友の会

1. 事業

友の会の目的を達成するため、会報の発行、コンサート等芸術的催し物の開催、美術鑑賞旅行などの各種事業を実施した。

会員数			
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会員	68	68	154
賛助会員	7	7	4

事務局：〒760-0027 高松市紺屋町10-4 高松市美術館内
TEL：(087) 823-1711

◆会報誌
令和4年度 70号
発行：2023年3月

令和5年度 71号
発行：2024年3月



(70号)

(71号)

(1) コンサート

◆友の会ふれあいコンサート「よんでんアンサンブル美術館ナイトコンサート」(令和3年度)

日時：2022年2月5日(土) 18：30～
演奏者：立川美香(ピアノ)、石川陽子(チェンバロ)、佐治名津子(ソプラノ)、
原瀬万梨子(ヴァイオリン)、江島直之(チェロ)
場所：1階エントランスホール
参加者数：48人



◆高松市美術館友の会創立70周年記念「鐵 百合奈&佐藤 采香 Duo Concert」(令和5年度)

日時：2023年10月22日(日) 18：30～
演奏者：鐵 百合奈(ピアノ)、佐藤 采香(ユーフォニアム)
場所：1階エントランスホール
参加者数：166人



(2) 旅行

◆橋×アート紀行(令和4年度)

日時：2022年11月20日(日)
場所：大鳴門橋管理路ウォーク、大塚国際美術館
協力：本州四国連絡高速道路株式会社
参加者数：19人



◆橋×アート紀行(令和4年度)

日時：2022年11月23日(水・祝)
場所：瀬戸大橋塔頂体験ツアー、東山魁夷せとうち美術館
協力：本州四国連絡高速道路株式会社
参加者数：12人



◆広島アート紀行(令和5年度)

日時：2023年11月23日(木・祝)
場所：広島県立美術館、縮景園、下瀬美術館
参加者数：42人



(3) その他

◆消しゴム版画ワークショップ(令和5年度)

※スペシャル・イベント(「美術館の日」にあわせて開催)
日時：2023年8月5日(土)①10：00～12：00、②13：30～15：30
講師：大倉朗人
場所：3階講座室
参加者数：大人11人、子ども16人



◆消しゴム版画体験コーナー(令和5年度)

※スペシャル・イベント(「美術館の日」にあわせて開催)
日時：2023年8月5日(土)①11：00～12：00、②14：30～15：30
講師：大倉朗人
場所：1階エントランスホール
参加者数：40人



高松市美術館友の会会則

名称及び事務所

第1条 この会は、高松市美術館友の会(以下「友の会」という。))といい、事務所を高松市美術館(以下「美術館」という。))内に置く。

目的

第2条 友の会は、美術に関心を持つ人々の美術鑑賞や研究調査の便宜を図り、会員相互の親睦を深めるとともに、美術館の活動を援助することを目的とする。

事業

第3条 友の会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 美術の鑑賞
- (2) 芸術的催物の開催
- (3) 会報の発行
- (4) その他友の会の目的達成のために必要な事業

会員

第4条 会員とは、第2条の目的に賛同した次の個人及び法人で所定の会費を納入した者をいう。

- (1) 一般会員(個人)
- (2) 大学生会員(ただし、学校教育法第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者。)
- 2 会員に会員証を発行する。

会費

第5条 会費は前納とし、金額は次のとおりとする。

- (1) 一般会員 年額 1人 2,000円
- (2) 大学生会員 年額 1人 1,000円
- 2 会員の中途退会による会費の払戻しは行わない。

特典

第6条 会員は、次の特典を受けることができる。

- (1) 一般及び賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を2割引で鑑賞できる。
- (2) 賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を同伴者4人まで2割引で鑑賞できる。
- (3) ミュージアム・ショップが割引で利用できる。
- (4) 友の会主催の各種催物に優先的に参加できる。
- (5) 会報等の美術情報の提供を受けることができる。
- (6) その他会長が定めるもの。

役員

第7条 友の会に次の役員を置き、任期は2年とする。ただし、後任者が選任されるまで在任する。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 常務理事 1人
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2人

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 友の会に顧問を置くことができる。
- 5 理事及び監事は、理事会において選考し、総会の承認を得るものとする。
- 6 会長・副会長及び常務理事は、理事の互選により定める。
- 7 顧問は理事会で推薦し、会長が委嘱する。

役員の職務

第8条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は友の会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
- (3) 常務理事は日常の会務を処理する。
- (4) 理事は理事会を構成し、会務を処理する。
- (5) 監事は会計その他を監査する。
- (6) 顧問は会長の諮問に応じ、意見を述べることができる。

総会

第9条 総会は毎年1回定期総会を、必要に応じて臨時総会を会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

- (1) 総会に付議する事項は、概ね次のとおりとする。
- 2 会則の改廃に関すること。
- (2) 役員の承認に関すること。
- (3) 事業計画及び予算の承認に関すること。
- (4) 事業報告及び決算の承認に関すること。

理事会

第10条 理事会は必要の都度会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

- 2 理事会は、友の会の運営について協議するとともに重要事項を審議する。
- 3 理事会は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

企画委員会

第11条 友の会事業の執行に当たり理事会が必要と認めたときは、企画委員会を設置することができる。

- 2 企画委員会は、会員及び美術館関係者の中から会長が委嘱した企画委員で組織し、友の会事業の企画・立案に当たる。

議決

第12条 友の会の議決はすべて出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

ただし、会則の改廃については、出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

議事録

第13条 総会及び理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会又は理事会の日時及び場所
- (2) 役員の数
- (3) 総会又は理事会に出席した役員の氏名及び総会に出席した会員の数
- (4) 審議事項及び議決事項

- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、当該総会又は理事会の出席者のうちから選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

会計

第14条 友の会の経費は、会費、寄付金、事業収入及びその他の収入をもってこれに充てる。

- 2 友の会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

事務局

第15条 友の会の事務を処理するため、必要な職員を置くことができる。

- 2 職員は会長が任免する。

委任

第16条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は、理事会において定める。

附則

この会則は、昭和28年4月1日から施行する。

附則

この会則は、昭和42年7月1日から施行する。

附則

この会則は、昭和44年4月29日から施行する。

附則

この会則は、昭和49年5月19日から施行する。

附則

この会則は、昭和63年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成5年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成9年5月18日から施行する。

附則

この会則は、平成21年4月26日から施行する。

附則

この会則は、平成22年3月15日から施行する。

附則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附則

- 1 この会則は、平成26年4月26日から施行する。
(平成27年度の会員の特例)
- 2 平成26年度に会員であった者に係る平成27年度の特例については、次に掲げるのとおりとする。
 - (1) 平成26年度に会員であった者は、平成27年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。
 - (2) 前号の規定により、平成27年度の会員となる者には、第4条第2項の規定にかかわらず、会員証を発行しない。

附則

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

附則

- 1 この会則は、令和3年4月1日から施行する。
(令和3年度の会員の特例)
- 2 令和2年度に会員であった者は、令和3年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。

附則

- 1 この会則は、令和4年4月1日から施行する。
(令和4年度の会員の特例)
- 2 令和3年度に会員であった者は、令和4年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。

附則

この会則は、令和5年4月1日から施行する。